

8 学科ポリシー／卒業要件・進級条件／科目一覧

保健医療学部

8-1 看護学科

8-2 理学療法学科

8-3 作業療法学科

8-4 言語聴覚学科

8-5 視機能療法学科

8-6 放射線・情報科学科

8-1 保健医療学部 看護学科

8-1-1 教育研究上の目的

保健医療学部の教育研究上の目的

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師等の人材を育成する。

保健医療学部看護学科の教育研究上の目的

看護学科は、看護職に必要な知識と技能を修得するとともに、国際的視野を持つ幅広い教養と深い人間理解、倫理観を涵養し、コミュニケーション能力や現場で即応できる判断力を身に付けた看護師、保健師の育成を目的とする。

8-1-2 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、看護職者として、豊かな感性、コミュニケーション能力を発揮して人間理解に努めるとともに、国際的感覚を持ち、創造的に課題解決に取り組むための自己研鑽・自己開発の基礎能力と方法を身につけ、自らの健康を大切にしつつ、「共に生きる社会」の実現に貢献することが期待できる人

2. 看護学科の入学者に求める要件

1) 知識・技能

高等学校の教科科目を通して修得した基礎知識と語学力による読解力・文章力・コミュニケーション能力、主として理数系科目により身につけた論理的な思考力、科学的な理解力を有していること。

2) 思考力・判断力・表現力

看護学を学ぶにあたり、相手を思いやり、誠実な人間関係を築くための柔軟な発想力と寛容性、個人・家族・地域社会のつながりや仕組みについて理解し考え行動できる思考力・分析力・判断力及び表現力を有していること。

3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

看護職者として本学の基本理念及び教育理念を理解し、「共に生きる社会」の実現をめざして、多様な人々の生き方・暮らしについて興味を持ち、看護学の学びを通じて国内外の保健・医療・福祉分野の発展に貢献する意志を持ち、主体的に学修を進める意欲と多職種の役割を理解し協働する態度を身につけていること。

8-1-3 ディプロマ・ポリシー

看護学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：看護専門職を目指す者として、社会的責務と倫理観を根幹とした幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、一人の人間として豊かな心を身につけている。

DP2：看護学の基礎となる学問を理解する専門職業人としての基盤力を養い、関連職種の機能を理解し、看護の対象となる人々の利益のために連携を図ることのできるコミュニケーション力を身につけている。

DP3：個人、家族、組織、地域社会における人々の健康課題を査定し、基本的な看護実践を行うための知識・技術・態度を身につけている。

DP4：看護を必要とする様々な事象について論理的かつ多面的に理解し、自らの考えを表現し、行動する資質と能力を身につけている。

DP5：未知の事象に対し、専門的知識や技術力を統合して創造的に課題解決に取り組むための専門職業人としての基盤力と探究力を身につけている。

DP6：看護専門職を目指す者として、責務を果たすために、必要な自己研鑽を重ねることの意義を理解し、自己開発の方法を身につけている。

8-1-4 カリキュラム・ポリシー

看護学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1：看護専門職者としての基盤となる社会的責務と倫理観を根幹とした幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、一人の人間として豊かな心を身につけるための科目を設定する。

CP2：看護学の基礎となる学問を理解する専門職業人としての基盤力を養い、関連職種の機能を理解し、看護の対象となる人々の利益のために連携を図ることのできるコミュニケーション力を身につけるための科目を設定する。

CP3：個人、家族、組織、地域社会における人々の健康課題を査定し、基本的な看護実践を行うための知識・技術・態度を身につけるための科目、および、看護を必要とする様々な事象について論理的かつ多面的に理解し、自らの考えを表現し、行動する資質と能力を身につけるための科目を設定する。

CP4：未知の事象に対し、専門的知識や技術力を統合して創造的に課題解決に取り組むための基盤力と探究力を身につけるための科目、および、看護専門職者としての責務を果たすために、必要な自己研鑽を重ねることの意義を理解し、自己開発の方法を身につけるための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

8-1-5 教育目標

<1 年次 (SBOs1) >

- CP1：幅広い教養と豊かな感性を培い、人間を理解するための基盤力、語学力を高める。
- CP2：人間と環境を理解するための諸科学を学び、看護学に応用するための基盤を固める。
- CP3：個人や家族の健康状態を査定し、健康課題を解決するための看護の視点を身につける。
- CP4：自らの学修課題を認識し、自らを動機づけ、主体的な学修活動を行うことができる。

<2 年次 (SBOs2) >

- CP1：豊かな教養を持ち、グローバルな視点で考える力、異文化を理解する力、国際的な感覚を身につける。
- CP2：保健医療福祉関連職の機能や社会の仕組みを理解し、看護に活用するための基盤を固める。
- CP3：必要な看護を査定、計画、実践、評価し改善を行うための基礎的知識・技術・態度を身につける。
- CP4：演習や実習に主体的に取り組むことができ、看護専門職者としての自己研鑽力の基盤ができています。

<3 年次 (SBOs3) >

- CP1：多様性を理解し、自らの考えをもち、論理的かつ建設的に思考する力を身につける。
- CP2：保健医療福祉関連職の機能や社会の仕組みに関する知識を看護に応用することができる。
- CP3：必要な看護を行うための知識・技術・態度を実習で具体的にを行うことができる。
- CP4：看護に関する未知の事象への興味関心を表現でき、探究活動を開始することができる。

<4 年次 (SBOs4) >

- CP1：看護専門職者の社会的責務を認識し、倫理観に基づいた看護を行う基盤を固める。
- CP2：対象を中心とした保健医療福祉を行うための看護の知識・技術・態度、関連職種と連携を図ることのできるコミュニケーション力を身につける。
- CP3：複雑な健康課題、組織や地域社会の健康関連課題を論理的かつ多面的に理解し、看護するための知識・技術・態度を身につける。
- CP4：看護研究を行うための基本的な知識・技術・態度を身につける。

8-1-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-1-10 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【看護学科 2024（令和6）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数			
		必修	選択必修	選択	
総合教育科目	人間系	2単位		人間系、社会系、自然・情報系、総合系、外国語系、保健体育系から、さらに4単位以上※1 (2単位以上)※2	
	社会系	1単位			
	自然・情報系	8単位			
	総合系	1単位			
	外国語系	4単位 (5単位)※2	2単位以上※1 (3単位以上 または5単位以上)※2		
	保健体育系				
	小計	16単位 (17単位)※2	2単位以上 (3単位以上 または5単位以上)※2	4単位以上 (2単位以上)※2	
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	11単位	専門基礎科目（学部共通、学科専門基礎）および専門科目（専門）※1から4単位以上	
		学科専門基礎	12単位		
		小計	23単位		
	専門科目	専門	67単位		
		公衆衛生看護学	8単位		
		小計	75単位		
	小計	98単位		4単位以上	
合計	114単位 (115単位)※2	2単位以上 (3単位以上 または5単位以上)※2	8単位以上 (6単位以上)※2		
総計	124単位以上 (124単位以上、または126単位以上)※2				

※1 後述の「8-1-8 科目履修条件」に従うこと。

※2 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-1-7 進級条件

(1) 2 学年から 3 学年への進級条件

- ① 総合教育科目のうち、2 年次までの必修科目（「医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—」含む）14 単位および選択必修・選択科目を含め 20 単位以上を修得していること。
- ② 専門基礎科目のうち、2 年次までの必修科目 22 単位をすべて修得していること。
- ③ 専門科目（公衆衛生看護学科目を含む）のうち、2 年次までの必修科目 37 単位をすべて修得していること。

(2) 3 学年から 4 学年への進級条件

3 年次の必修科目のうち、5 単位以上の未履修は原級に留まる（進級はできない）。

8-1-8 科目履修条件

(1) 総合教育科目に関する選択科目の履修条件

- ① 外国語系科目に関する選択科目の履修条件（留学生を除く）
英語科目の中から 2 科目（2 単位）を 2 年次までに修得すること。
- ② 総合教育科目に関する選択科目の履修条件（全学生対象）
高校で「生物基礎」、「生物」を履修していない者は、「総合教育科目」自然・情報系の授業科目である「生物学（2 単位・30 時間）」を必ず修得すること。

(2) 基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）（2 年後期）

「基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）」を履修する者は、「基礎看護学実習Ⅰ（看護援助の基本）（1 年前期）」の単位を修得していること。

(3) 領域別臨地実習（2 年後期・3 年後期）

該当するすべての実習において、実習前に次のとおりの単位を修得していること。

- ① 「生活療養支援実習Ⅰ（介護予防・生活支援実習）（2 年後期）」を履修する者は、「成人看護学概論（2 年前期）」「高齢者看護学概論（2 年前期）」の単位を修得していることが望ましい。
- ② 「生活療養支援実習Ⅱ（周手術期・クリティカルケア看護学実習）（3 年後期）」
「生活療養支援実習Ⅲ（慢性・回復期看護学実習）（3 年後期）」
「生活療養支援実習Ⅳ（施設看護実習）（3 年後期）」
「生活療養支援実習Ⅴ（地域療養支援サービス実習）（3 年後期）」を履修する者は、「急性期看護学方法論（2 年後期）」
「慢性期・回復期看護学方法論（2 年後期）」
「がん・緩和ケア看護学方法論（2 年後期）」
「高齢者看護学方法論Ⅰ（生活機能を整える看護）（2 年後期）」
「急性期看護学演習（3 年前期）」
「慢性期・回復期看護学演習（3 年前期）」
「高齢者看護学方法論Ⅱ（生活・療養の場における看護）（3 年前期）」
「高齢者看護学演習（3 年前期）」

のすべての単位を修得していること。

- ③ 「小児看護学実習（3年後期）」を履修する者は、「小児看護学概論（2年前期）」「小児看護学方法論（2年後期）」「小児看護学演習（3年前期）」のすべての単位を修得していること。
- ④ 「リプロダクティブヘルス看護学実習（3年後期）」を履修する者は、「リプロダクティブヘルス看護学概論（2年前期）」「リプロダクティブヘルス看護学方法論（2年後期）」「リプロダクティブヘルス看護学演習（3年前期）」のすべての単位を修得していること。
- ⑤ 「精神看護学実習（3年後期）」を履修する者は、「精神看護学概論（2年前期）」「精神看護学方法論（2年後期）」「精神看護学演習（3年前期）」のすべての単位を修得していること。
- ⑥ 「地域・在宅看護学実習（3年後期）」を履修する者は、「地域・在宅看護学概論（1年後期）」「地域・在宅看護学方法論Ⅰ（生活を支える看護）（2年後期）」「地域・在宅看護学方法論Ⅱ（対象別看護）（3年前期）」「地域・在宅看護学演習（3年前期）」のすべての単位を修得していること。

(4) 地域統合看護学実習（地域包括生活療養支援実習）（4年前期）

「地域統合看護学実習（地域包括生活療養支援実習）」を履修する者は、「基礎看護学実習Ⅰ（看護援助の基本）（1年前期）」、「基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）（2年後期）」「生活療養支援実習Ⅰ（介護予防・生活支援実習）（2年後期）」「生活療養支援実習Ⅱ（周手術期・クリティカルケア看護学実習）（3年後期）」「生活療養支援実習Ⅲ（慢性・回復期看護学実習）（3年後期）」「生活療養支援実習Ⅳ（施設看護実習）（3年後期）」「生活療養支援実習Ⅴ（地域療養支援サービス実習）（3年後期）」「小児看護学実習（3年後期）」「リプロダクティブヘルス看護学実習（3年後期）」「精神看護学実習（3年後期）」「地域・在宅看護学実習（3年後期）」のすべての単位を修得していること。

(5) 公衆衛生看護学実習（4年後期）

「公衆衛生看護学実習」を履修する者は、「保健師履修コース」の学生であること。くわえて、「公衆衛生看護学概論（1年後期）」「公衆衛生看護学方法論（4年前期）」「対象別保健活動論Ⅰ（発達段階別）（4年前期）」「対象別保健活動論Ⅱ（障害別）（4年前期）」「地域診断論（3年前期）」「健康教育論（3年前期）」「産業保健論（2年後期）」「学校保健論（2年後期）」「健康危機管理論（3年前期）」「公衆衛生看護管理論（4年前期）」のすべての単位を修得していること。

(6) 日本語履修条件（留学生のみ）

「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-1-9 保健師履修コース

保健師を希望する者は、選抜試験を経て3年次より保健師履修コースに在籍することができます。

(1) 保健師履修コースの決定

保健師履修コースは、2年次末に選抜試験を行い、履修選択者を決定します。

(2) 保健師履修コースにおける授業区分と単位数

授業科目の区分		最低単位数				備考
		必修	選択必修	選択	保健師履修コース 選択必修	
総合教育科目	人間系	2単位				*保健師履修コース選択必修： 社会系 「日本国憲法（2単位）」 保健体育系 「健康科学理論（1単位）」 「健康科学実践（1単位）」
	社会系	1単位			2単位*	
	自然・情報系	8単位				
	総合系	1単位				
	外国語系	4単位 (5単位) ※2	2単位以上※1 (3単位以上 または 5単位以上) ※2			
	保健体育系				2単位*	
	小計	16単位 (17単位) ※2	2単位以上 (3単位以上 または 5単位以上) ※2		4単位	
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	11単位	専門基礎科目 (学部共通、学 科専門基礎) および専門科 目(専門)※1 から4単位以上		*保健師履修コース選択必修： 「対象別保健活動論I（発達段階別）(2単位)」 「対象別保健活動論II（障害別）(1単位)」 「地域診断論（1単位）」 「健康危機管理論（1単位）」 「公衆衛生看護管理論（2単位）」 「公衆衛生看護特論（1単位）」 「公衆衛生看護学実習（4単位）」
		学科専門基礎	12単位			
		小計	23単位			
	専門科目	専門	67単位			
		公衆衛生看護学	8単位		12単位*	
		小計	75単位	4単位以上		
	小計	98単位		4単位以上	12単位	
保健師国家試験要件	合計	114単位 (115単位) ※2	2単位以上 (3単位以上 または 5単位以上) ※2	4単位以上	16単位	
	総計	136単位以上 (138単位以上または140単位以上) ※2				
卒業要件	合計	114単位 (115単位) ※2	2単位以上 (3単位以上 または 5単位以上) ※2	8単位以上 (6単位以上) ※2		
	総計	124単位以上 (124単位以上または126単位以上) ※2				

※1 前述の「8-1-8 科目履修条件」に従うこと。

※2 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

(3) 保健師履修コースを希望する学生の注意点

- ① 総合教育科目22単位以上（留学生は24単位以上または26単位以上）の履修に際して、選択科目は学科共通の選択必修科目である英語科目2単位（留学生は日本語科目3単位以上または5単位以上）にくわえ、二種免許状申請に必要となる選択必修科目4単位（社会系：「日本国憲法（2単位・30時間）」保健体育系：「健康科学理論（1単位・15時間）」「健康科学実践（1単位・30時間）」）の修得が必要となるため、保健師履修コースに必要な科目と単位数、開講学年、開講時期を確認すること。
- ② 専門教育科目のうち、公衆衛生看護学について選択必修科目12単位（「対象別保健活動論Ⅰ（発達段階別）（2単位・30時間）」「対象別保健活動論Ⅱ（障害別）（1単位・15時間）」「地域診断論（1単位・30時間）」「健康危機管理論（1単位・15時間）」「公衆衛生看護管理論（2単位・30時間）」「公衆衛生看護特論（1単位・30時間）」「公衆衛生看護学実習（4単位・180時間）」）の修得が必要となるため、保健師履修コースに必要な科目と単位数、開講学年、開講時期を確認すること。

(4) 卒業要件と看護師国家試験受験資格および保健師国家試験受験資格

- ① 看護学科の卒業要件は、124単位以上（留学生は124単位以上または126単位以上）の単位修得を必要とし、これをもって看護師国家試験受験資格を満たす。
- ② 保健師履修コースの選択者は、136単位以上（留学生は138単位以上または140単位以上）の単位修得を必要とし、これをもって看護師国家試験受験資格と保健師国家試験受験資格を満たす。
- ③ 保健師履修コースの選択者のうち、136単位以上の単位修得ができない不測の事態が発生しても、看護学科の卒業要件となる124単位の単位修得をしていれば、看護師国家試験受験資格および卒業要件は満たす。

(5) 養護教諭二種免許状

保健師の資格を有し、免許状の修得に必要な単位を修得した方であれば各自治体の教育委員会に必要書類を提出することにより申請が可能です。(申請の場合、大学より証明書が必要です) 希望する学生は以下の科目を履修してください。

① 留学生以外の学生

- 日本国憲法
- 健康科学理論
- 健康科学実践
- 英語講読1 (Primary)
- 英語講読2 (Basic)
- 英語CALL1 (Primary)
- 英語CALL2 (Basic)
- コンピュータの基礎
- データリテラシー

② 留学生

- 日本国憲法
- 健康科学理論
- 健康科学実践
- 作文・読解Ⅱ (応用)
- 文法・語彙Ⅱ (応用)
- 発表・討論Ⅰ (応用)
- コンピュータの基礎
- データリテラシー

* 下記英語科目から2単位以上を選択必修 ※3

- 英語CALL1 (Primary)
- 英語CALL2 (Basic)
- 英語会話1 (Primary)
- 英語会話2 (Basic)
- 英語会話3 (Intermediate)
- 英語会話4 (Advanced)

※3 留学生は後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を満たす必要があります。

よく確認して、履修登録に漏れのないよう注意してください。

8-1-10 授業科目一覧（総合教育科目：看護学科）

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備 考	
						必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	1	2	3	4		2	30	
		演劇論	1	2	3	4		1	15	
		心理学	1	2	3	4		2	30	
		哲学	1	2	3	4		2	30	
		コミュニケーション概論	1					2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30	
		人間学	1	2	3	4		2	30	
		歴史学	1	2	3	4		2	30	
		倫理学	1	2	3	4		2	30	
		宗教学	1	2	3	4		2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4		2	30	
		文化人類学	1	2	3	4		2	30	
		教育学	1	2	3	4		2	30	
		教育方法論	1	2	3	4		2	30	
		死生学・死を通して生を考える・	1	2	3	4		2	30	
	生きがい論	1	2	3	4		2	30		
	社会系	法学	1	2	3	4		2	30	
		日本国憲法 ※	1	2	3	4		2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30	
		社会学	1	2	3	4		2	30	
		日本政治経済論	1	2	3	4		2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4		2	30	
		福祉経済学	1	2	3	4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4		2	30	
		国際関係論	1	2	3	4		2	30	
		世界の経済	1	2	3	4		2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4		2	30	
		海外保健福祉事情	1	2	3	4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識		2				1	30	
		地球環境論	1	2	3	4		2	30	
		ボランティア論	1	2	3	4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4		2	30	
		手話入門	1	2	3	4		2	30	
	経済の仕組み	1	2	3	4		2	30		
	経済の歴史	1	2	3	4		2	30		
	自然・情報系	統計学		2				2	30	
		疫学・保健医療統計学			3			2	30	
		数学	1	2	3	4		2	30	
		物理学	1	2	3	4		2	30	
		化学	1	2	3	4		2	30	
		生物学	1	2	3	4		2	30	高校で生物を未履修の学生はこの科目の選択をすること
		コンピュータの基礎	1					2	30	
		データリテラシー	1					1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4		1	30	
医療データサイエンスⅡ（AI基礎）			2	3	4		1	30		
医療必修・医療の倫理とプロ意識・医療情報		1	2	3	4		1	30		
医学／医療史		1	2	3	4		2	30		
人間工学	1	2	3	4		2	30			
総合系	大学入門講座・医療人・社会人として成長するために	1					1	30		
	郷土論～栃木学～	1	2	3	4		1	15		
	医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15		
	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30		
	総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1	2	3	4		1	15		
	総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4		1	15		
	食と人間	1	2				1	15		
	人間と性	1	2	3	4		1	15		
	持続可能な発展	1	2	3	4		2	30		
	読書ゼミナール	1	2	3	4		1	15		
現代医療福祉事情	1	2	3	4		1	15			
ボランティア実践	1	2	3	4		1	15			

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1	30	
		英語講読 2 (Basic)	1	1	30	
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
		英語 CALL1 (Primary)	1	1	30	
		英語 CALL2 (Basic)	1	1	30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4	1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4	1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4	1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4	1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4	1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4	1	30	
		中国語入門	1 2 3 4	1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4	1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4	1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4	1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4	1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4	1	30	
	保健	健康科学理論 ※	1 2 3 4	1	15	
	体育系	健康科学実践 ※	1 2 3 4	1	30	

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する
「8-9-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

※印は「保健師」国家試験受験に必要な科目

8-1-10 授業科目一覧（専門教育科目：看護学科）

	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考	
			必修	選択			
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1	2		30		
	救急医学	2		1	15		
	微生物と病気	1 2 3 4		2	30		
	リハビリテーション概論	2	2		30		
	関連職種連携論	2	2		30		
	看護論	1		2	30		
	ケアマネジメント論	2 3 4		1	15		
	ケースワーク論	1 2		1	15		
	医療管理学	1 2 3 4		2	30		
	保健医療福祉制度論	1	2		30		
	社会福祉学	1 2		2	30		
	臨床心理学概論	2	2		30		
	福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30		
	関連職種連携ワーク	3	1		30		
	関連職種連携実習	4		1	45		
	リスクマネジメント論	3 4		2	30		
	電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15		
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15		
	レクリエーション概論	2 3 4		1	15		
	専門基礎	生体形態論Ⅰ（運動器系・循環器系）	1	1		30	
		生体形態論Ⅱ（内臓学・神経系・感覚器系）	1	1		30	
		生体機能論Ⅰ（循環・呼吸・消化・腎臓）	1	1		30	
		生体機能論Ⅱ（神経・運動・感覚）	1	1		30	
		栄養学	1	1		30	
		微生物学	1	1		30	
		病理学	1	1		30	
		薬理学	2	1		30	
老年学		2		1	30		
機能障害論Ⅰ（循環器・呼吸器・血液）		2	1		30		
機能障害論Ⅱ（脳神経・消化器・内分泌）		2	1		30		
機能障害論Ⅲ（生殖・腎泌尿器・運動・免疫）		2	1		30		
機能障害論Ⅳ（精神・小児・老年関連疾患）		2	1		30		
専門教育科目		基礎看護学概論	1	2		30	
	看護理論	1	1		15		
	看護方法論（看護過程）	2	1		30		
	日常生活援助論Ⅰ（環境と清潔）	1	1		30		
	日常生活援助論Ⅱ（食事と排泄）	1	1		30		
	看護技術論Ⅰ（ヘルスアセスメント）	1	1		30		
	看護技術論Ⅱ（診療支援技術）	1	1		30		
	基礎看護学実践演習	2	1		30		
	看護管理学	3	2		30		
	基礎看護学実習Ⅰ（看護援助の基本）	1	1		45		
	基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）	2	2		90		
	成人看護学概論	2	1		15		
	急性期看護学方法論	2	1		30		
	慢性期・回復期看護学方法論	2	1		30		
	がん・緩和ケア看護学方法論	2	1		30		
	急性期看護学演習	3	1		30		
	慢性期・回復期看護学演習	3	1		30		
	救急医療とクリティカルケア看護	3		1	15		
	高齢者看護学概論	2	1		15		
	高齢者看護学方法論Ⅰ（生活機能を整える看護）	2	1		30		
	高齢者看護学方法論Ⅱ（生活・療養の場における看護）	3	1		15		
	高齢者看護学演習	3	1		30		
	小児看護学概論	2	1		15		
	小児看護学方法論	2	2		30		
	小児看護学演習	3	1		30		
	リプロダクティブヘルス看護学概論	2	1		15		
	リプロダクティブヘルス看護学方法論	2	2		30		
	リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1		30		

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育科目	専 門	精神看護学概論	2	1		15
		精神看護学方法論	2	2		30
		精神看護学演習	3	1		30
		地域・在宅看護学概論	1	2		30
		地域・在宅看護学方法論Ⅰ(生活を支える看護)	2	2		30
		地域・在宅看護学方法論Ⅱ(対象別看護)	3	1		15
		地域・在宅看護学演習	3	1		15
		生活療養支援実習Ⅰ(介護予防・生活支援実習)	2	1		45
		生活療養支援実習Ⅱ(周手術期・クリティカルケア看護学実習)	3	2		90
		生活療養支援実習Ⅲ(慢性・回復期看護学実習)	3	3		135
		生活療養支援実習Ⅳ(施設看護学実習)	3	2		90
		生活療養支援実習Ⅴ(地域療養支援サービス実習)	3	1		45
		小児看護学実習	3	2		90
		リプロダクティブヘルス看護学実習	3	2		90
		精神看護学実習	3	2		90
		地域・在宅看護学実習	3	2		90
		看護研究	3	2		30
		看護研究ゼミⅠ(ベーシック)	4	1		30
		看護研究ゼミⅡ(アドバンス)	4		1	30
		看護学統合特論	4	1		45
	看護管理学演習	4		1	30	
	国際看護学	4		1	15	
	家族看護学	2	1		15	
	看護倫理学	2		1	15	
	災害看護学	4		2	30	
	地域統合看護学実習(地域包括生活療養支援実習)	4	3		135	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	1	2		30
		公衆衛生看護学方法論	4	2		30
		対象別保健活動論Ⅰ(発達段階別) ※	4		2	30
		対象別保健活動論Ⅱ(障害別) ※	4		1	15
		地域診断論 ※	3		1	30
		健康教育論	3	2		30
		産業保健論	2	1		15
学校保健論		2	1		15	
健康危機管理論 ※		3		1	15	
公衆衛生看護管理論 ※		4		2	30	
公衆衛生看護特論 ※		4		1	30	
公衆衛生看護学実習 ※		4		4	180	

※印は「保健師」国家試験受験に必要な科目

保健医療学部看護学科DP-教育目標カリキュラムマップ【2024(令和6)年度以降入学生版】

黒:必須科目、水色:選択科目、緑:保健師コース選択必須

		ディプロマ・ポリシー(DP)						
		【DP1】 看護専門職を目指す者として、社会的責務と倫理観を根幹とした幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、一人の人間として豊かな心を身につけている。	【DP2】 看護学の基礎となる学問を理解する専門職人としての基盤力を養い、関連職種との協働を理解し、看護の対象となる人々の利益のために連携を図ることのできるコミュニケーション力を身につけている。	【DP3】 個人、家族、組織、地域社会における人々の健康課題を査定し、基本的な看護実践を行うための知識・技術・態度を身につけている。	【DP4】 看護を必要とする様々な事象について論理的かつ多面的に理解し、自らの考えを表現し、行動する資質と能力を身につけている。	【DP5】 未知の事象に対し、専門的知識や技術力を統合して創造的に課題解決に取り組むための専門職人としての基盤力と探究力を身につけている。	【DP6】 看護専門職を目指す者として、責務を果たすために、必要な自己研鑽を重ねることの意義を理解し、自己開発の方法を身につけている。	
各 年 次 の 教 育 目 標 (到達 目標 ・ SBOs)	1 年 次	【SBOs1/CP1】 幅広い教養と豊かな感性を培い、人間を理解するための基盤力、語学力を高める。	【DP1/SBOs1/CP1】 大学入門講座(1)、英語講読1(1)、英語講読2(1)、英語CALL1(1)、英語CALL2(1)、文学論、演劇論、心理学、哲学、雑談と傾聴、人間学、人間と性、歴史学、日本近現代史、数学、物理学、化学、生物学、郷土論、読書ゼミナール、英語会話1、英語会話2、聖書英語1、聖書英語2、医学英語1、医学英語2、英語リスニング1、英語リスニング2、英語ライティング1、英語ライティング2、英語医療通訳入門1、英語医療通訳入門2、資格英語1、資格英語2、基礎英文法1、基礎英文法2、上級英語会話1、上級英語会話2、フランス語入門、フランス語基礎、ドイツ語入門、ドイツ語基礎、スペイン語入門、スペイン語基礎、中国語入門、中国語基礎、韓国語入門、韓国語基礎、韓国語応用、韓国語発展	【DP2/SBOs1/CP1】 コミュニケーション概論(2)	【DP3/SBOs1/CP1】	【DP4/SBOs1/CP1】	【DP5/SBOs1/CP1】	【DP6/SBOs1/CP1】 健康科学理論、健康科学実践
		【SBOs1/CP2】 人間と環境を理解するための諸科学を学び、看護学に応用するための基盤を固める。	【DP1/SBOs1/CP2】 医学/医療史、医療必修(1)、倫理学、宗教学、文化人類学、教育学、教育方法論、死生学、生きがい論、法学、日本国憲法、法と道徳・倫理、社会学、日本政治経済論、マスメディア論、経済の仕組み、福祉経済学、アジア諸国の経済・社会・文化、国際関係論、世界の経済、国際医療福祉論、組織運営管理論、地球環境論、経済の歴史、コンピュータの基礎(2)、データリテラシー(1)、人間工学、医療福祉教養講義、総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う、総合講義(現代社会をどう見るか)、食と人間、持続可能な発展、現代医療福祉事情	【DP2/SBOs1/CP2】 手話入門、メディカルマナー入門、ボランティア論、ボランティアコーディネート論、ボランティア実践	【DP3/SBOs1/CP2】 公衆衛生学(2)、保健医療福祉制度論(2)、生体形態論 I(1)、生体形態論 II(1)、生体機能論 I(1)、生体機能論 II(1)、栄養学(1)、微生物学(1)、病理学(1)、微生物と病気	【DP4/SBOs1/CP2】	【DP5/SBOs1/CP2】	【DP6/SBOs1/CP2】
		【SBOs1/CP3】 個人や家族の健康状態を査定し、健康課題を解決するための看護の視点を身につける。	【DP1/SBOs1/CP3】	【DP2/SBOs1/CP3】	【DP3/SBOs1/CP3】 基礎看護学概論(2)、看護理論(1)、日常生活援助論 I(1)、日常生活援助論 II(1)、看護技術論 I(1)、看護技術論 II(1)、地域・在宅看護学概論(2)、公衆衛生看護学概論(2)、看護論、医療管理学、ケースワーク論、社会福祉学、福祉支援工学概論	【DP4/SBOs1/CP3】	【DP5/SBOs1/CP3】	【DP6/SBOs1/CP3】
		【SBOs1/CP4】 自らの学修課題を認識し、自らを動機づけ、主体的な学修活動を行うことができる。	【DP1/SBOs1/CP4】	【DP2/SBOs1/CP4】	【DP3/SBOs1/CP4】 基礎看護学実習 I(1)	【DP4/SBOs1/CP4】	【DP5/SBOs1/CP4】	【DP6/SBOs1/CP4】
	2 年 次	【SBOs2/CP1】 豊かな教養を持ち、グローバルな視点で考える力、異文化を理解する力、国際的な感覚を身につける。	【DP1/SBOs2/CP1】 英語講読3、英語講読4、英語会話3、英語会話4、海外保健福祉事情	【DP2/SBOs2/CP1】	【DP3/SBOs2/CP1】	【DP4/SBOs2/CP1】 エビデンスベーストプラクティス	【DP5/SBOs2/CP1】	【DP6/SBOs2/CP1】
		【SBOs2/CP2】 保健医療福祉関連職の機能や社会の仕組みを理解し、看護に活用するための基盤を固める。	【DP1/SBOs2/CP2】 我が国の社会福祉・医療保障政策の知識(1)、ケアマネジメント論、医療データサイエンス I (DS基礎)、医療データサイエンス II (AI基礎)、電子カルテシステム入門	【DP2/SBOs2/CP2】 レクリエーション概論	【DP3/SBOs2/CP2】 統計学(2)、関連職種連携論(2)、リハビリテーション概論(2)、臨床心理学概論(2)、薬理学(1)、機能障害論 I(1)、機能障害論 II(1)、機能障害論 III(1)、機能障害論 IV(1)、家族看護学(1)、産業保健論(1)、学校保健論(1)、救急医学、老年学	【DP4/SBOs2/CP2】 看護倫理学	【DP5/SBOs2/CP2】	【DP6/SBOs2/CP2】
		【SBOs2/CP3】 必要な看護を査定、計画、実践、評価し改善を行うための基礎的知識・技術・態度を身につける。	【DP1/SBOs2/CP3】	【DP2/SBOs2/CP3】	【DP3/SBOs2/CP3】 看護学方法論(1)、基礎看護学実践演習(1)、成人看護学概論(1)、急性期看護学方法論(1)、慢性期・回復期看護学方法論(1)、がん・緩和ケア看護学方法論(1)、高齢者看護学概論(1)、高齢者看護学方法論 I(1)、小児看護学概論(1)、小児看護学方法論(2)、リプロダクティブヘルス看護学概論(1)、リプロダクティブヘルス看護学方法論(2)、精神看護学概論(1)、精神看護学方法論(2)、地域・在宅看護学方法論 I(2)	【DP4/SBOs2/CP3】	【DP5/SBOs2/CP3】	【DP6/SBOs2/CP3】
		【SBOs2/CP4】 演習や実習に主体的に取り組むことができ、看護専門職者としての自己研鑽力の基盤がでている。	【DP1/SBOs2/CP4】	【DP2/SBOs2/CP4】	【DP3/SBOs2/CP4】 基礎看護学実習 II(2) 生活療養支援実習 I(1)	【DP4/SBOs2/CP4】	【DP5/SBOs2/CP4】	【DP6/SBOs2/CP4】

		ディプロマ・ポリシー (DP)						
		【DP1】 看護専門職を目指す者として、社会的責務と倫理観を根幹とした幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、一人の人間として豊かな心を身につけている。	【DP2】 看護学の基礎となる学問を理解する専門職業人としての基礎力を養い、関連職種との協働を円滑に行うための知識・技術・態度を身につけている。	【DP3】 個人、家族、組織、地域社会における人々の健康課題を査定し、基本的な看護実践を行うための知識・技術・態度を身につけている。	【DP4】 看護を必要とする様々な事象について論理的かつ多面的に理解し、自らの考えを表現し、行動する資質と能力を身につけている。	【DP5】 未知の事象に対し、専門的知識や技術力を統合して創造的に課題解決に取り組むための専門職業人としての基礎力と探究力を身につけている。	【DP6】 看護専門職を目指す者として、責務を果たすために、必要な自己研鑽を重ねることの意義を理解し、自己開発の方法を身につけている。	
各 年 次 の 教 育 目 標 (到達 目標 ・ S B O s)	3 年 次	【SBOs3/CP1】 多様性を理解し、自らの考えをもち、論理的かつ建設的に思考する力を身につける。	【DP1/SBOs3/CP1】	【DP2/SBOs3/CP1】	【DP3/SBOs3/CP1】 疫学・保健医療統計学(2)	【DP4/SBOs3/CP1】	【DP5/SBOs3/CP1】	【DP6/SBOs3/CP1】
		【SBOs3/CP2】 保健医療福祉関連職の機能や社会の仕組みに関する知識を看護に応用することができる。	【DP1/SBOs3/CP2】	【DP2/SBOs3/CP2】	【DP3/SBOs3/CP2】 関連職種連携ワーク(1)、看護管理学(2)、リスクマネジメント論、救急医療とクリティカルケア看護	【DP4/SBOs3/CP2】 急性期看護学演習(1)、慢性期・回復期看護学演習(1)、高齢者看護学方法論Ⅱ(1)、高齢者看護学演習(1)、小児看護学演習(1)、リプロダクティブヘルス看護学演習(1)、精神看護学演習(1)、地域・在宅看護学演習(1)、地域・在宅看護学方法論Ⅱ(1)、健康教育論(2)、地域診断論(1)、健康危機管理論(1)	【DP5/SBOs3/CP2】	【DP6/SBOs3/CP2】
		【SBOs3/CP3】 必要な看護を行うための知識・技術・態度を実習で具体的にを行うことができる。	【DP1/SBOs3/CP3】	【DP2/SBOs3/CP3】	【DP3/SBOs3/CP3】	【DP4/SBOs3/CP3】 生活療養支援実習Ⅱ(2)、生活療養支援実習Ⅲ(3)、生活療養支援実習Ⅳ(2)、生活療養支援実習Ⅴ(1)、小児看護学実習(2)、リプロダクティブヘルス看護学実習(2)、精神看護学実習(2)、地域・在宅看護学実習(2)	【DP5/SBOs3/CP3】	【DP6/SBOs3/CP3】
		【SBOs3/CP4】 看護に関する未知の事象への興味関心を表現でき、探究活動を開始することができる。	【DP1/SBOs3/CP4】	【DP2/SBOs3/CP4】	【DP3/SBOs3/CP4】	【DP4/SBOs3/CP4】 看護研究(2)	【DP5/SBOs3/CP4】	【DP6/SBOs3/CP4】
	4 年 次	【SBOs4/CP1】 看護専門職者の社会的責務を認識し、倫理観に基づいた看護を行う基盤を固める。	【DP1/SBOs4/CP1】	【DP2/SBOs4/CP1】	【DP3/SBOs4/CP1】 国際看護学、災害看護学	【DP4/SBOs4/CP1】 看護管理学演習	【DP5/SBOs4/CP1】 公衆衛生看護管理論(2)	【DP6/SBOs4/CP1】
		【SBOs4/CP2】 対象を中心とした保健医療福祉を行うための看護の知識・技術・態度、関連職種と連携を図ることができるコミュニケーション力を身につける。	【DP1/SBOs4/CP2】	【DP2/SBOs4/CP2】	【DP3/SBOs4/CP2】	【DP4/SBOs4/CP2】 関連職種連携実習(1)	【DP5/SBOs4/CP2】	【DP6/SBOs4/CP2】
		【SBOs4/CP3】 複雑な健康課題、組織や地域社会の健康関連課題を論理的かつ多面的に理解し、看護するための知識・技術・態度を身につける。	【DP1/SBOs4/CP3】	【DP2/SBOs4/CP3】	【DP3/SBOs4/CP3】 公衆衛生看護学方法論(2)、対象別保健活動論Ⅰ(2)、対象別保健活動論Ⅱ(1)	【DP4/SBOs4/CP3】	【DP5/SBOs4/CP3】 公衆衛生看護学実習(4)	【DP6/SBOs4/CP3】 看護学統合特論(1)、地域統合看護学実習(3)、公衆衛生看護学特論(1)
		【SBOs4/CP4】 看護研究を行うための基本的な知識・技術・態度を身につける。	【DP1/SBOs4/CP4】	【DP2/SBOs4/CP4】	【DP3/SBOs4/CP4】	【DP4/SBOs4/CP4】	【DP5/SBOs4/CP4】 看護研究ゼミⅠ(1)	【DP6/SBOs4/CP4】 看護研究ゼミⅡ(1)

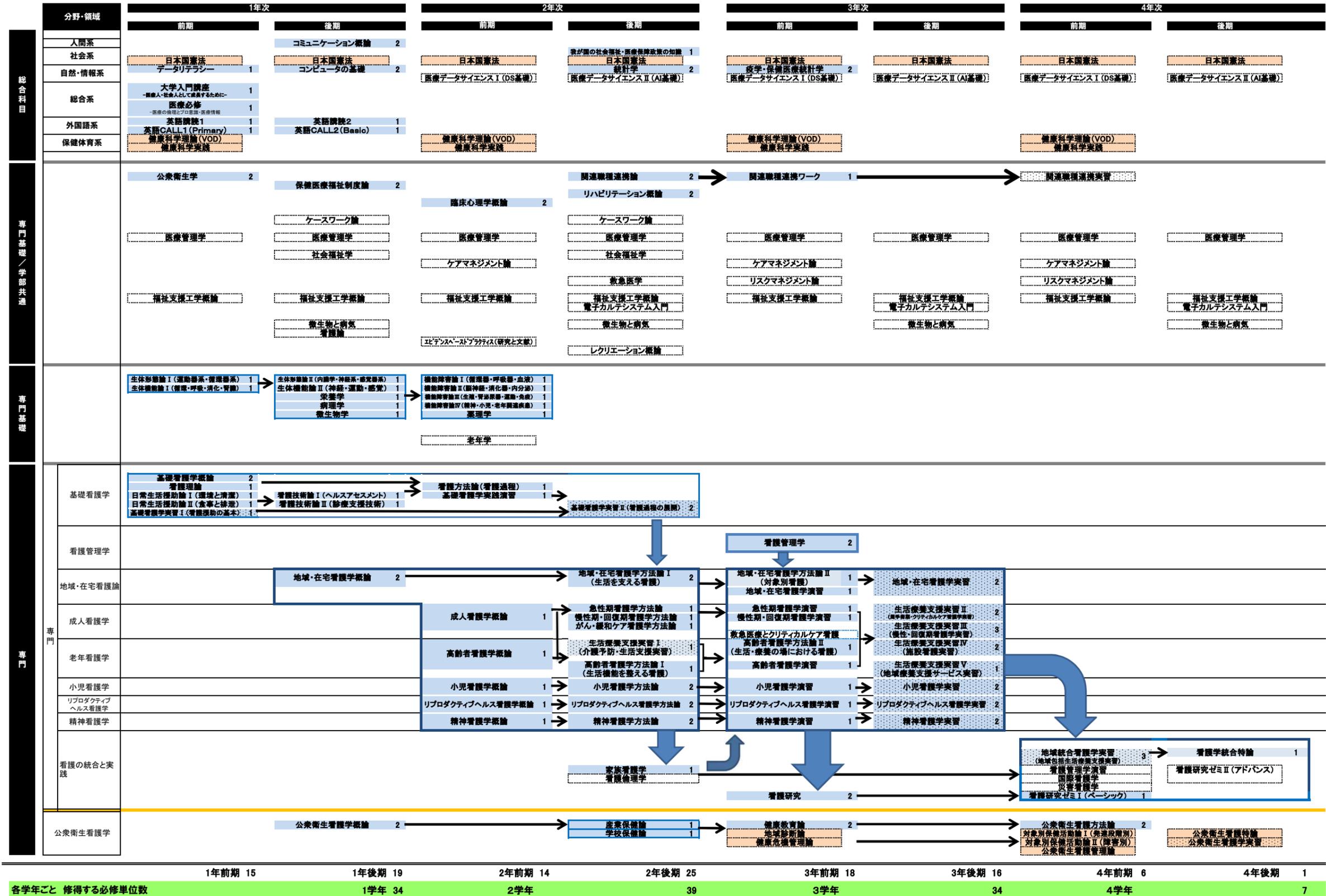
保健医療学部 看護学科 履修系統図【2024(令和6)年度入学生から】

ディプロマ・ポリシー

看護学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。
 DP1: 看護専門職を目指す者として、社会的責務と倫理観を根幹とした幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、一人の人間として豊かな心を身につけている。
 DP2: 看護学の基礎となる学問を理解する専門職業人としての基盤力を養い、関連職種との協力を理解し、看護の対象となる人々の利益のために連携を図ることのできるコミュニケーション力を身につけている。
 DP3: 個人、家族、組織、地域社会における人々の健康課題を査定し、基本的な看護実践を行うための知識・技術・態度を身につけている。
 DP4: 看護を必要とする様々な事象について論理的かつ多面的に理解し、自らの考えを表現し、行動する資質と能力を身につけている。
 DP5: 未知の事象に対し、専門的知識や技術力を統合して創造的に課題解決に取り組むための専門職業人としての基盤力と探究力を身につけている。
 DP6: 看護専門職を目指す者として、責務を果たすために、必要な自己研鑽を重ねることの意義を理解し、自己開発の方法を身につけている。

カリキュラム・ポリシー

看護学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。
 CP1: 看護専門職者としての基盤となる社会的責務と倫理観を根幹とした幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、一人の人間として豊かな心を身につけるための科目を設定する。
 CP2: 看護学の基礎となる学問を理解する専門職業人としての基盤力を養い、関連職種との協力を理解し、看護の対象となる人々の利益のために連携を図ることのできるコミュニケーション力を身につけるための科目を設定する。
 CP3: 個人、家族、組織、地域社会における人々の健康課題を査定し、基本的な看護実践を行うための知識・技術・態度を身につけるための科目、および、看護を必要とする様々な事象について論理的かつ多面的に理解し、自らの考えを表現し、行動する資質と能力を身につけるための科目を設定する。
 CP4: 未知の事象に対し、専門的知識や技術力を統合して創造的に課題解決に取り組むための基盤力と探究力を身につけるための科目、および、看護専門職者としての責務を果たすために、必要な自己研鑽を重ねることの意義を理解し、自己開発の方法を身につけるための科目を設定する。
 学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。



各学年ごと 修得する必修単位数	1年前期 15	1年後期 19	2年前期 14	2年後期 25	3年前期 18	3年後期 16	4年前期 6	4年後期 1
1学年	34							
2学年			39					
3学年					34			
4学年							7	

: 必修科目
 : 選択科目
 : 選択必修科目

8-2 保健医療学部 理学療法学科

8-2-1 教育研究上の目的

保健医療学部の教育研究上の目的

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師等の人材を育成する。

保健医療学部理学療法学科の教育研究上の目的

理学療法学科は、人を深く思いやるこころ「情意」、さまざまな障害に対処できる豊富な「知識」、障害を克服できるよう導く高い「技術」を育み、バランス感覚にも優れた理学療法士の育成を目的とする。

8-2-2 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、理学療法士として、豊かな心、コミュニケーション能力、新しい知識の追求に向けた関心や意欲を持ち備え、日々進化する保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応し、学びを深めるための客観的・科学的な分析・判断力を養うことが期待できる人

2. 理学療法学科の入学者に求める要件

1) 知識・技能

高等学校時代の教科・科目等に相応した基礎知識と技能にあたる語学系科目の修得を通して身につけた読解力、文章力、コミュニケーション能力、また、理数系科目の修得を通して身につけた論理的な思考力、科学的な理解力を有していること。

2) 思考力・判断力・表現力

保健・医療・福祉分野における新しい知識を学ぶための積極的な意欲を有し、継続的な努力を惜しまず、他人を思いやる寛容性及びコミュニケーション能力、学修で得た知識・技能をもとにした客観的な思考力及び理解力、筋道を立てて科学的に考えることができる分析力及び判断力を有していること。

3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、理学療法士として「共に生きる社会」の実現に寄与すべく、地域とのつながりを大切に考えることができ、保健・医療・福祉分野の発展

に貢献したいという強い意志を持ち、積極的に自ら研鑽し、また相手の立場に立って物事を考え多職種と協調的に連携を図る態度を身につけていること。

8-2-3 ディプロマ・ポリシー

理学療法学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：理学療法士を目指す者として、建学の精神である「共に生きる社会」の実現を目指し、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、社会的責務と倫理観を身につけている。

DP2：理学療法士を目指す者として、理学療法を提供するために必要な基礎的な知識を身につけている。

DP3：理学療法士を目指す者として、基礎的な学力を養い、多様性を受け入れ、適切なマナーと円滑なコミュニケーションによって豊かな対人関係を築き、他者への共感的態度を身につけている。

DP4：理学療法士を目指す者として、備えた基礎的な知識を理学療法場面に当てはめて客観的・科学的に分析でき、基礎的な理学療法技術を身につけている。

DP5：理学療法士を目指す者として、様々な状況において備えた高度な専門的知識や技術力を統合して、的確な判断に基づく問題解決能力を身につけている。

DP6：理学療法士を目指す者として、効果的な多職種連携のために、自職種および他職種を理解し、チームの一員としての役割が果たせる。

DP7：理学療法士を目指す者として、自身の更なる発展のため、生涯学習を行うことの重要性を認識し、理学療法分野における新しい知識を追求する方法（研究活動）を身につけている。

8-2-4 カリキュラム・ポリシー

理学療法学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1：理学療法や関連領域の基礎的・専門的な知識・技術を有し、他文化・異文化を問わない態度で人類の健康を理解できる理学療法士を育成するための科目を設定する。

CP2：獲得した知識・技術・態度をもとに問題点を的確に把握し、病態に応じた適切な理学療法評価・治療を提供できる理学療法士を育成するための科目を設定する。

CP3：理学療法の過程で得た情報を定量的・論理的に分析し、適切なコミュニケーション手段を用いて他者と共有し、チームを構築して問題解決にあたることのできる理学療法士を育成するための科目を設定する。

CP4：常に向上心を持って自己研鑽に努め、修得した知識や技術を関連職種を含めたチーム内で共有しながらリーダーシップを発揮し、専門職業人としての高い倫理観を有した、社会から求められる理学療法士を育成するための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

8-2-5 教育目標

<1 年次 (SBOs1) >

- CP1 : 保健医療福祉に関する基本的知識や異文化に関する知識を修得する。
- CP2 : 保健医療福祉に関する基本的知識を修得し、理学療法とのかかわりを理解する。
- CP3 : 理学療法に必要な論理的思考を養い、コミュニケーションスキルを身につける。
- CP4 : 多様な学問領域に関心を持ち、主体的な学びを通して、使命感、倫理観、責任感、思いやりの心などの豊かな人間性を獲得する。

<2 年次 (SBOs2) >

- CP1 : 保健医療福祉や異文化に関する発展的な基礎知識を修得する。
- CP2 : 病態に応じた理学療法検査手技を正確に実施できる。
- CP3 : データと情報を収集し、適切に管理できる。
- CP4 : 他者と協働し、チームの一員として貢献できる。

<3 年次 (SBOs3) >

- CP1 : 理学療法専門分野および関連領域における基礎的な知識を修得する。
- CP2 : 病態に応じた理学療法評価を正確に実施し、一連の治療プログラムを想定できる。
- CP3 : 収集した情報を基に、障害像の統合と解釈ができる。
- CP4 : 理学療法の発展的な基礎知識を修得し、専門職業人としての倫理観を養い、関連する職種間との連携に貢献できる。

<4 年次 (SBOs4) >

- CP1 : 理学療法専門分野および関連領域における知識を修得し、それらを臨床応用できる能力を獲得する。
- CP2 : 適切な評価を選択・実施できる。また、評価結果から医学的根拠に基づいた一連の治療プログラムを立案し、治療の実施および再評価することができる。
- CP3 : 臨床的な疑問点を探究し、その解決を図るための研究デザインや研究チームを構築することができる。また、計画に基づいた研究の実施および結果の臨床応用について検討することができる。
- CP4 : 理学療法における応用的・発展的な知識を修得し、関連職種へ情報提供および共有することができる。

8-2-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-2-9 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【理学療法学科 2024（令和6）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数	
		必修	選択
総合教育科目	人間系		4単位以上
	社会系	1単位	2単位以上
	自然・情報系	2単位	2単位以上
	総合系	1単位	
	外国語系	4単位 (5単位) ※1	2単位以上 (3単位以上または 5単位以上) ※1
	保健体育系		
	小計	8単位 (9単位) ※1	14単位以上 (13単位以上または15単位以上) ※1
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	8単位
		学科専門基礎	26単位
		小計	34単位
	専門科目	58単位	専門教育科目から 12単位以上
	小計	92単位	
合計	100単位 (101単位) ※1	26単位以上 (25単位以上または27単位以上) ※1	
総計	126単位以上 (126単位以上または128単位以上) ※1		

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-2-7 進級条件

(1) 2 学年から 3 学年への進級条件

2学年までの全必修科目のうち単位未修得科目が2科目以下であること。

(2) 3 学年から 4 学年への進級条件

3学年までの必修科目の単位をすべて修得していること。

8-2-8 科目履修条件

(1) 日本語履修条件（留学生のみ）

「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-2-9 授業科目一覧（総合教育科目：理学療法学科）

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備考	
						必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	1	2	3	4		2	30	
		演劇論	1	2	3	4		1	15	
		心理学	1	2	3	4		2	30	
		哲学	1	2	3	4		2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30	
		人間学	1	2	3	4		2	30	
		歴史学	1	2	3	4		2	30	
		倫理学	1	2	3	4		2	30	
		宗教学	1	2	3	4		2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4		2	30	
		文化人類学	1	2	3	4		2	30	
		教育学	1	2	3	4		2	30	
		教育方法論	1	2	3	4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4		2	30	
	生きがい論	1	2	3	4		2	30		
	社会系	法学	1	2	3	4		2	30	
		日本国憲法	1	2	3	4		2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30	
		社会学	1	2	3	4		2	30	
		日本政治経済論	1	2	3	4		2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4		2	30	
		福祉経済学	1	2	3	4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4		2	30	
		国際関係論	1	2	3	4		2	30	
		世界の経済	1	2	3	4		2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4		2	30	
		海外保健福祉事情	1	2	3	4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1		30	
		自然・情報系	地球環境論	1	2	3	4		2	30
	ボランティア論		1	2	3	4		2	30	
	ボランティアコーディネート論		1	2	3	4		2	30	
	手話入門		1	2	3	4		2	30	
	経済の仕組み		1	2	3	4		2	30	
	経済の歴史		1	2	3	4		2	30	
	統計学		1	2	3	4		2	30	
	疫学・保健医療統計学		1	2	3	4		2	30	
	数学		1	2	3	4		2	30	
	物理学		1	2	3	4		2	30	
	化学		1	2	3	4		2	30	
	生物学		1	2	3	4		2	30	
	コンピュータの基礎		1	2	3	4		2	30	
	データリテラシー		1				1		30	
	総合系		医療データサイエンスⅠ (DS 基礎)		2	3	4		1	30
医療データサイエンスⅡ (AI 基礎)			2	3	4		1	30		
医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-		1	2	3	4	1		30		
医学/医療史		1	2	3	4		2	30		
人間工学		1	2	3	4		2	30		
大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-		1				1		30		
郷土論～栃木学～		1	2	3	4		1	15		
医療福祉教養講義		1	2	3	4		1	15		
メディカルマナー入門		1	2	3	4		2	30		
総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-		1	2	3	4		1	15		
総合講義 (現代社会をどう見るか)		1	2	3	4		1	15		
食と人間		1	2				1	15		
人間と性		1	2	3	4		1	15		
持続可能な発展		1	2	3	4		2	30		
読書ゼミナール		1	2	3	4		1	15		
現代医療福祉事情	1	2	3	4		1	15			
ボランティア実践	1	2	3	4		1	15			

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	
			必修	選択			
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1	30		
		英語講読 2 (Basic)	1	1	30		
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語 CALL1 (Primary)	1	1	30		
		英語 CALL2 (Basic)	1	1	30		
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
	中国語基礎	1 2 3 4		1	30		
	韓国語入門	1 2 3 4		1	30		
	韓国語基礎	1 2 3 4		1	30		
	韓国語応用	1 2 3 4		1	30		
	韓国語発展	1 2 3 4		1	30		
	保健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
	体育系	健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する
「8-9-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

8-2-9 授業科目一覧（専門教育科目：理学療法学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門基礎 ／ 学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
	救急医学	2 3	1		15	
	微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
	リハビリテーション概論	1		2	30	
	関連職種連携論	2		2	30	
	看護論	1		2	30	
	ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
	ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
	医療管理学	1 2 3 4		2	30	
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
	社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
	臨床心理学概論	2		2	30	
	福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
	関連職種連携ワーク	3		1	30	
	関連職種連携実習	4		1	45	
	リスクマネジメント論	3 4		2	30	
	電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
レクリエーション概論	2 3 4		1	15		
専門教育科目	専門基礎	解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1	1	30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1	1	30	
		解剖学実習Ⅰ（肉眼）	1	1	45	
		解剖学実習Ⅱ（組織）	1	1	45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1	30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1	30	
		生理学実習	1	1	45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1	30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1	30	
		運動生理学	1	2	30	
		病理学	2	1	30	
		臨床医学概論	2	1	30	
		内科学Ⅰ（基礎）	2	1	30	
		内科学Ⅱ（臨床）	2	1	30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1	30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1	30	
		整形外科Ⅰ（基礎）	2	1	30	
		整形外科Ⅱ（臨床）	2	1	30	
	精神医学Ⅰ（総論・各論）	2	1	30		
	精神医学Ⅱ（各論）	2		1	30	
	運動学実習Ⅰ（基礎）	2	1	45		
	運動学実習Ⅱ（応用）	2	1	45		
	人間発達学	2	1	30		
	リハビリテーション医学	3	1	30		
	小児科学	2	1	30		
	老年学	2 3 4		1	30	
	神経心理学概論	2 3 4		2	30	
	臨床薬理学概論	2 3 4	1		15	
	スポーツ傷害学	2 3 4		1	15	
	外科学	2 3 4		1	15	
栄養学	2 3 4		1	15		
専門	バルペーション（運動機能）	1		1	15	PT 基礎
	理学療法概論	1		2	30	PT 基礎
	PT スキルⅠ演習（課題発表・PBL）	1		1	30	PT 基礎
	PT スキルⅡ演習（課題学習・口頭試問）	2		1	30	PT 基礎
	PT スキルⅢ演習（課題学習）	3		1	30	PT 基礎
	PT スキルⅣ演習（口頭試問・OSCE・CBT）	3		2	60	PT 基礎
	病態運動学	3		2	30	PT 基礎
	運動解剖学	2		2	30	PT 基礎
	バイオメカニクス	1 ② 3 4		1	15	PT 基礎
	運動心理学	1 2 ③ 4		1	15	PT 基礎
	スポーツ心理学	1 2 3 ④		1	15	PT 基礎

授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
		必修	選択		
スポーツ医科学	1 2 ③ 4		1	15	PT 基礎
理学療法評価学	2	2		30	PT 評価
理学療法診断学Ⅰ（基礎）	2	1		30	PT 評価
理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	2	1		30	PT 評価
理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	2	1		15	PT 評価
理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	② 3 4		1	15	PT 評価
動作分析学	② 3 4		1	15	PT 評価
臨床動作分析学	2 ③ 4		1	15	PT 評価
運動負荷学	2 ③ 4		1	15	PT 評価
理学療法計測法	② ③ 4	1		15	PT 評価
クリニカルリーディング	2 ③ 4		1	15	PT 評価
高次脳機能障害学	2 ③ 4		1	15	PT 評価
物理療法学Ⅰ（基礎）	1	1		30	PT 治療
物理療法学Ⅱ（応用）	2	1		30	PT 治療
運動療法学総論	2	1		30	PT 治療
癌のリハビリテーション	2 ③		1	15	PT 治療
生活技術学	3	1		30	PT 治療
生活環境学	3	1		30	PT 治療
義肢学	3	1		30	PT 治療
装具学	3	1		30	PT 治療
理学療法治療総論	3	1		15	PT 治療
運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	3	1		30	PT 治療
運動系理学療法学Ⅱ（応用）	3	1		30	PT 治療
神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	3	1		30	PT 治療
神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	3	1		30	PT 治療
小児理学療法学	3	1		30	PT 治療
循環器系理学療法学	3	1		15	PT 治療
呼吸器系理学療法学	3	1		15	PT 治療
代謝系理学療法学	3	1		15	PT 治療
地域理学療法学演習（在宅・地域）	3	1		30	PT 治療
急性期理学療法学	2 ③ 4		1	15	PT 治療
スポーツ理学療法学	2 ③ 4		1	15	PT 治療
スポーツ傷害治療学	2 ③ 4		1	15	PT 治療
ヘルスプロモーション論	2 ③ 4		1	15	PT 治療
産科理学療法学	2 ③ 4		1	15	PT 治療
理学療法治療学演習Ⅰ（神経筋促通治療学）	2 ③ 4		1	15	PT 治療
理学療法治療学演習Ⅱ（神経発達学的治療学）	2 ③ 4		1	15	PT 治療
理学療法治療学演習Ⅲ（マニュアルセラピー関節）	2 ③ 4		1	15	PT 治療
理学療法治療学演習Ⅳ（マニュアルセラピー脊柱）	2 ③ 4		1	15	PT 治療
理学療法治療学演習Ⅴ（マニュアルセラピー徒手）	③ 4		1	15	PT 治療
基礎実習	1		1	45	実習
検査実習	2		2	90	実習
地域リハビリテーション実習	3 4		1	45	実習
評価実習	3		4	180	実習
総合臨床実習	4	12		540	実習
理学療法特論Ⅰ（基礎）	4	2		30	応用 PT
理学療法特論Ⅱ（応用）	2 3 ④		2	30	応用 PT
理学療法研究法	2 3 ④		1	15	応用 PT
理学療法教育学	2 ③ 4		1	15	応用 PT
理学療法統計法	4		1	15	応用 PT
理学療法管理学	2 ③ 4	2		30	応用 PT
障害者スポーツ概論	2 ③ 4		1	15	応用 PT
ジャーナルリーディング	2 ③ 4		1	15	応用 PT
理学療法国際事情	1 2 ③ 4		1	15	応用 PT
卒業研究	4		4	180	応用 PT

専門教育科目

専門

※ 授業を行う年次の○印は、その年次の履修を原則とする。

専門科目間のつながりや国試基準と科目との対応関係を理解するために、以下の資料も参照すること。

理学療法専門科目における階層性

国家試験基準（令和6年度基準）との科目との対比表

保健医療学部理学療法学科DP-教育目標カリキュラムマップ【2024(令和6)年度以降入学生版】

		ディプロマ・ポリシー (DP)							
		【DP1】 理学療法士を目指す者として、建学の精神である「共に生きる社会」の実現を目指し、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、社会的責務と倫理観を身につけている。	【DP2】 理学療法士を目指す者として、理学療法を提供するために必要な基礎的な知識を身につけている。	【DP3】 理学療法士を目指す者として、基礎的な学力を養い、多様性を受け入れ、適切なマナーと円滑なコミュニケーションによって豊かな対人関係を築き、他者への共感的態度を身につけている。	【DP4】 理学療法士を目指す者として、備えた基礎的知識を理学療法場面に当てはめて客観的・科学的に分析でき、基礎的な理学療法技術を身につけている。	【DP5】 理学療法士を目指す者として、様々な状況において備えた高度な専門的知識や技術力を統合して、的確な判断に基づく問題解決能力を身につけている。	【DP6】 理学療法士を目指す者として、効果的な多職種連携のために、自職種および他職種を理解し、チームの一員としての役割が果たせる。	【DP7】 理学療法士を目指す者として、自身の更なる発展のため、生涯学習を行うことの重要性を認識し、理学療法分野における新しい知識の追求(研究活動)へ新しい知識を追求する方法を身につけている。	
各 年 次 の 教 育 目 標 (到達 目標 ・ SBOs)	1 年 次	【SBOs1/CP1】 ①保健医療福祉に関する基本的知識や異文化に関する知識を修得する	【DP1/SBOs1/CP1】 英語講読1(Primary)、英語講読2(Basic)、英語CALL1(Primary)、英語CALL2(Basic)、リハビリテーション概論、データリテラシー 英語会話1(Primary)、英語会話2(Basic)、聖書英語1(Primary)、聖書英語2(Basic)、医学英語1(Primary)、医学英語2(Basic)、英語リスニング1(Primary)、英語リスニング2(Basic)、英語ライティング1(Primary)、英語ライティング2(Basic)、英語医療通訳入門1(Primary)、英語医療通訳入門2(Basic)、資格英語1(Primary)、資格英語2(Basic)、基礎英文法1(Primary)、基礎英文法2(Basic)、上級英語会話1(発展)、上級英語会話2(総合)、フランス語入門、フランス語基礎、ドイツ語入門、ドイツ語基礎、スペイン語入門、スペイン語基礎、中国語入門、中国語基礎、韓国語入門、韓国語基礎、韓国語応用、韓国語発展、文学論、演劇論、心理学、哲学、人間学、歴史学、倫理学、宗教学、日本近現代史、文化人類学、法学、日本国憲法、法と道徳・倫理、社会学、日本政治経済論、マスメディア論、アジア諸国の経済・社会・文化、国際関係論、世界の経済、組織運営管理論、地球環境論、経済の仕組み、経済の歴史、統計学、数学、物理学、化学、生物学、コンピュータの基礎、食と人間、人間と性、持続可能な発展、読書ゼミナール	【DP2/SBOs1/CP1】 解剖学Ⅰ(運動器系、内臓器系)、解剖学Ⅱ(内臓器系、神経系)、解剖学実習Ⅰ(肉眼)、解剖学実習Ⅱ(組織)、生理学Ⅰ(植物性機能)、生理学Ⅱ(動物性機能)、生理学実習、運動学Ⅰ(基礎)、運動学Ⅱ(応用)	【DP3/SBOs1/CP1】 コミュニケーション概論、雑談と傾聴～話す力と聴く力～、教育学、教育方法論、海外保健福祉事情	【DP4/SBOs1/CP1】 運動学Ⅰ(基礎)、運動学Ⅱ(応用)	【DP5/SBOs1/CP1】	【DP6/SBOs1/CP1】	【DP7/SBOs1/CP1】
	【SBOs1/CP2】 ②保健医療福祉に関する基本的知識を修得し、理学療法とのかかわりを理解する	【DP1/SBOs1/CP2】 理学療法概論、我が国の社会福祉・医療保障政策の知識、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報- 死生学-死を通して生を考える-、生きがい論、福祉経済学、国際医療福祉論、疫学・保健医療統計学、医学/医療史、人間工学、現代医療福祉事情	【DP2/SBOs1/CP2】 運動生理学、物理療法学Ⅰ(基礎) バルベーション(運動機能)、公衆衛生学、微生物と病気、看護論、ケースワーク論、医療管理論、保健医療福祉制度論、社会福祉学、福祉支援工学概論	【DP3/SBOs1/CP2】 理学療法概論	【DP4/SBOs1/CP2】 運動生理学、物理療法学Ⅰ(基礎)	【DP5/SBOs1/CP2】	【DP6/SBOs1/CP2】	【DP7/SBOs1/CP2】	
	【SBOs1/CP3】 ③理学療法に必要な論理的思考を養い、コミュニケーションスキルを身につける	【DP1/SBOs1/CP3】 基礎実習	【DP2/SBOs1/CP3】 健康科学理論、健康科学実践	【DP3/SBOs1/CP3】 基礎実習 手話入門、医療福祉教養講義、メディカルマナー入門	【DP4/SBOs1/CP3】 PTスキルⅠ演習(課題発表・PBL)	【DP5/SBOs1/CP3】	【DP6/SBOs1/CP3】	【DP7/SBOs1/CP3】	
	【SBOs1/CP4】 ④多様な学問領域に関心を持ち、主体的な学びを通して、使命感、倫理観、責任感、思いやりの心などの豊かな人間性を獲得する	【DP1/SBOs1/CP4】 大学入門講座-医療人・社会人として成長するために- 郷土論～栃木学～、総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う、総合講義(現代社会をどう見るか)	【DP2/SBOs1/CP4】 基礎実習	【DP3/SBOs1/CP4】 PTスキルⅠ演習(課題発表・PBL) ボランティア論、ボランティアコーディネート論、ボランティア実践	【DP4/SBOs1/CP4】	【DP5/SBOs1/CP4】	【DP6/SBOs1/CP4】	【DP7/SBOs1/CP4】	
	2 年 次	【SBOs2/CP1】 ①保健医療福祉や異文化に関する発展的な基礎知識を修得する	【DP1/SBOs2/CP1】 英語講読3(Intermediate)、英語講読4(Advanced)、英語会話3(Intermediate)、英語会話4(Advanced)、医療データサイエンスⅠ(DS基礎)、医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	【DP2/SBOs2/CP1】 救急医学、臨床心理学概論、病理学、臨床医学概論、内科学Ⅰ(基礎)、内科学Ⅱ(臨床)、神経学Ⅰ(基礎)、神経学Ⅱ(臨床)、整形外科Ⅰ(基礎)、整形外科Ⅱ(臨床)、精神医学Ⅰ(総論・各論)、人間発達学、小児科学、臨床薬理学概論 精神医学Ⅱ(各論)、老年学、神経心理学概論、スポーツ傷害学、外科学、栄養学	【DP3/SBOs2/CP1】 人間発達学 海外保健福祉事情	【DP4/SBOs2/CP1】 人間発達学	【DP5/SBOs2/CP1】	【DP6/SBOs2/CP1】	【DP7/SBOs2/CP1】
	【SBOs2/CP2】 ②病態に応じた理学療法検査手技を正確に実施できる	【DP1/SBOs2/CP2】	【DP2/SBOs2/CP2】 理学療法診断学Ⅲ(神経・画像評価学を含む)、理学療法計測法 ケアマネジメント論	【DP3/SBOs2/CP2】 PTスキルⅡ演習(課題学習・口頭試問)、運動解剖学、理学療法診断学Ⅰ(基礎)、理学療法診断学Ⅱ(疾患編)	【DP4/SBOs2/CP2】 PTスキルⅡ演習(課題学習・口頭試問)、運動解剖学、理学療法評価学、理学療法診断学Ⅰ(基礎)、理学療法診断学Ⅱ(疾患編)、理学療法診断学Ⅲ(神経・画像評価学を含む)、理学療法計測法 理学療法診断学Ⅳ(電気診断学)	【DP5/SBOs2/CP2】 理学療法評価学、理学療法診断学Ⅰ(基礎)、理学療法診断学Ⅱ(疾患編) 動作分析学	【DP6/SBOs2/CP2】	【DP7/SBOs2/CP2】	
	【SBOs2/CP3】 ③データと情報を収集し、適切に管理できる	【DP1/SBOs2/CP3】	【DP2/SBOs2/CP3】 検査実習	【DP3/SBOs2/CP3】 物理療法学Ⅱ(応用)、運動療法学総論	【DP4/SBOs2/CP3】 運動学実習Ⅰ(基礎)、運動学実習Ⅱ(応用)、物理療法学Ⅱ(応用)、運動療法学総論 エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)、バイオメカニクス	【DP5/SBOs2/CP3】 運動学実習Ⅰ(基礎)	【DP6/SBOs2/CP3】 電子カルテシステム入門	【DP7/SBOs2/CP3】 運動学実習Ⅱ(応用) 動作分析学、バイオメカニクス、エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	
	【SBOs2/CP4】 ④他者と協働し、チームの一員として貢献できる	【DP1/SBOs2/CP4】	【DP2/SBOs2/CP4】	【DP3/SBOs2/CP4】 検査実習、関連職種連携論 レクリエーション概論	【DP4/SBOs2/CP4】 検査実習	【DP5/SBOs2/CP4】	【DP6/SBOs2/CP4】 関連職種連携論	【DP7/SBOs2/CP4】	

		ディプロマ・ポリシー(DP)							
		【DP1】 理学療法士を目指す者として、建学の精神である「共に生きる社会」の実現を目指し、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、社会的責務と倫理観を身につけている。	【DP2】 理学療法士を目指す者として、理学療法を提供するために必要な基礎的な知識を身につけている。	【DP3】 理学療法士を目指す者として、基礎的な学力を養い、多様性を受け入れ、適切なマナーと円滑なコミュニケーションによって豊かな対人関係を築き、他者への共感的態度を身につけている。	【DP4】 理学療法士を目指す者として、備えた基礎的知識を理学療法場面に当てはめて客観的・科学的に分析でき、基礎的な理学療法技術を身につけている。	【DP5】 理学療法士を目指す者として、様々な状況において備えた高度な専門的知識や技術力を統合して、的確な判断に基づく問題解決能力を身につけている。	【DP6】 理学療法士を目指す者として、効果的な多職種連携のために、自職種および他職種を理解し、チームの一員としての役割が果たせる。	【DP7】 理学療法士を目指す者として、自身の更なる発展のため、生涯学習を行うことの重要性を認識し、理学療法分野における新しい知識の追求(研究活動)へ新しい知識を追求する方法を身につけている。	
各 年 次 の 教 育 目 標 (到達目標・SBOs)	3 年 次	【SBOs3/CP1】 ①理学療法専門分野および関連領域における基礎的な知識を修得する	【DP1/SBOs3/CP1】	【DP2/SBOs3/CP1】 リスクマネジメント論、運動心理学	【DP3/SBOs3/CP1】 障害者スポーツ概論	【DP4/SBOs3/CP1】 リハビリテーション医学 スポーツ医科学	【DP5/SBOs3/CP1】 臨床動作分析学、運動負荷学	【DP6/SBOs3/CP1】 障害者スポーツ概論、スポーツ医科学	【DP7/SBOs3/CP1】 臨床動作分析学、ジャーナルリーディング、理学療法国際事情
		【SBOs3/CP2】 ②病態に応じた理学療法評価を正確に実施し、一連の治療プログラムを想定できる	【DP1/SBOs3/CP2】	【DP2/SBOs3/CP2】	【DP3/SBOs3/CP2】	【DP4/SBOs3/CP2】 生活技術学、生活環境学、義肢学、装具学、運動系理学療法学Ⅰ(基礎)、運動系理学療法学Ⅱ(応用)、神経系理学療法学Ⅰ(脳血管)、神経系理学療法学Ⅱ(神経筋)、小児理学療法学、循環器系理学療法学、呼吸器系理学療法学、代謝系理学療法学、地域理学療法学演習(在宅・地域)	【DP5/SBOs3/CP2】 生活技術学、生活環境学、義肢学、装具学、運動系理学療法学Ⅰ(基礎)、運動系理学療法学Ⅱ(応用)、神経系理学療法学Ⅰ(脳血管)、神経系理学療法学Ⅱ(神経筋)、小児理学療法学、循環器系理学療法学、呼吸器系理学療法学、代謝系理学療法学、地域理学療法学演習(在宅・地域) 高次脳機能障害学	【DP6/SBOs3/CP2】 生活技術学、生活環境学、義肢学、装具学、運動系理学療法学Ⅰ(基礎)、運動系理学療法学Ⅱ(応用)、神経系理学療法学Ⅰ(脳血管)、神経系理学療法学Ⅱ(神経筋)、小児理学療法学、循環器系理学療法学、呼吸器系理学療法学、代謝系理学療法学、地域理学療法学演習(在宅・地域)	【DP7/SBOs3/CP2】
		【SBOs3/CP3】 ③収集した情報を基に、障害像の統合と解釈ができる	【DP1/SBOs3/CP3】	【DP2/SBOs3/CP3】	【DP3/SBOs3/CP3】 地域リハビリテーション実習 理学療法治療学演習Ⅰ(神経筋促進治療学)、理学療法治療学演習Ⅴ(マニュアルセラピー徒手)	【DP4/SBOs3/CP3】 病態運動学 理学療法治療学演習Ⅰ(神経筋促進治療学)、理学療法治療学演習Ⅴ(マニュアルセラピー徒手)、産科理学療法学	【DP5/SBOs3/CP3】 PTスキルⅢ演習(課題学習)、PTスキルⅣ演習(口頭試問・OSCE・CBT)、病態運動学、理学療法治療学総論 クリニカルリーディング、癌のリハビリテーション、急性期理学療法学、スポーツ理学療法学、スポーツ傷害治療学、ヘルスプロモーション論、産科理学療法学、理学療法治療学演習Ⅰ(神経筋促進治療学)、理学療法治療学演習Ⅱ(神経発達学的治療学)、理学療法治療学演習Ⅲ(マニュアルセラピー関節)、理学療法治療学演習Ⅳ(マニュアルセラピー脊柱)、理学療法治療学演習Ⅴ(マニュアルセラピー徒手)	【DP6/SBOs3/CP3】 理学療法治療学総論、地域リハビリテーション実習、評価実習 産科理学療法学、急性期理学療法学	【DP7/SBOs3/CP3】 スポーツ医科学、運動負荷学、運動心理学
		【SBOs3/CP4】 ④理学療法発展的な基礎知識を修得し、専門職業人としての倫理観を養い、関連する職種間との連携に貢献できる	【DP1/SBOs3/CP4】	【DP2/SBOs3/CP4】	【DP3/SBOs3/CP4】 PTスキルⅢ演習(課題学習)、PTスキルⅣ演習(口頭試問・OSCE・CBT)	【DP4/SBOs3/CP4】 評価実習	【DP5/SBOs3/CP4】 評価実習、地域リハビリテーション実習、関連職種連携ワーク、理学療法管理学	【DP6/SBOs3/CP4】 リハビリテーション医学、関連職種連携ワーク、理学療法管理学 理学療法教育学	【DP7/SBOs3/CP4】
	4 年 次	【SBOs4/CP1】 ①理学療法専門分野および関連領域における知識を修得し、それらを臨床応用できる能力を獲得する	【DP1/SBOs4/CP1】	【DP2/SBOs4/CP1】 理学療法特論Ⅰ(基礎) スポーツ心理学、理学療法特論Ⅱ(応用)	【DP3/SBOs4/CP1】	【DP4/SBOs4/CP1】 理学療法特論Ⅰ(基礎)	【DP5/SBOs4/CP1】 理学療法特論Ⅱ(応用)	【DP6/SBOs4/CP1】 地域リハビリテーション実習	【DP7/SBOs4/CP1】
		【SBOs4/CP2】 ②適切な評価を選択・実施できる。また、評価結果から医学的根拠に基づいた一連の治療プログラムを立案し、治療の実施および再評価することができる	【DP1/SBOs4/CP2】	【DP2/SBOs4/CP2】	【DP3/SBOs4/CP2】	【DP4/SBOs4/CP2】	【DP5/SBOs4/CP2】 理学療法教育学	【DP6/SBOs4/CP2】 総合臨床実習	【DP7/SBOs4/CP2】
		【SBOs4/CP3】 ③臨床的な疑問点を探求し、その解決を図るための研究デザインや研究チームを構築することができる。また、計画に基づいた研究の実施および結果の臨床応用について検討することができる	【DP1/SBOs4/CP3】	【DP2/SBOs4/CP3】	【DP3/SBOs4/CP3】	【DP4/SBOs4/CP3】	【DP5/SBOs4/CP3】 卒業研究、理学療法研究法、理学療法統計法	【DP6/SBOs4/CP3】	【DP7/SBOs4/CP3】 卒業研究、理学療法研究法、理学療法統計法、スポーツ心理学
		【SBOs4/CP4】 ④理学療法における応用的・発展的な知識を修得し、関連職種へ情報提供および共有することができる	【DP1/SBOs4/CP4】	【DP2/SBOs4/CP4】	【DP3/SBOs4/CP4】	【DP4/SBOs4/CP4】	【DP5/SBOs4/CP4】 総合臨床実習	【DP6/SBOs4/CP4】 関連職種連携実習	【DP7/SBOs4/CP4】 総合臨床実習 関連職種連携実習

保健医療学部 理学療法学科 履修系統図【2024(令和6)年度入学生から】

ディプロマ・ポリシー

理学療法学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。
 DP1：理学療法士を目指す者として、建学の精神である「共に生きる社会」の実現を目指し、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、社会的責務と倫理観を身につけている。
 DP2：理学療法士を目指す者として、理学療法を提供するために必要な基礎的な知識を身につけている。
 DP3：理学療法士を目指す者として、基礎的な学力を養い、多様性を受け入れ、適切なマナーと円滑なコミュニケーションによって豊かな対人関係を築き、他者への共感的態度を身につけている。
 DP4：理学療法士を目指す者として、備えた基礎的な知識を理学療法場面に当てはめて客観的・科学的に分析でき、基礎的な理学療法技術を身につけている。
 DP5：理学療法士を目指す者として、様々な状況において備えた高度な専門的知識や技術力を統合して、的確な判断に基づく問題解決能力を身につけている。
 DP6：理学療法士を目指す者として、効果的な多職種連携のために、自職種および他職種を理解し、チームの一員としての役割が果たせる。
 DP7：理学療法士を目指す者として、自身の更なる発展のため、生涯学習を行うことの重要性を認識し、理学療法分野における新しい知識を追求する方法（研究活動）を身につけている。

カリキュラム・ポリシー

理学療法学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。
 CP1：理学療法や関連領域の基礎的・専門的な知識・技術を有し、他文化・異文化を問わない態度で人類の健康を理解できる理学療法士を育成するための科目を設定する。
 CP2：獲得した知識・技術・態度をもとに問題点を的確に把握し、病態に応じた適切な理学療法評価・治療を提供できる理学療法士を育成するための科目を設定する。
 CP3：理学療法の過程で得た情報を定量的・論理的に分析し、適切なコミュニケーション手段を用いて他者と共有し、チームを構築して問題解決にあたることのできる理学療法士を育成するための科目を設定する。
 CP4：常に向上心を持って自己研鑽に努め、修得した知識や技術を関連職種を含めたチーム内で共有しながらリーダーシップを発揮し、専門職業人としての高い倫理観を有した、社会から求められる理学療法士を育成するための科目を設定する。
 学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

科目分類の学修・教育目標	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
総合教育	人間系（文学論、演劇論、心理学、哲学、コミュニケーション概論、人間学、歴史学、倫理学、文化人類学、教育学、教育方法論、死生学、生きがい論・・・） 社会系（法学、日本国憲法、法と道徳・倫理、社会学、日本政治経済論、マスメディア論、福祉経済学、国際関係論、国際医療福祉論、海外保健福祉事情、我が国の社会福祉・医療保障政策の知識・・・） 自然・情報系（統計学、疫学・保健医療統計学、数学、物理学、化学、生物学、コンピュータの基礎、データリテラシー、医療データサイエンス、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報、医学/医療史、人間工学・・・） 総合系（大学入門講座-医療人・社会人として成長するために、総合講義、医療福祉教養講義、食と人間、持続可能な発展・・・） 外国語系（英語講読1、英語講読2、英語CALL1、英語CALL2、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、韓国語、日本語・・・） 保健体育系（健康科学理論、健康科学実践）							
専門基礎/学部共通	公衆衛生学、微生物と病気、看護論、ケースワーク論、医療管理学、保健医療福祉制度論、福祉支援工学概論、社会福祉学		ケアマネジメント論、電子カルテシステム入門、エビデンスベースドプラクティス、レクリエーション概論		リスクマネジメント論		関連職種連携実習	
基礎医学	解剖学Ⅰ(運動器系・内臓器系) 解剖学Ⅱ(内臓器系・神経系) 解剖学実習Ⅰ(内臓) 解剖学実習Ⅱ(神経) 生理学Ⅰ(植物性機能) 生理学Ⅱ(動物性機能) 生理学実習		臨床医学概論 内科学Ⅰ 整形外科Ⅰ 神経学Ⅰ 精神医学Ⅰ 小児科学 産科学 老年学 外科学		内科学Ⅱ 整形外科Ⅱ 神経学Ⅱ 精神医学Ⅱ		身体リハビリテーションと医学	
臨床医学	身体リハビリテーション概論		臨床薬理学概論 栄養学		臨床心理学概論 救急医学 神経心理学概論			
関連医学								
基礎系	理学療法概論 運動学Ⅰ(基礎) 運動生理学 運動学Ⅱ(応用) 物理療法学 PTスキルⅠ:演習(課題発表、PBL) バルベーション(運動機能)		運動解剖学 理学療法評価学 物理療法学Ⅱ 理学療法診断学Ⅰ(基礎) 運動学実習Ⅰ		運動療法学総論 PTスキルⅡ:演習(課題学習:口頭試問) 理学療法診断学Ⅱ(応用編) 運動学実習Ⅱ		PTスキルⅢ:演習(課題学習) PTスキルⅣ:演習(課題学習:OSCE/CBT)	
神経系			理学療法診断学Ⅲ(神経:運動器領域を中心) 理学療法診断学Ⅳ(電気診断学)		人間発達学		理学療法治療学演習Ⅴ(マニュアルセラピー-徒手) 理学療法治療学演習Ⅱ(神経発達学的治療学)	
運動器系			スポーツ傷害学		動作分析学 バイオメカニクス		運動系理学療法学Ⅱ クリニカルリスニング スポーツ理学療法学 スポーツ傷害治療学	
内部障害系					運動系理学療法学Ⅰ スポーツ医学 臨床動作分析学 障害者スポーツ概論		理学療法治療学演習Ⅲ(マニュアルセラピー-関節) 理学療法治療学演習Ⅳ(マニュアルセラピー-骨柱) 循環器系理学療法学 代謝系理学療法学 運動負荷学 養老学 生活技術学	
地域・生活支援系							呼吸器系理学療法学 癌のリハビリテーション	
教育・管理系					理学療法計測法 理学療法管理学 理学療法教育学		養老学 生涯環境学 地域理学療法学演習(在宅・地域) ヘルスプロモーション論 産科理学療法学 ジャーナルリーディング 理学療法国際事情	
臨床実習	基礎実習		検査実習		理学療法計測法 理学療法管理学 理学療法教育学		運動心理学 スポーツ心理学	
							理学療法研究法 理学療法統計法 卒業研究 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ	

..... : 必修科目
 : 臨床実習
 : 選択科目

評価実習
 地域リハビリテーション実習
 総合臨床実習

8-3 保健医療学部 作業療法学科

8-3-1 教育研究上の目的

保健医療学部の教育研究上の目的

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師等の人材を育成する。

保健医療学部作業療法学科の教育研究上の目的

作業療法学科は、高度で幅広い知識と技術を修得し、一人ひとりのニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応できる作業療法士の育成を目的とする。

8-3-2 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、作業療法士として、豊かな人間性と自己研鑽の意欲を兼ね備え、日々進化する保健・医療・福祉分野に対応し、他者と協働しながら課題解決する力を養うことが期待できる人

2. 作業療法学科の入学者に求める要件

1) 知識・技能

高等学校までの教科・科目やボランティア活動・課外活動を通して、作業療法とその関連領域についての学修を主体的かつ協調的に展開できる、基礎的な知識と技能を有していること。

2) 思考力・判断力・表現力

保健・医療・福祉分野の課題解決に対して強い関心を持ち、論理的に思考・分析・判断し実行する力と他者との協働の基礎となるコミュニケーション能力を有していること。

3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

「共に生きる社会」の実現に貢献したいという強い意志を持ち、他者を尊重し思いやる豊かな人間性、物事に対して誠実に向き合う態度を身につけていること。

8-3-3 ディプロマ・ポリシー

作業療法学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：作業療法士を目指す者として、建学の精神である「共に生きる社会」の実現を目指し、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、社会的責務と倫理観を身につけている。

DP2：作業療法士を目指す者として、基礎的学力を養い、関連職種の機能を理解し連携を図ることの出来るコミュニケーション力を身につけている。

DP3：作業療法士を目指す者として、作業療法実践に必要な他者への共感的態度および自己の治療的応用（Therapeutic Use of Self）を身につけている。

DP4：作業療法士を目指す者として、人々の生活機能を客観的・科学的に分析でき、作業療法を実践するために必要な専門的知識・技術を身につけている。

DP5：作業療法士を目指す者として、様々な状況において高度な専門的知識や技術を統合し創造的に課題解決に取り組む力を身につけている。

DP6：作業療法士を目指す者として、国内外問わず自らの活躍の場を模索し、生涯学習を行うことの重要性を認識し、科学的・創造的な探究心を持って作業療法分野の発展に向けて新しい知識を追求（研究活動）する方法を身につけている。

8-3-4 カリキュラム・ポリシー

作業療法学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1：作業療法分野の基礎知識を体系的に理解するとともに、多様な背景を持つ人々の生活や価値観を大切にし、社会生活を支える作業療法士を育成するための科目を設定する。

CP2：獲得した知識・技能・態度等を総合的に利用し、保健・医療・福祉の発展に寄与するため、人々の個別性に着目しながら科学的・創造的探究ができる作業療法士を育成するための科目を設定する。

CP3：多様な人々と協働していくために必要なコミュニケーションスキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力を社会の中で汎用的に活用できる作業療法士を育成するための科目を設定する。

CP4：常に向上心を持って自己研鑽できる専門職業人としての高い倫理観を有し、人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重できる作業療法士を育成するための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

8-3-5 教育目標

<1 年次 (SBOs1) >

CP1：作業療法を含む保健医療福祉領域とその関連領域に関する基本的知識を修得する。

CP2：人々や社会とのかかわりにおける作業療法の役割を理解する。

CP3：作業療法学生として大学生活を送るにあたって必要な汎用的技能を身につける。

CP4：大学生として保健医療福祉領域の学修を進めるにあたって必要な態度・志向性を身につける。

<2 年次 (SBOs2) >

CP1：作業療法専門分野および関連領域における基礎的知識を修得する。

CP2：生活機能に応じた作業療法のかかわりを理解できる。

CP3：作業療法分野の専門教育を深めるにあたって必要な汎用的技能を身につける。

CP4：作業療法学生として専門教育を深めるにあたって必要な態度・志向性を身につける。

<3 年次 (SBOs3) >

CP1：作業療法専門分野および関連領域における応用的な知識を修得する。

CP2：生活機能に応じた作業療法評価を実施できる。

CP3：作業療法学生として臨床場面に参加するにあたって必要な汎用的技能を身につける。

CP4：作業療法学生として臨床場面に参加するにあたって必要な態度・志向性を身につける。

<4 年次 (SBOs4) >

CP1：作業療法専門分野およびその関連領域における発展的な知識を修得する。

CP2：生活機能に応じた作業療法による治療・訓練・支援を提供できる。

CP3：作業療法士として職業生活を始めるにあたって必要な汎用的技能を身につける。

CP4：作業療法士として職業生活を始めるにあたって必要な態度・志向性を身につける。

8-3-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-3-9 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【作業療法学科 2024（令和6）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数	
		必修	選択
総合教育科目	人間系		4単位以上
	社会系	1単位	2単位以上
	自然・情報系	2単位	
	総合系	1単位	
	外国語系	4単位 (5単位) ※1	2単位以上 (3単位以上または 5単位以上) ※1
	保健体育系		
	小 計	8単位 (9単位) ※1	14単位以上 (13単位以上または15単位以上) ※1
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	10単位
		学科専門基礎	23単位
		小 計	33単位
	専門科目	61単位	専門教育科目から 10単位以上
	小 計	94単位	10単位以上
合 計		102単位 (103単位) ※1	24単位以上 (23単位以上または25単位以上) ※1
総 計		126単位以上 (126単位以上または128単位以上) ※1	

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-3-7 進級条件

(1) 2 学年から 3 学年への進級条件

2 学年までの全必修科目のうち単位未修得科目が 4 科目以下であること。

(2) 3 学年から 4 学年への進級条件

3 学年までの必修科目の単位をすべて修得していること。

8-3-8 科目履修条件

- (1) 外国語系科目に関する選択科目の履修条件
英語科目またはその他の外国語科目の中から2単位以上を履修すること。
- (2) 日本語履修条件（留学生のみ）
「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-3-9 授業科目一覧（総合教育科目：作業療法学科）

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備 考	
						必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	1	2	3	4		2	30	
		演劇論	1	2	3	4		1	15	
		心理学	1	2	3	4		2	30	
		哲学	1	2	3	4		2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30	
		人間学	1	2	3	4		2	30	
		歴史学	1	2	3	4		2	30	
		倫理学	1	2	3	4		2	30	
		宗教学	1	2	3	4		2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4		2	30	
		文化人類学	1	2	3	4		2	30	
		教育学	1	2	3	4		2	30	
		教育方法論	1	2	3	4		2	30	
		死生学・死を通して生を考える・	1	2	3	4		2	30	
	生きがい論	1	2	3	4		2	30		
	社会系	法学	1	2	3	4		2	30	
		日本国憲法	1	2	3	4		2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30	
		社会学	1	2	3	4		2	30	
		日本政治経済論	1	2	3	4		2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4		2	30	
		福祉経済学	1	2	3	4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4		2	30	
		国際関係論	1	2	3	4		2	30	
		世界の経済	1	2	3	4		2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4		2	30	
		海外保健福祉事情	1	2	3	4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1		30	
		自然・情報系	地球環境論	1	2	3	4		2	30
	ボランティア論		1	2	3	4		2	30	
	ボランティアコーディネート論		1	2	3	4		2	30	
	手話入門		1	2	3	4		2	30	
	経済の仕組み		1	2	3	4		2	30	
	経済の歴史		1	2	3	4		2	30	
	統計学		1	2	3	4		2	30	
	疫学・保健医療統計学		1	2	3	4		2	30	
	数学		1	2	3	4		2	30	
	物理学		1	2	3	4		2	30	
	化学		1	2	3	4		2	30	
	生物学		1	2	3	4		2	30	
	コンピュータの基礎		1	2	3	4		2	30	
	データリテラシー		1	2	3	4	1		30	
	総合系		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4		1	30
医療データサイエンスⅡ（AI基礎）			2	3	4		1	30		
医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-		1	2	3	4	1		30		
医学/医療史		1	2	3	4		2	30		
人間工学		1	2	3	4		2	30		
大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-		1				1		30		
郷土論～栃木学～		1	2	3	4		1	15		
医療福祉教養講義		1	2	3	4		1	15		
メディカルマナー入門		1	2	3	4		2	30		
総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-		1	2	3	4		1	15		
総合講義（現代社会をどう見るか）		1	2	3	4		1	15		
食と人間		1	2				1	15		
人間と性		1	2	3	4		1	15		
持続可能な発展		1	2	3	4		2	30		
読書ゼミナール		1	2	3	4		1	15		
現代医療福祉事情	1	2	3	4		1	15			
ボランティア実践	1	2	3	4		1	15			

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	
			必修	選択			
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1	30		
		英語講読 2 (Basic)	1	1	30		
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語 CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語 CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
	スペイン語入門	1 2 3 4		1	30		
	スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30		
	中国語入門	1 2 3 4		1	30		
中国語基礎	1 2 3 4		1	30			
韓国語入門	1 2 3 4		1	30			
韓国語基礎	1 2 3 4		1	30			
韓国語応用	1 2 3 4		1	30			
韓国語発展	1 2 3 4		1	30			
保健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15		
体育系	健康科学実践	1 2 3 4		1	30		

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する
「8-9-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

8-3-9 授業科目一覧（専門教育科目：作業療法学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育／学部共通	公衆衛生学	1 2 3	2		30	
	救急医学	2 3	1		15	
	微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
	リハビリテーション概論	1 2 3	2		30	
	関連職種連携論	2	2		30	
	看護論	1		2	30	
	ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
	ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
	医療管理学	1 2 3 4		2	30	
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
	社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
	臨床心理学概論	1 2 3	2		30	
	福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1		30	
	関連職種連携実習	4		1	45	
	リスクマネジメント論	3 4		2	30	
	電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
	レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
専門教育科目	専門基礎	解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	1	1	30	
		解剖学Ⅱ（内臓学、神経系、感覚器系）	1	1	30	
		解剖学実習	1	1	45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1	30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1	30	
		生理学実習	1	1	45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1	30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1	30	
		運動学実習	2	1	45	
		運動生理学	2	1	30	
		病理学	2	1	30	
		内科学	2	1	30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1	30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1	30	
		整形外科Ⅰ（基礎）	2	1	30	
	整形外科Ⅱ（臨床）	2	1	30		
	精神医学Ⅰ（基礎）	2	1	30		
	精神医学Ⅱ（臨床）	3	1	30		
	小児科学	2	1	30		
	老年学	3	1	30		
	リハビリテーション医学	3	1	30		
	人間発達学	1	1	30		
	病態生理学	2		1	15	
	臨床薬理学概論	2	1	15		
	栄養学	2		1	15	
	外科学	2		1	15	
	脳神経外科学	2		1	15	
	神経心理学概論	2		1	15	
	対人援助論	2 3 4		1	15	
	専門	作業療法概論	1	1	15	作業療法基礎学群
作業学概論		1	1	15	〃	
作業工程技术学・基礎論		1	1	30	〃	
作業工程技术学・応用論		1	1	30	〃	
作業分析学Ⅰ（基礎）		2	1	30	〃	
作業分析学Ⅱ（応用）		2	1	30	〃	
作業応用論		2 3 4		1	30	〃
研究法概論		3	1	15	〃	
研究法演習		3	1	30	〃	
卒業研究		4		1	30	〃
作業療法管理学（倫理・管理）	4	1	15	〃		
作業療法総括論	4	1	30	〃		

	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門 教育 科目	作業療法評価学概論	2	1		15	作業療法評価学群
	作業療法評価学各論	2	1		30	〃
	作業療法評価学演習	2	1		30	〃
	基礎運動機能評価法	2	1		30	〃
	生活機能論	2	1		30	〃
	上肢機能評価法	2		1	15	〃
	日常生活活動評価法	2		1	15	〃
	認知機能評価法	3		1	15	〃
	作業療法諸理論	2 3 4		1	15	作業療法適用学群
	作業療法適用学概論	2	1		15	〃
	コミュニケーション技術論	2	1		30	〃
	内科系疾患作業療法学	3	1		30	〃
	生活技術学Ⅰ（総論）	2	1		30	〃
	生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30	〃
	運動器疾患作業療法学	3	1		30	〃
	中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	〃
	中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	〃
	精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	〃
	精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	〃
	小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	〃
	小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	〃
	老年作業療法学	3	1		30	〃
	認知障害作業療法学	3	1		30	〃
	認知症作業療法特論	3		1	15	〃
	作業療法適用学特論	3		1	15	〃
	作業療法応用学概論	4	1		15	作業療法応用学群
	就学・就労支援論	4	1		15	〃
	職業関連技術学	3	1		30	〃
	作業療法の諸外国事情	2 3 4		1	15	〃
	地域生活作業療法論	4	1		30	〃
	地域ケアシステム論	3 4		1	15	〃
	生活支援計画論	4		1	15	〃
	障害代償学概論	2	1		15	障害代償学群
	義肢適用論	3	1		15	〃
	装具・副子適用論	3	1		30	〃
	自助具・福祉機器適用論	3	1		30	〃
	住環境整備論	3	1		15	〃
	バリアフリー論	2 3 4		1	15	〃
	臨床実習特論Ⅰ（OSCE）	3		1	15	臨床教育
	臨床実習特論Ⅱ（OSCE）	4		1	15	〃
	臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	1	1		45	〃
	臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）	2	1		45	〃
	臨床実習Ⅲ（臨床評価）	3	3		135	〃
	臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）	3	5		225	〃
	総合実習Ⅰ（作業療法実践）	4	6		270	〃
総合実習Ⅱ（作業療法実践）	4	6		270	〃	
地域リハビリテーション実習	4	1		45	〃	
臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	1		1	15	〃	
臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）	2		1	15	〃	
臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）	3		1	15	〃	
臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）	4		1	15	〃	

		ディプロマ・ポリシー(DP)						
		[DP1] 作業療法士を目指す者として、建学の精神である「共に生きる社会」の実現を目指し、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、社会的責務と倫理観を身につけている。	[DP2] 作業療法士を目指す者として、基礎的学力を養い、関連職種との協働を促進し連携を図ることの出来るコミュニケーション力を身につけている。	[DP3] 作業療法士を目指す者として、作業療法実践に必要な他者への共感的態度および自己の治療的応用(Therapeutic Use of Self)を身につけている。	[DP4] 作業療法士を目指す者として、人々の生活機能を客観的・科学的に分析でき、作業療法を実践するために必要な専門的知識・技術を身につけている。	[DP5] 作業療法士を目指す者として、様々な状況において高度な専門的知識や技術を統合し創造的に課題解決に取り組む力を身につけている。	[DP6] 作業療法士を目指す者として、国内外問わず自らの活躍の場を模索し、生涯学習を行うことの重要性を認識し、科学的・創造的な探究心を持って作業療法分野の発展に向けて新しい知識を追求(研究活動)する方法を身につけている。	
各 年 次 の 教 育 目 標 (到達 目標 ・ SBOs)	1 年 次	[SBOs1/CP1] 作業療法を含む保健医療福祉領域とその関連領域に関する基本的知識を修得する。	[DP1/SBOs1/CP1] 公衆衛生学 微生物と病気、保健医療福祉制度論 文学論、演劇論、心理学、哲学、コミュニケーション概論、人間学、歴史学、倫理学、宗教学、日本近現代史、文化人類学、死生学、生きがい論、法学、日本国憲法、法と道徳・倫理、社会学、日本政治経済論、マスメディア論、福祉経済学、アジア諸国の経済・社会・文化、国際関係論、世界の経済、国際医療福祉論、組織運営管理論、地球環境論、ボランティア論、ボランティアコーディネート論、手話入門、経済の仕組み、経済の歴史、統計学、疫学・保健医療統計学、数学、物理学、化学、生物学、コンピュータの基礎、データリテラシー、医学/医療史、人間工学、脚土論~栃木学~、医療福祉教養講義、メディカルマナー入門、総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う、総合講義(現代社会をどう見るか)、食と人間、人間と性、持続可能な発展、読書ゼミナール、英語講義ほか(語学)、健康科学理論、健康科学実践、現代医療福祉事情、ボランティア実践	[DP2/SBOs1/CP1] 看護論、ケースワーク論、医療管理学、社会福祉学	[DP3/SBOs1/CP1] 臨床心理学概論	[DP4/SBOs1/CP1] 解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、解剖学実習、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生理学実習	[DP5/SBOs1/CP1]	[DP6/SBOs1/CP1] 福祉支援工学概論、教育学、教育方法論
		[SBOs1/CP2] 人々や社会とのかかわりにおける作業療法の役割を理解する。	[DP1/SBOs1/CP2] 作業療法概論、臨床実習Ⅰ(早期臨床見学)	[DP2/SBOs1/CP2] リハビリテーション概論、作業療法概論、作業学概論、作業工程技術学・基礎論、作業工程技術学・応用論、臨床実習Ⅰ(早期臨床見学)	[DP3/SBOs1/CP2] 作業療法概論、作業学概論、作業工程技術学・基礎論、作業工程技術学・応用論	[DP4/SBOs1/CP2] 人間発達学、作業療法概論、作業学概論、作業工程技術学・基礎論、作業工程技術学・応用論	[DP5/SBOs1/CP2]	[DP6/SBOs1/CP2]
		[SBOs1/CP3] 作業療法学生として大学生活を送るにあたって必要な汎用的技能を身につける。	[DP1/SBOs1/CP3] 大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	[DP2/SBOs1/CP3]	[DP3/SBOs1/CP3]	[DP4/SBOs1/CP3]	[DP5/SBOs1/CP3] リハビリテーション概論、作業療法概論、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ	[DP6/SBOs1/CP3] 臨床実習ゼミⅠ
		[SBOs1/CP4] 大学生として保健医療福祉領域の学修を進めるにあたって必要な態度・志向性を身につける。	[DP1/SBOs1/CP4] 大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	[DP2/SBOs1/CP4]	[DP3/SBOs1/CP4]	[DP4/SBOs1/CP4]	[DP5/SBOs1/CP4] リハビリテーション概論、作業療法概論	[DP6/SBOs1/CP4]
	2 年 次	[SBOs2/CP1] 作業療法専門分野および関連領域における基礎的知識を修得する。	[DP1/SBOs2/CP1] 救急医学、作業療法の諸外国事情、バリアフリー論、医療データサイエンスⅠ、医療データサイエンスⅡ	[DP2/SBOs2/CP1] バリアフリー論	[DP3/SBOs2/CP1] 精神医学Ⅰ、対人援助論、作業応用論、作業療法評価学概論、作業療法評価学演習、作業療法適用学概論、コミュニケーション技術論、臨床実習Ⅱ(早期臨床体験)	[DP4/SBOs2/CP1] 栄養学、バリアフリー論	[DP5/SBOs2/CP1] 作業療法の諸外国事情、海外保健福祉事情	
		[SBOs2/CP2] 生活機能に応じた作業療法のかかわりを理解できる。	[DP1/SBOs2/CP2] 生活機能論、作業療法適用学概論、障害代償学概論、臨床実習Ⅱ(早期臨床体験)	[DP2/SBOs2/CP2] 作業分析学Ⅰ、作業分析学Ⅱ、作業応用論、作業療法評価学概論、作業療法評価学各論、作業療法評価学演習、日常生活活動評価法、作業療法論理論、作業療法適用学概論、生活技術学Ⅰ、障害代償学概論、臨床実習Ⅱ(早期臨床体験)	[DP3/SBOs2/CP2]	[DP4/SBOs2/CP2] 運動学実習、運動生理学、病理学、内科学、神経学Ⅰ、神経学Ⅱ、整形外科Ⅰ、整形外科Ⅱ、精神医学Ⅰ、小児科学、病態生理学、臨床薬理学概論、外科学、脳神経外科学、神経心理学概論、対人援助論、作業分析学Ⅰ、作業分析学Ⅱ、作業応用論、作業療法評価学概論、作業療法評価学各論、作業療法評価学演習、基礎運動機能評価法、生活機能論、上肢機能評価法、日常生活活動評価法、作業療法適用学概論、生活技術学Ⅰ、障害代償学概論	[DP5/SBOs2/CP2] 作業療法評価学概論、作業療法評価学各論、作業療法評価学演習、生活機能論、作業療法論理論、作業療法適用学概論、生活技術学Ⅰ、障害代償学概論	[DP6/SBOs2/CP2]
		[SBOs2/CP3] 作業療法分野の専門教育を深めるにあたって必要な汎用的技能を身につける。	[DP1/SBOs2/CP3] 雑談と傾聴~話す力と聴く力~、英語講義3、英語講義4、英語会話3、英語会話4	[DP2/SBOs2/CP3] 電子カルテシステム入門	[DP3/SBOs2/CP3]	[DP4/SBOs2/CP3]	[DP5/SBOs2/CP3]	[DP6/SBOs2/CP3] 作業分析学Ⅰ、作業分析学Ⅱ、臨床実習ゼミⅡ
		[SBOs2/CP4] 作業療法学生として専門教育を深めるにあたって必要な態度・志向性を身につける。	[DP1/SBOs2/CP4]	[DP2/SBOs2/CP4] 関連職種連携論、ケアマネジメント論	[DP3/SBOs2/CP4]	[DP4/SBOs2/CP4]	[DP5/SBOs2/CP4]	[DP6/SBOs2/CP4] エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)

		ディプロマ・ポリシー (DP)						
		[DP1] 作業療法士を目指す者として、建学の精神である「共に生きる社会」の実現を目指し、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、社会的責務と倫理観を身につけている。	[DP2] 作業療法士を目指す者として、基礎的学力を養い、関連職種の機能を理解し連携を図ることの出来るコミュニケーション力を身につけている。	[DP3] 作業療法士を目指す者として、作業療法実践に必要な他者への共感的態度および自己の治癒的応用(Therapeutic Use of Self)を身につけている。	[DP4] 作業療法士を目指す者として、人々の生活機能を客観的・科学的に分析でき、作業療法を実践するために必要な専門的知識・技術を身につけている。	[DP5] 作業療法士を目指す者として、様々な状況において高度な専門的知識や技術を統合し創造的に課題解決に取り組み力を身につけている。	[DP6] 作業療法士を目指す者として、国内外問わず自らの活躍の場を模索し、生涯学習を行うことの重要性を認識し、科学的・創造的な探究心を持って作業療法分野の発展に向けて新しい知識を追求(研究活動)する方法を身につけている。	
各 年 次 の 教 育 目 標 (到達 目標 ・ SBOs)	3 年 次	[SBOs3/CP1] 作業療法専門分野および関連領域における応用的な知識を修得する。	[DP1/SBOs3/CP1]	[DP2/SBOs3/CP1] 地域ケアシステム論	[DP3/SBOs3/CP1] レクリエーション概論	[DP4/SBOs3/CP1] リスキマネジメント論, 老年学, リハビリテーション医学	[DP5/SBOs3/CP1]	[DP6/SBOs3/CP1] 研究法概論, 研究法演習
		[SBOs3/CP2] 生活機能に応じた作業療法評価を実施できる。	[DP1/SBOs3/CP2]	[DP2/SBOs3/CP2] 内科系疾患作業療法学, 運動器疾患作業療法学, 中枢神経疾患作業療法学 I, 中枢神経疾患作業療法学 II, 精神疾患作業療法学 I, 精神疾患作業療法学 II, 小児作業療法学 I, 小児作業療法学 II, 老年作業療法学, 認知障害作業療法学, 認知症作業療法特論, 生活技術学 II, 職業関連技術学, 義肢適用論, 装具・副子適用論, 自助具・福祉機器適用論, 住環境整備論, 臨床実習特論 I (OSCE), 臨床実習 III (臨床評価), 臨床実習 IV (臨床推論・作業療法計画立案)	[DP3/SBOs3/CP2] 臨床実習特論 I (OSCE), 臨床実習 III (臨床評価), 臨床実習 IV (臨床推論・作業療法計画立案)	[DP4/SBOs3/CP2] 精神医学 II, 認知機能評価法, 内科系疾患作業療法学, 運動器疾患作業療法学, 中枢神経疾患作業療法学 I, 中枢神経疾患作業療法学 II, 精神疾患作業療法学 I, 精神疾患作業療法学 II, 小児作業療法学 I, 小児作業療法学 II, 老年作業療法学, 認知障害作業療法学, 認知症作業療法特論, 生活技術学 II, 職業関連技術学, 義肢適用論, 装具・副子適用論, 自助具・福祉機器適用論, 住環境整備論, 臨床実習特論 I (OSCE), 臨床実習 III (臨床評価), 臨床実習 IV (臨床推論・作業療法計画立案)	[DP5/SBOs3/CP2]	[DP6/SBOs3/CP2] 作業療法適応学特論
		[SBOs3/CP3] 作業療法学生として臨床場面に参加するにあたって必要な汎用的技能を身につける。	[DP1/SBOs3/CP3]	[DP2/SBOs3/CP3] 臨床実習特論 I (OSCE), 臨床実習 III (臨床評価), 臨床実習 IV (臨床推論・作業療法計画立案), 関連職種連携ワーク	[DP3/SBOs3/CP3] 臨床実習特論 I (OSCE), 臨床実習 III (臨床評価), 臨床実習 IV (臨床推論・作業療法計画立案)	[DP4/SBOs3/CP3] 臨床実習特論 I (OSCE), 臨床実習 III (臨床評価), 臨床実習 IV (臨床推論・作業療法計画立案)	[DP5/SBOs3/CP3] 臨床実習特論 I (OSCE), 臨床実習 III (臨床評価), 臨床実習 IV (臨床推論・作業療法計画立案)	[DP6/SBOs3/CP3] 臨床実習ゼミ III
		[SBOs3/CP4] 作業療法学生として臨床場面に参加するにあたって必要な態度・志向性を身につける。	[DP1/SBOs3/CP4]	[DP2/SBOs3/CP4] 臨床実習特論 I (OSCE), 臨床実習 III (臨床評価), 臨床実習 IV (臨床推論・作業療法計画立案), 関連職種連携ワーク	[DP3/SBOs3/CP4] 臨床実習特論 I (OSCE), 臨床実習 III (臨床評価), 臨床実習 IV (臨床推論・作業療法計画立案)	[DP4/SBOs3/CP4] 臨床実習特論 I (OSCE), 臨床実習 III (臨床評価), 臨床実習 IV (臨床推論・作業療法計画立案)	[DP5/SBOs3/CP4] 臨床実習特論 I (OSCE), 臨床実習 III (臨床評価), 臨床実習 IV (臨床推論・作業療法計画立案)	[DP6/SBOs3/CP4] 臨床実習特論 I (OSCE), 臨床実習 III (臨床評価), 臨床実習 IV (臨床推論・作業療法計画立案)
	4 年 次	[SBOs4/CP1] 作業療法専門分野およびその関連領域における発展的な知識を修得する。	[DP1/SBOs4/CP1] 我が国の社会福祉・医療保障政策の知識, 医療必修-医療の倫理とプロ意識, 医療情報-	[DP2/SBOs4/CP1] 生活支援計画論, 就学・就労支援論, 地域生活作業療法論	[DP3/SBOs4/CP1]	[DP4/SBOs4/CP1] 生活支援計画論, 就学・就労支援論, 地域生活作業療法論	[DP5/SBOs4/CP1]	[DP6/SBOs4/CP1] 作業療法応用学概論, 作業療法総括論
		[SBOs4/CP2] 生活機能に応じた作業療法による治療・指導・援助を提供できる。	[DP1/SBOs4/CP2] 総合実習 I (作業療法実践), 総合実習 II (作業療法実践), 地域リハビリテーション実習	[DP2/SBOs4/CP2] 総合実習 I (作業療法実践), 総合実習 II (作業療法実践), 地域リハビリテーション実習, 臨床実習特論 II (OSCE)	[DP3/SBOs4/CP2] 総合実習 I (作業療法実践), 総合実習 II (作業療法実践), 地域リハビリテーション実習, 臨床実習特論 II (OSCE)	[DP4/SBOs4/CP2] 総合実習 I (作業療法実践), 総合実習 II (作業療法実践), 地域リハビリテーション実習, 臨床実習特論 II (OSCE)	[DP5/SBOs4/CP2] 総合実習 I (作業療法実践), 総合実習 II (作業療法実践), 地域リハビリテーション実習, 臨床実習特論 II (OSCE)	[DP6/SBOs4/CP2] 臨床実習ゼミ IV
		[SBOs4/CP3] 作業療法士として職業生活を始めるにあたって必要な汎用的技能を身につける。	[DP1/SBOs4/CP3] 作業療法管理学, 作業療法応用学概論	[DP2/SBOs4/CP3] 総合実習 I (作業療法実践), 総合実習 II (作業療法実践), 地域リハビリテーション実習, 臨床実習特論 II (OSCE)	[DP3/SBOs4/CP3] 総合実習 I (作業療法実践), 総合実習 II (作業療法実践), 地域リハビリテーション実習, 臨床実習特論 II (OSCE)	[DP4/SBOs4/CP3] 総合実習 I (作業療法実践), 総合実習 II (作業療法実践), 地域リハビリテーション実習, 臨床実習特論 II (OSCE)	[DP5/SBOs4/CP3] 総合実習 I (作業療法実践), 総合実習 II (作業療法実践), 地域リハビリテーション実習, 臨床実習特論 II (OSCE)	[DP6/SBOs4/CP3] 卒業研究
		[SBOs4/CP4] 作業療法士として職業生活を始めるにあたって必要な態度・志向性を身につける。	[DP1/SBOs4/CP4] 総合実習 I (作業療法実践), 総合実習 II (作業療法実践), 地域リハビリテーション実習	[DP2/SBOs4/CP4] 総合実習 I (作業療法実践), 総合実習 II (作業療法実践), 地域リハビリテーション実習, 臨床実習特論 II (OSCE), 関連職種連携実習	[DP3/SBOs4/CP4] 総合実習 I (作業療法実践), 総合実習 II (作業療法実践), 地域リハビリテーション実習, 臨床実習特論 II (OSCE)	[DP4/SBOs4/CP4] 総合実習 I (作業療法実践), 総合実習 II (作業療法実践), 地域リハビリテーション実習, 臨床実習特論 II (OSCE)	[DP5/SBOs4/CP4] 総合実習 I (作業療法実践), 総合実習 II (作業療法実践), 地域リハビリテーション実習, 臨床実習特論 II (OSCE)	[DP6/SBOs4/CP4] 卒業研究

保健医療学部 作業療法学科 履修系統図【2024(令和6)年度入学生から】

ディプロマ・ポリシー

作業療法学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科学位ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1: 作業療法士を目指す者として、建学の精神である「共に生きる社会」の実現を目指し、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、社会的責務と倫理観を身につけている。

DP2: 作業療法士を目指す者として、基礎的学力を養い、関連職種との協働を円滑に図ることの出来るコミュニケーション力を身につけている。

DP3: 作業療法士を目指す者として、作業療法実践に必要な他者への共感的態度および自己の治療的応用 (Therapeutic Use of Self) を身につけている。

DP4: 作業療法士を目指す者として、人々の生活機能を客観的・科学的に分析でき、作業療法を実践するために必要な専門的知識・技術を身につけている。

DP5: 作業療法士を目指す者として、様々な状況において高度な専門的知識や技術を統合し創造的に課題解決に取り組む力を身につけている。

DP6: 作業療法士を目指す者として、国内外問わず自らの活躍の場を模索し、生涯学習を行うことの重要性を認識し、科学的・創造的な探究心を持って作業療法分野の発展に向けて新しい知識を追求 (研究活動) する方法を身につけている。

カリキュラム・ポリシー

作業療法学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

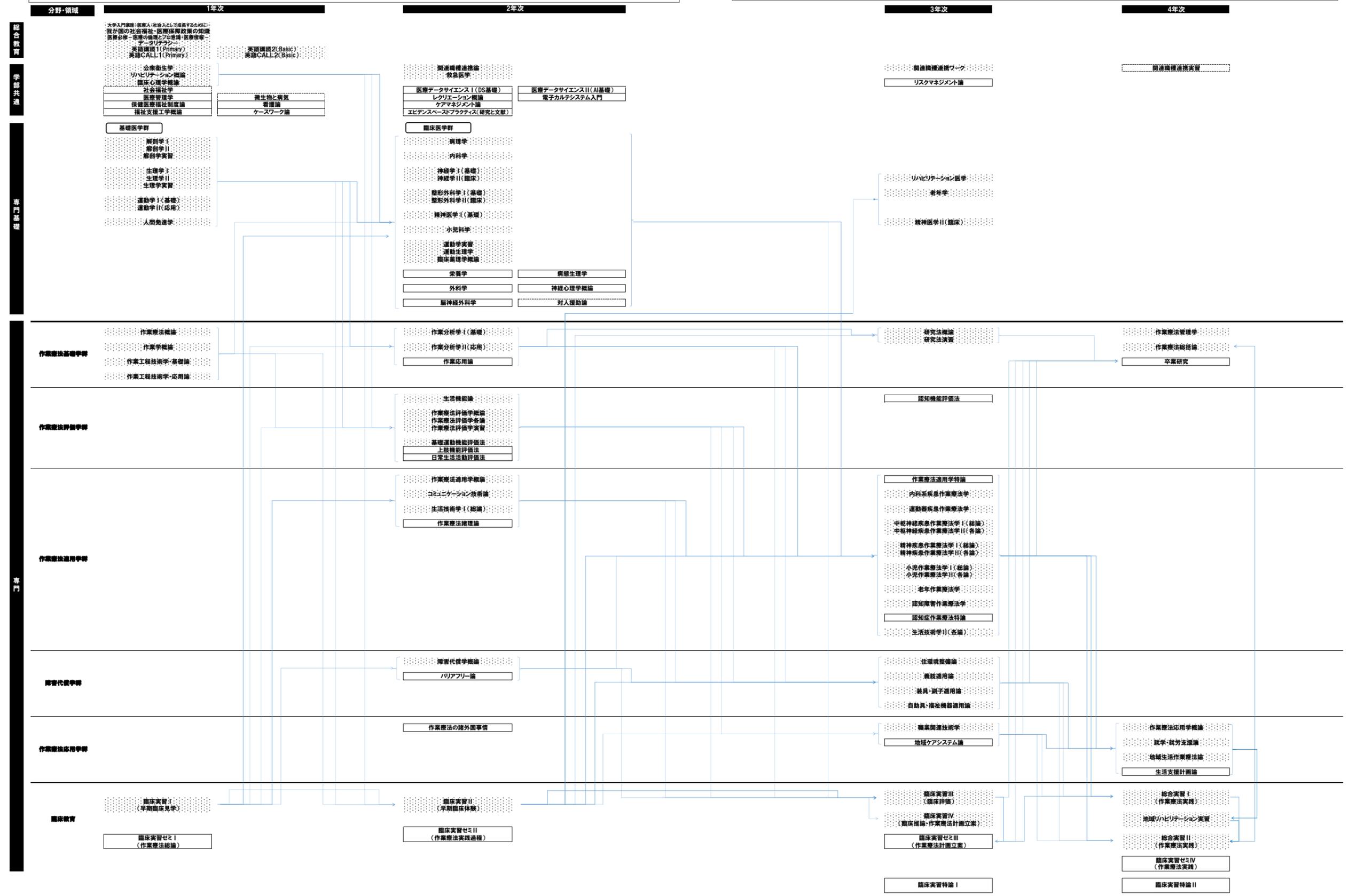
CP1: 作業療法分野の基礎知識を体系的に理解するとともに、多様な背景を持つ人々の生活や価値観を大切に、社会生活を支える作業療法士を育成するための科目を設定する。

CP2: 獲得した知識・技能・態度等を総合的に利用し、保健・医療・福祉の発展に寄与するため、人々の個性に着目しながら科学的・創造的探究ができる作業療法士を育成するための科目を設定する。

CP3: 多様な人々と協働していくために必要なコミュニケーションスキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力を社会の中で汎用的に活用できる作業療法士を育成するための科目を設定する。

CP4: 常に向上心を持って自己研鑽できる専門職業人としての高い倫理観を有し、人間の生命、人間としての尊敬および権利を尊重できる作業療法士を育成するための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。



必修科目: [] 選択科目: []

8-4 保健医療学部 言語聴覚学科

8-4-1 教育研究上の目的

保健医療学部の教育研究上の目的

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師等の人材を育成する。

保健医療学部言語聴覚学科の教育研究上の目的

言語聴覚学科は、検査、指導、訓練の技術を修得し、コミュニケーション能力や言語能力に障害をもつ方の回復を支援するために必要なスキルを身に付け、人間の尊厳を支える高度な専門職としての言語聴覚士の育成を目的とする。

8-4-2 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、言語聴覚士をめざす者として、豊かな心、コミュニケーション能力、多彩な学問領域に対する関心や学ぶ意欲を持ち、保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応できる優れた臨床家となり、保健・医療・福祉・教育などの分野の発展に寄与することが期待できる人

2. 言語聴覚学科の入学者に求める要件

1) 知識・技能

高等学校時代の文系科目の修得を通して身につけた読解力・文章力・コミュニケーション能力、及び理数系科目の修得を通して身につけた論理的な思考力、科学的な理解力を有していること。

2) 思考力・判断力・表現力

新しい知識を学ぶ意欲、筋道を立てて科学的に思考・分析・判断し、表現する力、言語聴覚領域とその関連分野の進歩や国際化に対応できる好奇心・向上心と努力を継続する力を有していること。

3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、言語聴覚士として「共に生きる社会」の実現に貢献したいという意志を持ち、他を思いやり、他者の意見を受け入れ主体的に協調しようとする態度を身につけていること。

8-4-3 ディプロマ・ポリシー

言語聴覚学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：言語聴覚士を目指す者として、社会的責務と倫理観を基盤とした幅広い教養と豊かな人間性を身につけている。

DP2：言語聴覚士を目指す者として、国際化社会に対応できるグローバルな感覚と視点を身につけている。

DP3：言語聴覚士を目指す者として、言語聴覚障害学の基盤となる知識・技能を修得し、科学的・論理的思考力を身につけている。

DP4：言語聴覚士を目指す者として、多岐にわたる言語聴覚障害に対応可能な専門的知識と臨床技能を修得し、体系的に実践する力を身につけている。

DP5：言語聴覚士を目指す者として、高いコミュニケーションスキルを有し、「対象者中心の臨床」を実践する力を身につけている。

DP6：言語聴覚士を目指す者として、他職種の専門性を理解したうえで協働・連携し、チームの一員として貢献する力を身につけている。

DP7：言語聴覚士を目指す者として、自らの専門性について主体的に探究し、資質向上のために生涯にわたって努力し続けることの重要性を認識し、新しい知識を追求（研究活動）する方法を身につけている。

8-4-4 カリキュラム・ポリシー

言語聴覚学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1：言語聴覚療法の基盤となる基礎的な知識・技能を有する人材を育成するための科目を設定する。

CP2：高度な専門的知識・技能を有し、適切な言語聴覚療法を提供できる人材を育成するための科目を設定する。

CP3：臨床思考力・技能を高めるとともに人間性を養い、チーム医療・チームケアの一員として活動できる人材を育成するための科目を設定する。

CP4：大学院教育・生涯教育を視野に、常に向上心を持って自己研鑽できる専門職業人としての高い倫理観を有した人材を育成するための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

8-4-5 教育目標

<1 年次 (SBOs1) >

- CP1：社会人・医療人としての基礎学力と多文化・異文化理解を含む教養を身につける。
- CP2：保健医療福祉における言語聴覚療法の位置づけを理解し、言語聴覚士の役割を説明できる。
- CP3：言語聴覚士の職務と社会での役割を理解し、基本的なコミュニケーションスキルを身につけることができる。
- CP4：多様な学問領域や社会問題に関心を持ち、主体的な学びを通し、豊かな人間性を獲得することができる。

<2 年次 (SBOs2) >

- CP1：言語聴覚士に必要な保健医療福祉や多文化・異文化に関する知識を修得する。
- CP2：言語聴覚臨床の流れを理解し、各種言語聴覚障害の原因・症状・発生メカニズムに関する基本的知識や論理的思考力を獲得する。
- CP3：情報収集の手法について学び、データの適切な管理とまとめ方を身につけることができる。
- CP4：チーム医療・チームケアの基礎を理解し、他者と協力する態度や姿勢を身につける。

<3 年次 (SBOs3) >

- CP1：言語聴覚障害領域および関連領域における基礎的知識を修得する。
- CP2：各種言語聴覚障害の評価・診断および代表的な訓練・指導に関する知識や技能を修得できる。
- CP3：言語聴覚障害および関連領域から収集した情報を統合し、論理的に解釈できる。
- CP4：言語聴覚士に必要とされる高い倫理観と探究心を身につけることができる。

<4 年次 (SBOs4) >

- CP1：言語聴覚障害領域および関連領域における専門的知識を修得し、それらを臨床応用できる能力を獲得する。
- CP2：言語聴覚療法に関する知識や技能を統合し、代表的な言語聴覚障害の評価・診断および訓練・指導を実施することができる。
- CP3：リサーチマインドを持ち、科学的な根拠に基づく臨床の概念や研究のプロセスに関する基礎知識を修得することができる。
- CP4：チーム医療の中で対象者中心の臨床を実践するために、生涯にわたって学ぶ姿勢を身につける。

8-4-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-4-9 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【言語聴覚学科 2024（令和6）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数			
		必修	選択		
総合教育科目	人間系			6単位以上	
	社会系	1単位		5単位以上	
	自然・情報系	4単位		1単位以上	
	総合系	1単位			
	外国語系	4単位 (5単位) ※1	2単位以上 (3単位以上 または5単位 以上) ※1		人間系、社会系、 自然・情報系、 総合系、外国語系 からさらに4単位 以上 (2単位以上) ※1
	保健体育系	2単位			
	小 計		12単位 (13単位) ※1	2単位以上	16単位以上 (17単位以上または19単位以上) ※1
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	7単位	専門教育科目の選択必修分野 から6単位以上、かつ 専門教育科目から2単位以上	
		学科専門基礎	32単位		
		小 計	39単位		
	専門科目	47単位			
小 計		86単位		8単位以上	
合 計		98単位 (99単位) ※1	2単位以上	24単位以上	
			(25単位以上または27単位以上) ※1		
総 計		124単位以上 (124単位以上または126単位以上) ※1			

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-4-7 進級条件

(1) 2 学年から 3 学年への進級条件

2 学年までの必修の専門科目の単位をすべて修得していること。

(2) 3 学年から 4 学年への進級条件

3 学年までの必修科目の単位をすべて修得していること。

8-4-8 科目履修条件

(1) 選択必修分野の履修条件

次の①、②の条件をすべて満たすこと

- ① 英語講読3および英語講読4を2年次に2単位(2科目)履修すること(留学生は日本語科目を指定年次に履修すること)。
- ② 選択必修分野を、6単位以上履修すること。

(2) 卒業研究

卒業研究を履修する者は、言語聴覚障害学研究法を履修すること。

(3) 日本語履修条件(留学生のみ)

「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-4-9 授業科目一覧（総合教育科目：言語聴覚学科）

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備考	
						必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30		
		演劇論	1	2	3	4	1	15		
		心理学	1	2	3	4	2	30		
		哲学	1	2	3	4	2	30		
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30		
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30		
		人間学	1	2	3	4	2	30		
		歴史学	1	2	3	4	2	30		
		倫理学	1	2	3	4	2	30		
		宗教学	1	2	3	4	2	30		
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30		
		文化人類学	1	2	3	4	2	30		
		教育学	1	2	3	4	2	30		
		教育方法論	1	2	3	4	2	30		
		死生学・死を通して生を考える・	1	2	3	4	2	30		
	生きがい論	1	2	3	4	2	30			
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30		
		日本国憲法	1	2	3	4	2	30		
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30		
		社会学	1	2	3	4	2	30		
		日本政治経済論	1	2	3	4	2	30		
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30		
		福祉経済学	1	2	3	4	2	30		
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30		
		国際関係論	1	2	3	4	2	30		
		世界の経済	1	2	3	4	2	30		
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30		
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30		
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30		
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1	30		
		自然・情報系	地球環境論	1	2	3	4	2	30	
	ボランティア論		1	2	3	4	2	30		
	ボランティアコーディネート論		1	2	3	4	2	30		
	手話入門		1	2	3	4	2	30		
	経済の仕組み		1	2	3	4	2	30		
	経済の歴史		1	2	3	4	2	30		
	統計学		1	2	3	4	2	30		
	疫学・保健医療統計学		1	2	3	4	2	30		
	数学		1	2	3	4	2	30		
	物理学		1	2	3	4	2	30		
	化学		1	2	3	4	2	30		
	生物学		1	2	3	4	2	30	履修推薦科目	
	コンピュータの基礎		1	2	3	4	2	30		
	データリテラシー		1	2	3	4	1	30		
	医療データサイエンス I (DS 基礎)		2	3	4		1	30		
医療データサイエンス II (AI 基礎)	2	3	4		1	30				
医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2	3	4	1	30				
医学/医療史	1	2	3	4	2	30				
人間工学	1	2	3	4	2	30				
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1	30			
	郷土論～栃木学～	1	2	3	4	1	15			
	医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15			
	メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30			
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2	3	4	1	15			
	総合講義 (現代社会をどう見るか)	1	2	3	4	1	15			
	食と人間	1	2			1	15			
	人間と性	1	2	3	4	1	15			
	持続可能な発展	1	2	3	4	2	30			
	読書ゼミナール	1	2	3	4	1	15			
現代医療福祉事情	1	2	3	4	1	15				
ボランティア実践	1	2	3	4	1	15				

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	
			必修	選択			
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1	30		
		英語講読 2 (Basic)	1	1	30		
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	選択必修分野
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	選択必修分野
		英語 CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語 CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
	スペイン語入門	1 2 3 4		1	30		
	スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30		
	中国語入門	1 2 3 4		1	30		
	中国語基礎	1 2 3 4		1	30		
韓国語入門	1 2 3 4		1	30			
韓国語基礎	1 2 3 4		1	30			
韓国語応用	1 2 3 4		1	30			
韓国語発展	1 2 3 4		1	30			
保健	健康科学理論	1 2 3 4	1	15			
体育系	健康科学実践	1 2 3 4	1	30			

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する
「8-9-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

8-4-9 授業科目一覧（専門教育科目：言語聴覚学科）

	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考	
			必修	選択			
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	選択必修分野	
	救急医学	2 3		1	15	選択必修分野	
	微生物と病気	1 2 3 4		2	30	選択必修分野	
	リハビリテーション概論	1 2		2	30		
	関連職種連携論	2		2	30		
	看護論	1		2	30		
	ケアマネジメント論	2 3 4		1	15		
	ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	選択必修分野	
	医療管理学	1 2 3 4		2	30		
	保健医療福祉制度論	1		2	30		
	社会福祉学	1 2 3 4		2	30		
	臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	必修科目として別にあるため選択しないこと	
	福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	選択必修分野	
	関連職種連携ワーク	3	1		30		
	関連職種連携実習	4		1	45	履修推薦科目	
	リスクマネジメント論	3 4		2	30	選択必修分野	
	電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15		
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15		
レクリエーション概論	2 3 4		1	15			
専門教育科目	専門基礎	解剖学	1	2		30	
		生理学	1	2		30	
		病理学	1	1		15	
		医学概論	1	1		15	
		内科学	3	1		30	
		精神医学	3	1		30	
		リハビリテーション医学	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		耳鼻咽喉科学	3	1		30	
		臨床神経学	2	1		30	
		形成外科学	3	1		15	
		臨床歯科医学	2	1		15	
		口腔外科学	3	1		15	
		音声言語医学	2	1		30	
		中枢神経機能学	2	1		30	
	聴覚医学	2	1		30		
	児童精神医学	1 ② 3 4		1	15	選択必修分野	
	老年学	1 ② 3 4		1	30	選択必修分野	
	遺伝学	① 2 3 4		1	15	選択必修分野	
	脳神経外科学	1 ② 3 4		1	15	選択必修分野	
	臨床心理学	2	1		30		
	生涯発達心理学	1	1		30		
	学習心理学	2	1		30		
	神経心理学	1	1		30		
	認知心理学	2	1		30		
	心理測定法	2	1		30		
	心理測定法演習	2	1		30		
	言語学	1	1		30		
	言語心理学	2	1		30		
	言語発達学	2	1		30		
	基礎音声学	1	1		30		
	音声学	2	1		30		
	音声音響学	2	1		30		
聴覚心理学	3	1		30			
専門	言語聴覚障害学概論	1	1		30		
	コミュニケーション技能演習	1	1		30		
	コミュニケーション障害演習	2	1		15		
	言語聴覚障害学診断学	3	1		30		
	失語症・高次脳機能障害学総論Ⅰ	2	1		30		
	失語症・高次脳機能障害学総論Ⅱ	2	1		30		
失語症学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30			

（注意）配当年次の○印は、その年次の履修を原則とする。

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門 教育科目	失語症学Ⅱ（治療）	3	1		30	
	失語症・高次脳機能障害学演習	3	1		30	
	高次脳機能障害学	3	1		30	
	言語発達障害学総論	2	1		30	
	言語発達障害学各論	2	1		30	
	言語発達障害学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30	
	言語発達障害学Ⅰ演習（評価・診断）	3	1		30	
	言語発達障害学Ⅱ（指導）	3	1		30	
	言語発達障害学Ⅱ演習（指導）	3	1		30	
	聴覚障害学総論	2	1		30	
	聴覚機能評価学	2	2		60	
	聴覚補償論（補聴器・人工内耳など）	3	1		30	
	小児聴覚障害学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30	
	小児聴覚障害学Ⅱ（指導）	3	1		30	
	成人聴覚障害学（二重障害を含む）	3	1		30	
	発声発語障害学総論	2	2		30	
	構音障害学Ⅰ（理論）	2	1		30	
	構音障害学Ⅱ（評価・診断）	3	1		30	
	構音障害学演習（治療）	3	1		45	
	流暢性障害学	2	1		30	
	音声障害学	3	1		30	
	摂食・嚥下障害学Ⅰ（理論・評価診断）	3	1		30	
	摂食・嚥下障害学Ⅱ（治療）	3	1		30	
	言語聴覚障害学研究法	3		2	30	選択必修分野
	言語聴覚障害基礎演習	3	1		15	
	言語聴覚療法特論	4	1		15	
	言語聴覚障害学特論（総括）	4	1		15	
	卒業研究	4		4	60	選択必修分野
	臨床実習Ⅰ（基礎）	3	2		90	
	臨床実習Ⅱ（総合）	4	10		450	

言語聴覚学科DP-教育目標カリキュラムマップ【2024(令和6)年度以降入学生版】

		ディプロマ・ポリシー(DP)							
		[DP1] 言語聴覚士を目指す者として、社会的責務と倫理観を基礎とした幅広い教養と豊かな人間性を身につけている	[DP2] 言語聴覚士を目指す者として、国際化社会に対応できるグローバルな感覚と視点を身につけている	[DP3] 言語聴覚士を目指す者として、言語聴覚障害学の基礎となる知識・技能を修得し、科学的・論理的思考力を身につけている	[DP4] 言語聴覚士を目指す者として、他職種との専門性を理解したうえで協働・連携し、チームの一員として貢献する力を身につけている	[DP5] 言語聴覚士を目指す者として、多岐にわたる言語聴覚障害に対応可能な専門的知識と臨床技能を修得し、体系的に実践する力を身につけている	[DP6] 言語聴覚士を目指す者として、高いコミュニケーションスキルを有し、「対象者中心の臨床」を実践する力を身につけている	[DP7] 言語聴覚士を目指す者として、自らの専門性について主体的に探究し、資質向上のために生涯にわたって努力し続けることの重要性を認識し、新しい知識を追求(研究活動)する方法を身につけている	
各 年 次 の 教 育 目 標 (到達 目標 ・ SBOs)	1 年 次	[SBOs1/CP1] ①社会人・医療人としての基礎学力と多文化・異文化理解を含む教養を身につける	[DP1/SBOs1/CP1] テーラリテラシー、健康科学理論、健康科学実践、大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-現代医療福祉事情、人間と性食と人間、メディカルマナー入門	[DP2/SBOs1/CP1] 英語講義1、英語講義2、英語CALL1、英語CALL2 英語会話1(Primary)、英語会話2(Basic)、聖書英語1(Primary)、聖書英語2(Basic)、医学英語1(Primary)、医学英語2(Basic)、英語リスニング1(Primary)、英語リスニング2(Basic)、英語ライティング1(Primary) 英語ライティング2(Basic)、英語医療通訳入門1(Primary)、英語医療通訳入門2(Basic)、資格英語1(Primary)、資格英語2(Basic)、基礎英文法1(Primary)、基礎英文法2(Basic)、上級英語会話1(発展)、上級英語会話2(総合)、フランス語入門、フランス語基礎、ドイツ語入門、ドイツ語基礎、スペイン語入門、スペイン語基礎、中国語入門、中国語基礎、韓国語入門、韓国語基礎、韓国語応用、韓国語発展、海外保健福祉事情	[DP3/SBOs1/CP1] 社会福祉学	[DP4/SBOs1/CP1] 福祉支援工学概論 医療管理学 ケースワーク論 看護論	[DP5/SBOs1/CP1]	[DP6/SBOs1/CP1]	[DP7/SBOs1/CP1]
		[SBOs1/CP2] ②保健医療福祉における言語聴覚療法の位置づけを理解し、言語聴覚士の役割を説明できる	[DP1/SBOs1/CP2] 医療福祉教養講義	[DP2/SBOs1/CP2]	[DP3/SBOs1/CP2] リハビリテーション概論、保健医療福祉制度論、言語聴覚障害学概論	[DP4/SBOs1/CP2]	[DP5/SBOs1/CP2]	[DP6/SBOs1/CP2]	[DP7/SBOs1/CP2]
		[SBOs1/CP3] ③言語聴覚士の職務と社会での役割を理解し、基本的なコミュニケーションスキルを身につけることができる	[DP1/SBOs1/CP3]	[DP2/SBOs1/CP3]	[DP3/SBOs1/CP3] 統計学	[DP4/SBOs1/CP3]	[DP5/SBOs1/CP3] コミュニケーション技能演習	[DP6/SBOs1/CP3]	[DP7/SBOs1/CP3]
		[SBOs1/CP4] ④多様な学問領域や社会問題に関心をもち、主体的な学びを通じ、豊かな人間性を獲得することができる	[DP1/SBOs1/CP4] 我が国の社会福祉・医療保障政策の知識、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報ポランディア実践、文学論、演劇論、心理学、哲学、コミュニケーション概論、雑談と傾聴～話す力と聴く力～、人間学、歴史学、倫理学、宗教学、日本近現代史、文化人類学、教育学、教育方法論、死生学-死を通して生を考える-、生きがい論、法学、日本国憲法、法と道徳・倫理、社会学、日本政治経済論、マスメディア論、福祉経済学、アジア諸国の経済・社会・文化、国際関係論、世界の経済、国際医療福祉論、組織運営管理論、読書セミナー、海外保健福祉事情、地球環境論、ポランディア論、ポランディアコーディネート論、手話入門、経済の仕組み、経済の歴史、統計学、持続可能な発展、疫学・保健医療統計学、数学、物理学、化学、生物学、コンピュータの基礎、医学/医療史、人間工学、郷土論～栃木学～、総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-、総合講義(現代社会をどう見るか)	[DP2/SBOs1/CP4]	[DP3/SBOs1/CP4] 解剖学、生理学、病理学、医学概論、生涯発達心理学、神経心理学、言語学、基礎音声学、公衆衛生学、微生物と病気、ケースワーク論、福祉支援工学概論、遺伝学	[DP4/SBOs1/CP4]	[DP5/SBOs1/CP4]	[DP6/SBOs1/CP4]	[DP7/SBOs1/CP4]
	2 年 次	[SBOs2/CP1] ①言語聴覚士に必要な保健医療福祉や多文化・異文化に関する知識を修得する。	[DP1/SBOs2/CP1]	[DP2/SBOs2/CP1] 英語講義3、英語講義4、海外保健福祉事情、英語会話3(Intermediate)、英語会話4(Advanced)	[DP3/SBOs2/CP1] 失語症・高次脳機能障害学総論Ⅰ・Ⅱ、言語発達障害学総論・各論、聴覚障害学総論、聴覚機能評価学、発声発語障害学総論、構音障害学Ⅰ(理論)、流暢性障害学	[DP4/SBOs2/CP1] レクリエーション概論 ケアマネジメント論	[DP5/SBOs2/CP1]	[DP6/SBOs2/CP1]	[DP7/SBOs2/CP1]
		[SBOs2/CP2] ②言語聴覚臨床の流れを理解し、各種言語聴覚障害の原因・症状・発生メカニズムに関する基本的知識や論理的思考力を獲得する。	[DP1/SBOs2/CP2]	[DP2/SBOs2/CP2]	[DP3/SBOs2/CP2] リハビリテーション医学、小児科学、臨床神経学、臨床歯科医学、音声言語医学、中枢神経機能学、聴覚医学、臨床心理学、学習心理学、認知心理学、言語心理学、言語発達学、音声学、音声音響学、児童精神医学、老年学、脳神経外科学、救急医学	[DP4/SBOs2/CP2]	[DP5/SBOs2/CP2]	[DP6/SBOs2/CP2]	[DP7/SBOs2/CP2]
		[SBOs2/CP3] ③情報収集の手法について学び、データの適切な管理とまとめ方を身につけることができる。	[DP1/SBOs2/CP3] 医療データサイエンスⅠ(DS基礎)、医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	[DP2/SBOs2/CP3]	[DP3/SBOs2/CP3] 心理測定法、心理測定法演習	[DP4/SBOs2/CP3]	[DP5/SBOs2/CP3]	[DP6/SBOs2/CP3]	[DP7/SBOs2/CP3]
		[SBOs2/CP4] ④チーム医療・チームケアの基礎を理解し、他者と協力する態度や姿勢を身につける	[DP1/SBOs2/CP4]	[DP2/SBOs2/CP4]	[DP3/SBOs2/CP4]	[DP4/SBOs2/CP4] 関連職種連携論 電子カルテシステム入門	[DP5/SBOs2/CP4] コミュニケーション障害演習	[DP6/SBOs2/CP4]	[DP7/SBOs2/CP4] エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)

		ディプロマ・ポリシー (DP)							
		【DP1】 言語聴覚士を目指す者として、社会的責務と倫理観を基盤とした幅広い教養と豊かな人間性を身につけている	【DP2】 言語聴覚士を目指す者として、国際化社会に対応できるグローバルな感覚と視点を身につけている	【DP3】 言語聴覚士を目指す者として、言語聴覚障害学の基礎となる知識・技能を修得し、科学的・論理的思考力を身につけている	【DP4】 言語聴覚士を目指す者として、他職種の専門性を理解したうえで協働・連携し、チームの一員として貢献する力を身につけている	【DP5】 言語聴覚士を目指す者として、多岐にわたる言語聴覚障害に対応可能な専門的知識と臨床技能を修得し、体系的に実践する力を身につけている	【DP6】 言語聴覚士を目指す者として、高いコミュニケーションスキルを有し、「対象者中心の臨床」を実践する力を身につけている	【DP7】 言語聴覚士を目指す者として、自らの専門性について主体的に探究し、資質向上のために生涯にわたって努力し続けることの重要性を認識し、新しい知識を追求(研究活動)する方法を身につけている	
各 年 次 の 教 育 目 標 (到達 目標 ・ SBOs)	3 年 次	【SBOs3/CP1】 ①言語聴覚障害領域および関連領域における基礎的知識を修得する	【DP1/SBOs3/CP1】	【DP2/SBOs3/CP1】	【DP3/SBOs3/CP1】 内科学、精神医学、耳鼻咽喉科学、形成外科学、口腔外科学、聴覚心理学、リスクマネジメント論	【DP4/SBOs3/CP1】	【DP5/SBOs3/CP1】	【DP6/SBOs3/CP1】	【DP7/SBOs3/CP1】
		【SBOs3/CP2】 ②各種言語聴覚障害の評価・診断および代表的な訓練・指導に関する知識や技能を修得できる。	【DP1/SBOs3/CP2】	【DP2/SBOs3/CP2】	【DP3/SBOs3/CP2】	【DP4/SBOs3/CP2】 失語症学Ⅰ・Ⅱ、高次脳機能障害学、言語発達障害学Ⅰ・Ⅱ、聴覚補償論、小児聴覚障害学Ⅰ・Ⅱ、成人聴覚障害学、構音障害学Ⅱ、音声障害学、摂食・嚥下障害学Ⅰ・Ⅱ	【DP5/SBOs3/CP2】 失語症・高次脳機能障害学演習、言語発達障害学Ⅰ演習・Ⅱ演習、構音障害学演習、言語聴覚障害基礎演習、臨床実習Ⅰ	【DP6/SBOs3/CP2】	【DP7/SBOs3/CP2】
		【SBOs3/CP3】 ③言語聴覚障害および関連領域から収集した情報を統合し、論理的に解釈できる	【DP1/SBOs3/CP3】	【DP2/SBOs3/CP3】	【DP3/SBOs3/CP3】	【DP4/SBOs3/CP3】	【DP5/SBOs3/CP3】 言語聴覚障害診断学	【DP6/SBOs3/CP3】 関連職種連携ワーク	【DP7/SBOs3/CP3】
		【SBOs3/CP4】 ④言語聴覚士に必要なとされる高い倫理観と探求心を身につけることができる	【DP1/SBOs3/CP4】	【DP2/SBOs3/CP4】	【DP3/SBOs3/CP4】	【DP4/SBOs3/CP4】	【DP5/SBOs3/CP4】	【DP6/SBOs3/CP4】 臨床実習Ⅰ(基礎)	【DP7/SBOs3/CP4】 言語聴覚障害学研究法
	4 年 次	【SBOs4/CP1】 ①言語聴覚障害領域および関連領域における専門的知識を修得し、それらを臨床応用できる能力を獲得する	【DP1/SBOs4/CP1】	【DP2/SBOs4/CP1】	【DP3/SBOs4/CP1】	【DP4/SBOs4/CP1】	【DP5/SBOs4/CP1】	【DP6/SBOs4/CP1】	【DP7/SBOs4/CP1】 言語聴覚障害学特論(総括)
		【SBOs4/CP2】 ②言語聴覚療法に関する知識や技能を統合し、代表的な言語聴覚障害の評価・診断および訓練・指導を実施することができる。	【DP1/SBOs4/CP2】	【DP2/SBOs4/CP2】	【DP3/SBOs4/CP2】	【DP4/SBOs4/CP2】	【DP5/SBOs4/CP2】	【DP6/SBOs4/CP2】 臨床実習Ⅱ(総合)	【DP7/SBOs4/CP2】
		【SBOs4/CP3】 ③リサーチマインドを持ち、科学的な根拠に基づく臨床の概念や研究のプロセスに関する基礎知識を修得することができる。	【DP1/SBOs4/CP3】	【DP2/SBOs4/CP3】	【DP3/SBOs4/CP3】	【DP4/SBOs4/CP3】	【DP5/SBOs4/CP3】	【DP6/SBOs4/CP3】	【DP7/SBOs4/CP3】 言語聴覚療法特論、卒業研究
		【SBOs4/CP4】 ④チーム医療の中で対象者中心の臨床を実践するために、生涯にわたって学ぶ姿勢を身につける	【DP1/SBOs4/CP4】	【DP2/SBOs4/CP4】	【DP3/SBOs4/CP4】	【DP4/SBOs4/CP4】	【DP5/SBOs4/CP4】	【DP6/SBOs4/CP4】	【DP7/SBOs4/CP4】 関連職種連携実習

8-5 保健医療学部 視機能療法学科

8-5-1 教育研究上の目的

保健医療学部の教育研究上の目的

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師等の人材を育成する。

保健医療学部視機能療法学科の教育研究上の目的

視機能療法学科は、繊細な目を守るエキスパートとしての質の高い専門知識や技術を幅広く修得し、医療人としての総合力を高め、「見ること」、「見えること」の素晴らしさを伝えることのできる視能訓練士の育成を目的とする。

8-5-2 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、視能訓練士として、豊かな心、コミュニケーション能力、新しい知識の追求に向けた関心や意欲を持ち備え、日々進化する保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応し、学びを深めるための客観的・科学的な分析・判断力を養うことが期待できる人

2. 視機能療法学科の入学者に求める要件

1) 知識・技能

専門知識を修得するために必要な高等学校までの語学系科目と理数系科目の基本的知識及び技能としての読解力、文章力、コミュニケーション能力、論理的な思考力、科学的な理解力を有していること。

2) 思考力・判断力・表現力

保健・医療・福祉分野における新しい知識を学ぶための積極的な意欲を有し、継続的な努力を惜しまず、他人を思いやる寛容性及びコミュニケーション能力、学修で得た知識・技能をもとにした客観的な思考力及び理解力、筋道を立てて科学的に考えることができる分析力及び判断力を有していること。

3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、視能訓練士として「共に生きる社会」の実現に寄与すべく、地域とのつながりを大切に考えることができ、保健・医療・福祉分野の発展

に貢献したいという強い意志を持ち、積極的に自ら研鑽し、また相手の立場に立って物事を考え多職種と協調的に連携を図る態度を身につけていること。

8-5-3 ディプロマ・ポリシー

視機能療法学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：建学の精神「共に生きる社会」の実現を目指すことに共感し、医療専門職としての倫理観を身につけている。

DP2：視能訓練士を目指す者として、視覚科学および眼科医療に必要となる基本的な知識を身につけ理解している。

DP3：視能訓練士を目指す者として、グローバルな視点を持ち、保健・医療・福祉について世界の情勢を広く理解している。

DP4：視能訓練士を目指す者として、視機能の評価および治療に必要となる知識と技術を身につけている。

DP5：視能訓練士を目指す者として、倫理観を持ち、他職種との連携を通して視能訓練士の役割を理解し実践できる。

DP6：視能訓練士を目指す者として、備えた知識や情報を科学的観点から分析し的確に判断することができる。

DP7：視能訓練士を目指す者として、向上心を持ち生涯学習の重要性を理解するとともに、新しい知識の追求（研究活動）に対して関心と意欲を持っている。

8-5-4 カリキュラム・ポリシー

視機能療法学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1：視機能療法や関連領域の基礎的・専門的な知識・技術を有し、他文化・異文化を問わない態度で人類の健康を理解できる視能訓練士を育成するための科目を設定する。

CP2：獲得した知識・技術・態度をもとに問題点を的確に把握し、病態に応じた適切な視機能評価と視能訓練計画を立案できる視能訓練士を育成するための科目を設定する。

CP3：視機能評価の過程で得た情報を定量的・論理的に分析し、適切なコミュニケーション手段を用いて他者と共有し、チームを構築して問題解決にあたることのできる視能訓練士を育成するための科目を設定する。

CP4：常に向上心を持って自己研鑽に努め、修得した知識や技術を関連職種を含めたチーム内で共有しながらリーダーシップを発揮し、専門職業人としての高い倫理観を有した、社会から求められる視能訓練士を育成するための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

8-5-5 教育目標

<1 年次 (SBOs1) >

- CP1：保健医療福祉に関する基本的知識や異文化に関する知識を修得する。
- CP2：保健医療福祉に関する基本的知識と視機能療法学のかかわりを理解する。
- CP3：視機能療法に必要な論理的思考を養い、コミュニケーション能力を高める。
- CP4：主体的で自律性を持った学修スタイルに転換し、学修方法や学生生活の自己管理方法など基礎能力を高める。

<2 年次 (SBOs2) >

- CP1：保健医療福祉や異文化に関する発展的知識を修得する。
- CP2：病態に応じた視能検査手技を正確に実施できる。
- CP3：データと情報を適切に収集し、管理することができる。
- CP4：他職種と協働し、チームの一員として貢献できる。

<3 年次 (SBOs3) >

- CP1：視機能療法専門分野および関連領域における基礎的な知識を修得する。
- CP2：病態に応じた視機能検査を正確に実施し、適切な視能矯正プログラムを計画できる。
- CP3：収集した情報を基に、障害像の統合と解釈ができる。
- CP4：視機能療法の発展的な専門知識を修得し、関連する職種間との連携に貢献できる。

<4 年次 (SBOs4) >

- CP1：視機能療法専門分野および関連領域における知識の修得と、それらを臨床応用できる能力を獲得する。
- CP2：医学的根拠に基づいた視機能検査および視能矯正プログラムを立案し評価をすることができる。
- CP3：臨床的な疑問点を解決するための応用的洞察力を涵養し、リサーチマインドを形成する。
- CP4：視機能療法における応用的・発展的な知識を修得し、関連職種へ情報提供および共有することができる。

8-5-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-5-9 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【視機能療法学科 2024（令和6）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数		
		必修	選択	
総合教育科目	人間系	2単位		人間系、社会系、 自然・情報系、 総合系、外国語系、 保健体育系から、 さらに3単位以上
	社会系	1単位		
	自然・情報系	12単位		
	総合系	1単位		
	外国語系	4単位 (5単位) ※1	4単位以上 (3単位以上または 5単位以上) ※1	
	保健体育系			
	小計	20単位 (21単位) ※1	4単位以上 (6単位以上または8単位以上) ※1	3単位以上
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	11単位	専門教育科目から 3単位以上
		学科専門基礎	25単位	
		小計	36単位	
	専門科目	60単位		
	小計	96単位		
合計		116単位 (117単位) ※1	4単位以上	6単位以上
			(9単位以上または11単位以上) ※1	
総計		126単位以上 (126単位以上または128単位以上) ※1		

※1 ()内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-5-7 進級条件

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

1 学年必修専門基礎科目 11 科目のうち 9 科目以上修得していること。

なお、生理光学Ⅰ（基礎）の単位を修得していること。

必修専門科目の視能矯正学Ⅰ（外眼筋の作用と眼球運動）の単位を修得していること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

2 学年までの必修の総合教育科目と専門基礎科目のうち未修得科目が 2 科目以下であること。

なお、視器解剖病態学、視覚運動生理学の単位を修得していること。

2 学年までの必修専門教育科目（専門基礎科目を除く）の単位をすべて修得していること。

(3) 3 学年から 4 学年への進級条件

3 学年までの全必修科目（総合教育科目、専門基礎科目、専門科目）の単位をすべて修得していること。

8-5-8 科目履修条件

(1) 「生理光学Ⅲ（実践）」（全学生）

生理光学Ⅱ（応用）の単位を修得していること。

(2) 「視能矯正学Ⅲ（弱視・斜視の基本的知識）」（全学生）

視能矯正学Ⅱ（両眼視の基礎）の単位を修得していること。

8-5-9 授業科目一覧（総合教育科目：視機能療法学科）

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備考	
						必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	1	2	3	4		2	30	
		演劇論	1	2	3	4		1	15	
		心理学	1	2	3	4	2		30	
		哲学	1	2	3	4		2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30	
		人間学	1	2	3	4		2	30	
		歴史学	1	2	3	4		2	30	
		倫理学	1	2	3	4		2	30	
		宗教学	1	2	3	4		2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4		2	30	
		文化人類学	1	2	3	4		2	30	
		教育学	1	2	3	4		2	30	
		教育方法論	1	2	3	4		2	30	
		死生学・死を通して生を考える・	1	2	3	4		2	30	
	生きがい論	1	2	3	4		2	30		
	社会系	法学	1	2	3	4		2	30	
		日本国憲法	1	2	3	4		2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30	
		社会学	1	2	3	4		2	30	
		日本政治経済論	1	2	3	4		2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4		2	30	
		福祉経済学	1	2	3	4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4		2	30	
		国際関係論	1	2	3	4		2	30	
		世界の経済	1	2	3	4		2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4		2	30	
		海外保健福祉事情	1	2	3	4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1		30	
		自然・情報系	地球環境論	1	2	3	4		2	30
	ボランティア論		1	2	3	4		2	30	
	ボランティアコーディネート論		1	2	3	4		2	30	
	手話入門		1	2	3	4		2	30	
	経済の仕組み		1	2	3	4		2	30	
	経済の歴史		1	2	3	4		2	30	
	統計学		1	2	3	4	2		30	
	疫学・保健医療統計学		1	2	3	4	2		30	
	数学		1	2	3	4	2		30	
	物理学		1	2	3	4	2		30	
	化学		1	2	3	4		2	30	
	生物学		1	2	3	4	2		30	
	コンピュータの基礎		1	2	3	4		2	30	
	データリテラシー		1	2	3	4	1		30	
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）			2	3	4		1	30	
医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4		1	30			
医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2	3	4	1		30			
医学/医療史	1	2	3	4		2	30			
人間工学	1	2	3	4		2	30			
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1		30		
	郷土論～栃木学～	1	2	3	4		1	15		
	医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15		
	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30		
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2	3	4		1	15		
	総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4		1	15		
	食と人間	1	2				1	15		
	人間と性	1	2	3	4		1	15		
	持続可能な発展	1	2	3	4		2	30		
	読書ゼミナール	1	2	3	4		1	15		
現代医療福祉事情	1	2	3	4		1	15			
ボランティア実践	1	2	3	4		1	15			

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	
			必修	選択			
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1	30		
		英語講読 2 (Basic)	1	1	30		
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語 CALL1 (Primary)	1	1	30		
		英語 CALL2 (Basic)	1	1	30		
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
	スペイン語入門	1 2 3 4		1	30		
	スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30		
	中国語入門	1 2 3 4		1	30		
	中国語基礎	1 2 3 4		1	30		
韓国語入門	1 2 3 4		1	30			
韓国語基礎	1 2 3 4		1	30			
韓国語応用	1 2 3 4		1	30			
韓国語発展	1 2 3 4		1	30			
保健体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15		
	健康科学実践	1 2 3 4		1	30		

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する
「8-9-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

8-5-9 授業科目一覧（専門教育科目：視機能療法学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	
			必修	選択			
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1	2		30		
	救急医学	2		1	15		
	微生物と病気	1 2 3 4		2	30		
	リハビリテーション概論	1	2		30		
	関連職種連携論	2	2		30		
	看護論	1		2	30		
	ケアマネジメント論	2		1	15		
	ケースワーク論	1 2		1	15		
	医療管理学	1 2		2	30		
	保健医療福祉制度論	1 2		2	30		
	社会福祉学	1	2		30		
	臨床心理学概論	2	2		30		
	福祉支援工学概論	1 2		2	30		
	関連職種連携ワーク	3	1		30		
	関連職種連携実習	4		1	45		
	リスクマネジメント論	3 4		2	30		
	電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15		
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15		
レクリエーション概論	2 3 4		1	15			
専門教育科目	専門基礎	解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1	1		30	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		人間発達学	1	1		30	
		病理学	2		1	30	
		関係法規・医学概論	2	1		15	
		内科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		内科学Ⅱ（応用）	2		1	30	
		神経学	2		1	30	
		精神衛生	2	1		30	
		リハビリテーション医学	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2		1	30	
		神経心理学概論	2		2	30	
		薬理学	2	1		30	
		外科学	2		1	15	
		栄養学	2		1	15	
	保育	2	1		15		
	視能学概論	1	2		30		
	視器解剖生理学	1	2		30		
	視器解剖病態学	2	2		30		
	視覚運動生理学	2	2		30		
	生理光学Ⅰ（基礎）	1	2		30		
	視覚臨床生理学	3	2		30		
	高次脳機能障害	3	1		30		
	専門	生理光学Ⅱ（応用）	2	2		30	
		生理光学Ⅲ（実践）	2	2		30	
		生理光学実習	2	2		90	
		臨床屈折矯正学演習	3	1		30	
		視能障害学Ⅰ（基礎）	2	2		30	
		視能障害学Ⅱ（応用）	3	2		30	
		神経眼科学	3	2		30	
視能矯正学Ⅰ（外眼筋の作用と眼球運動）		1	2		30		
視能矯正学Ⅱ（両眼視の基礎）		2	2		30		
視能矯正学Ⅲ（弱視・斜視の基本的知識）		2	2		30		
視能矯正学実習		2	2		90		
視能検査学Ⅰ（機能検査）		3	2		30		
視能検査学Ⅱ（形態・画像検査）		3	2		30		
視能検査学実習Ⅰ（機能検査）		3	3		135		
視能検査学実習Ⅱ（形態・画像検査）		3	3		135		

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育科目	専門	視能訓練学Ⅰ（病態評価の基本的知識）	2	2		30
		視能訓練学Ⅱ（弱視、斜視の病態）	3	2		30
		視能訓練学Ⅲ（視能矯正管理の実践）	3	2		30
		視能学総合演習Ⅰ（実践）	3	1		30
		視能学総合演習Ⅱ（発展）	4	2		60
		臨地実習Ⅰ（基本）	3	1		45
		臨地実習Ⅱ（応用）	4	1		45
		臨地実習Ⅲ（発展）	4	12		540
		視能学評価実習	4	1		45
		保健福祉実習	3	1		45
		視覚リハビリテーション	3	1		30
		視覚リハビリテーション演習	3	1		30
		視能学研究法Ⅰ（文献詳読）	3	1		15
		視能学研究法Ⅱ（データ解析と考察）	3	1		15
		卒業研究	4		2	60

保健医療学部視機能療法学科DP-教育目標カリキュラムマップ【2024(令和6)年度以降入学生版】

		ディプロマ・ポリシー(DP)							
		【DP1】 建学の精神「共に生きる社会」の実現を目指すことに共感し、医療専門職としての倫理観を身につけている。	【DP2】 視能訓練士を目指す者として、視覚科学および眼科医療に必要な基本的な知識を身につけている。	【DP3】 視能訓練士を目指す者として、グローバルな視点を持ち、保健・医療・福祉について世界の情勢を広く理解している。	【DP4】 視能訓練士を目指す者として、視機能の評価および治療に必要な知識と技術を身につけている。	【DP5】 視能訓練士を目指す者として、倫理感を持ち、他職種との連携を通して視能訓練士の役割を理解し実践できる。	【DP6】 視能訓練士を目指す者として、備えた知識や情報を科学的観点から分析的に判断することができる。	【DP7】 視能訓練士を目指す者として、向上心を持ち生涯学習の重要性を理解するとともに、新しい知識の追求(研究活動)に対して関心と意欲を持っている。	
各 年 次 の 教 育 目 標 (到達 目標 ・ S B O s)	1 年 次	【SBOs1/CP1】 保健医療福祉に関する基本的知識や異文化に関する知識を修得する	【DP1/SBOs1/CP1】 心理学、統計学、英語講読1(Primary)、英語講読2(Basic)、英語CALL1(Primary)、英語CALL2(Basic)、文学論、演劇論、哲学、人間学、歴史学、倫理学、宗教学、日本近現代史、文化人類学、教育学、教育方法論、死生学、生きがい論、法学、日本国憲法、法と道徳・倫理、社会学、日本政治経済論、マスメディア論、福祉経済学、組織運営管理論、経済の仕組み、経済の歴史、コンピュータの基礎、人間工学、郷土論～栃木学～、医療福祉教養講義、食と人間、人間と性、持続可能な発展、読書ゼミナール、現代医療福祉事情、ボランティア実践、英語会話1(Primary)、英語会話2(Basic)、聖書英語1(Primary)、聖書英語2(Basic)、医学英語1(Primary)、医学英語2(Basic)、英語リスニング1(Primary)、英語リスニング2(Basic)、英語ライティング1(Primary)、英語ライティング2(Basic)、英語医療通訳入門1(Primary)、英語医療通訳入門2(Basic)、資格英語1(Primary)、資格英語2(Basic)、基礎英文法1(Primary)、基礎英文法2(Basic)、上級英語会話1(発展)、上級英語会話2(総合)、フランス語入門、フランス語基礎、ドイツ語入門、ドイツ語基礎、スペイン語入門、スペイン語基礎、中国語入門、中国語基礎、韓国語入門、韓国語基礎、韓国語応用、韓国語発展、医療管理学	【DP2/SBOs1/CP1】 公衆衛生学、リハビリテーション概論、解剖学Ⅰ(運動器系、内臓器系)、解剖学Ⅱ(内臓器系、神経系)、生理学Ⅰ(植物性機能)、生理学Ⅱ(動物性機能)、人間発達学、微生物と病気	【DP3/SBOs1/CP1】 アジア諸国の経済・社会・文化、国際関係論、世界の経済、国際医療福祉論、地球環境論、手話入門	【DP4/SBOs1/CP1】	【DP5/SBOs1/CP1】	【DP6/SBOs1/CP1】	【DP7/SBOs1/CP1】
		【SBOs1/CP2】 保健医療福祉に関する基本的知識と視機能療法学のかかわりを理解する	【DP1/SBOs1/CP2】 我が国の社会福祉・医療保障政策の知識、疫学・保健医療統計学、数学、物理学、生物学、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-、視能学概論、化学、医学/医療史、健康科学理論、健康科学実践、看護論、ケースワーク論、保健医療福祉制度論	【DP2/SBOs1/CP2】 視能学概論、福祉支援工学概論	【DP3/SBOs1/CP2】 視能学概論、ボランティア論、ボランティアコーディネート論	【DP4/SBOs1/CP2】	【DP5/SBOs1/CP2】	【DP6/SBOs1/CP2】	【DP7/SBOs1/CP2】
		【SBOs1/CP3】 視機能療法に必要な論理的思考を養い、コミュニケーション能力を高める	【DP1/SBOs1/CP3】 総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-、総合講義(現代社会をどう見るか)	【DP2/SBOs1/CP3】 視器解剖生理学、生理光学Ⅰ(基礎)	【DP3/SBOs1/CP3】 社会福祉学、コミュニケーション概論、雑談と傾聴～話す力と聴く力～、メディカルマナー入門	【DP4/SBOs1/CP3】 生理光学Ⅰ(基礎)、視能矯正学Ⅰ(外眼筋の作用と眼球運動)	【DP5/SBOs1/CP3】	【DP6/SBOs1/CP3】	【DP7/SBOs1/CP3】
		【SBOs1/CP4】 主体的で自律性を持った学修スタイルに転換し、学修方法や学生生活の自己管理方法など基礎能力を高める	【DP1/SBOs1/CP4】 大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	【DP2/SBOs1/CP4】	【DP3/SBOs1/CP4】 海外保健福祉事情	【DP4/SBOs1/CP4】	【DP5/SBOs1/CP4】	【DP6/SBOs1/CP4】 データリテラシー	【DP7/SBOs1/CP4】
	2 年 次	【SBOs2/CP1】 保健医療福祉や異文化に関する発展的知識を修得する	【DP1/SBOs2/CP1】 英語講読3(Intemperate)、英語講読4(Advanced)、英語会話3(Intemperate)、英語会話4(Advanced)、ケアマネジメント論	【DP2/SBOs2/CP1】 臨床心理学概論、関係法規・医学概論、救急医学、栄養学	【DP3/SBOs2/CP1】 レクリエーション概論	【DP4/SBOs2/CP1】	【DP5/SBOs2/CP1】	【DP6/SBOs2/CP1】	【DP7/SBOs2/CP1】
		【SBOs2/CP2】 病態に応じた視能検査手技を正確に実施できる	【DP1/SBOs2/CP2】 視能障害学Ⅰ(基礎)	【DP2/SBOs2/CP2】 視器解剖病態学、視覚運動生理学、視能訓練学Ⅰ(病態評価の基本的知識)、内科学Ⅰ(基礎)、病理学、内科学Ⅱ(応用)、神経学、外科学、神経心理学概論	【DP3/SBOs2/CP2】 保育	【DP4/SBOs2/CP2】 視能訓練学Ⅰ(病態評価の基本的知識)、視能矯正学Ⅱ(両眼視の基礎)	【DP5/SBOs2/CP2】	【DP6/SBOs2/CP2】	【DP7/SBOs2/CP2】
		【SBOs2/CP3】 データと情報を適切に収集し、管理することができる	【DP1/SBOs2/CP3】	【DP2/SBOs2/CP3】 生理光学Ⅱ(応用)、生理光学Ⅲ(実践)、生理光学実習、薬理学	【DP3/SBOs2/CP3】	【DP4/SBOs2/CP3】 視能矯正学Ⅱ(両眼視の基礎)、視能矯正学実習、生理光学Ⅱ(応用)、生理光学Ⅲ(実践)	【DP5/SBOs2/CP3】 電子カルテシステム入門	【DP6/SBOs2/CP3】 エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)、医療データサイエンスⅠ(DS基礎)、医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	【DP7/SBOs2/CP3】
		【SBOs2/CP4】 多職種と協働し、チームの一員として貢献できる	【DP1/SBOs2/CP4】	【DP2/SBOs2/CP4】 リハビリテーション医学、精神衛生、小児科学、老年学	【DP3/SBOs2/CP4】	【DP4/SBOs2/CP4】 視能矯正学Ⅲ(弱視・斜視の基本的知識)	【DP5/SBOs2/CP4】 関連職種連携論	【DP6/SBOs2/CP4】	【DP7/SBOs2/CP4】

		ディプロマ・ポリシー(DP)							
		【DP1】 建学の精神「共に生きる社会」の実現を目指すことに共感し、医療専門職としての倫理観を身につけている。	【DP2】 視能訓練士を目指す者として、視覚科学および眼科医療に必要な基本的な知識を身につけている。	【DP3】 視能訓練士を目指す者として、グローバルな視点を持ち、保健・医療・福祉について世界の情勢を広く理解している。	【DP4】 視能訓練士を目指す者として、視機能の評価および治療に必要な知識と技術を身につけている。	【DP5】 視能訓練士を目指す者として、倫理感を持ち、他職種との連携を通して視能訓練士の役割を理解し実践できる。	【DP6】 視能訓練士を目指す者として、備えた知識や情報を科学的観点から分析的に判断することができる。	【DP7】 視能訓練士を目指す者として、向上心を持ち生涯学習の重要性を理解するとともに、新しい知識の追求(研究活動)に対して関心と意欲を持っている。	
各 年 次 の 教 育 目 標 (到 達 目 標 ・ S B O s)	3 年 次	【SBOs3/CP1】 視機能療法専門分野および関連領域における基礎的な知識を修得する	【DP1/SBOs3/CP1】	【DP2/SBOs3/CP1】 視能検査学Ⅰ(機能検査)、視覚臨床生理学、リスクマネジメント論	【DP3/SBOs3/CP1】	【DP4/SBOs3/CP1】 神経眼科学、視覚リハビリテーション、視覚臨床生理学	【DP5/SBOs3/CP1】	【DP6/SBOs3/CP1】	【DP7/SBOs3/CP1】
		【SBOs3/CP2】 病態に応じた視機能検査を正確に実施し、適切な視能矯正プログラムを計画できる	【DP1/SBOs3/CP2】	【DP2/SBOs3/CP2】 臨床屈折矯正学演習、視能障害学Ⅱ(応用)、視能検査学Ⅱ(形態・画像検査)、視覚臨床生理学	【DP3/SBOs3/CP2】 保健福祉実習	【DP4/SBOs3/CP2】 視能検査学実習Ⅱ(形態・画像検査)、視覚リハビリテーション演習、視能訓練学Ⅲ(視能矯正管理の実践)	【DP5/SBOs3/CP2】 保健福祉実習	【DP6/SBOs3/CP2】 視能検査学実習Ⅱ(形態・画像検査)	【DP7/SBOs3/CP2】
		【SBOs3/CP3】 収集した情報を基に、障害像の統合と解釈ができる	【DP1/SBOs3/CP3】	【DP2/SBOs3/CP3】 視能検査学実習Ⅰ(機能検査)、視能訓練学Ⅲ(視能矯正管理の実践)	【DP3/SBOs3/CP3】	【DP4/SBOs3/CP3】 高次脳機能障害、視能訓練学Ⅱ(弱視、斜視の病態)、視能訓練学Ⅲ(視能矯正管理の実践)	【DP5/SBOs3/CP3】	【DP6/SBOs3/CP3】 視能学総合演習Ⅰ(実践)	【DP7/SBOs3/CP3】
		【SBOs3/CP4】 視機能療法の発展的な専門知識を修得し、関連する職種間との連携に貢献できる	【DP1/SBOs3/CP4】	【DP2/SBOs3/CP4】	【DP3/SBOs3/CP4】	【DP4/SBOs3/CP4】 臨地実習Ⅰ(基本)	【DP5/SBOs3/CP4】 関連職種連携ワーク、臨地実習Ⅰ(基本)	【DP6/SBOs3/CP4】 臨地実習Ⅰ(基本)、視能学研究法Ⅰ(文献詳読)、視能学研究法Ⅱ(データ解析と考察)	【DP7/SBOs3/CP4】 視能学研究法Ⅰ(文献詳読)、視能学研究法Ⅱ(データ解析と考察)
	4 年 次	【SBOs4/CP1】 視機能療法専門分野および関連領域における知識の修得と、それらを臨床応用できる能力を獲得する	【DP1/SBOs4/CP1】	【DP2/SBOs4/CP1】	【DP3/SBOs4/CP1】	【DP4/SBOs4/CP1】 視能学評価実習	【DP5/SBOs4/CP1】	【DP6/SBOs4/CP1】	【DP7/SBOs4/CP1】
		【SBOs4/CP2】 医学的根拠に基づいた視機能検査および視能矯正プログラムを立案し評価することができる	【DP1/SBOs4/CP2】	【DP2/SBOs4/CP2】	【DP3/SBOs4/CP2】	【DP4/SBOs4/CP2】	【DP5/SBOs4/CP2】 臨地実習Ⅱ(応用)、臨地実習Ⅲ(発展)	【DP6/SBOs4/CP2】 臨地実習Ⅱ(応用)、臨地実習Ⅲ(発展)	【DP7/SBOs4/CP2】 臨地実習Ⅱ(応用)、臨地実習Ⅲ(発展)
		【SBOs4/CP3】 臨床的な疑問点を解決するための応用的洞察力を涵養し、リサーチマインドを形成する	【DP1/SBOs4/CP3】	【DP2/SBOs4/CP3】	【DP3/SBOs4/CP3】	【DP4/SBOs4/CP3】	【DP5/SBOs4/CP3】	【DP6/SBOs4/CP3】 卒業研究	【DP7/SBOs4/CP3】 卒業研究
		【SBOs4/CP4】 視機能療法における応用的・発展的な知識を修得し、関連職種へ情報提供および共有することができる	【DP1/SBOs4/CP4】	【DP2/SBOs4/CP4】	【DP3/SBOs4/CP4】	【DP4/SBOs4/CP4】	【DP5/SBOs4/CP4】 関連職種連携実習	【DP6/SBOs4/CP4】 視能学総合演習Ⅱ(発展)	【DP7/SBOs4/CP4】 視能学総合演習Ⅱ(発展)

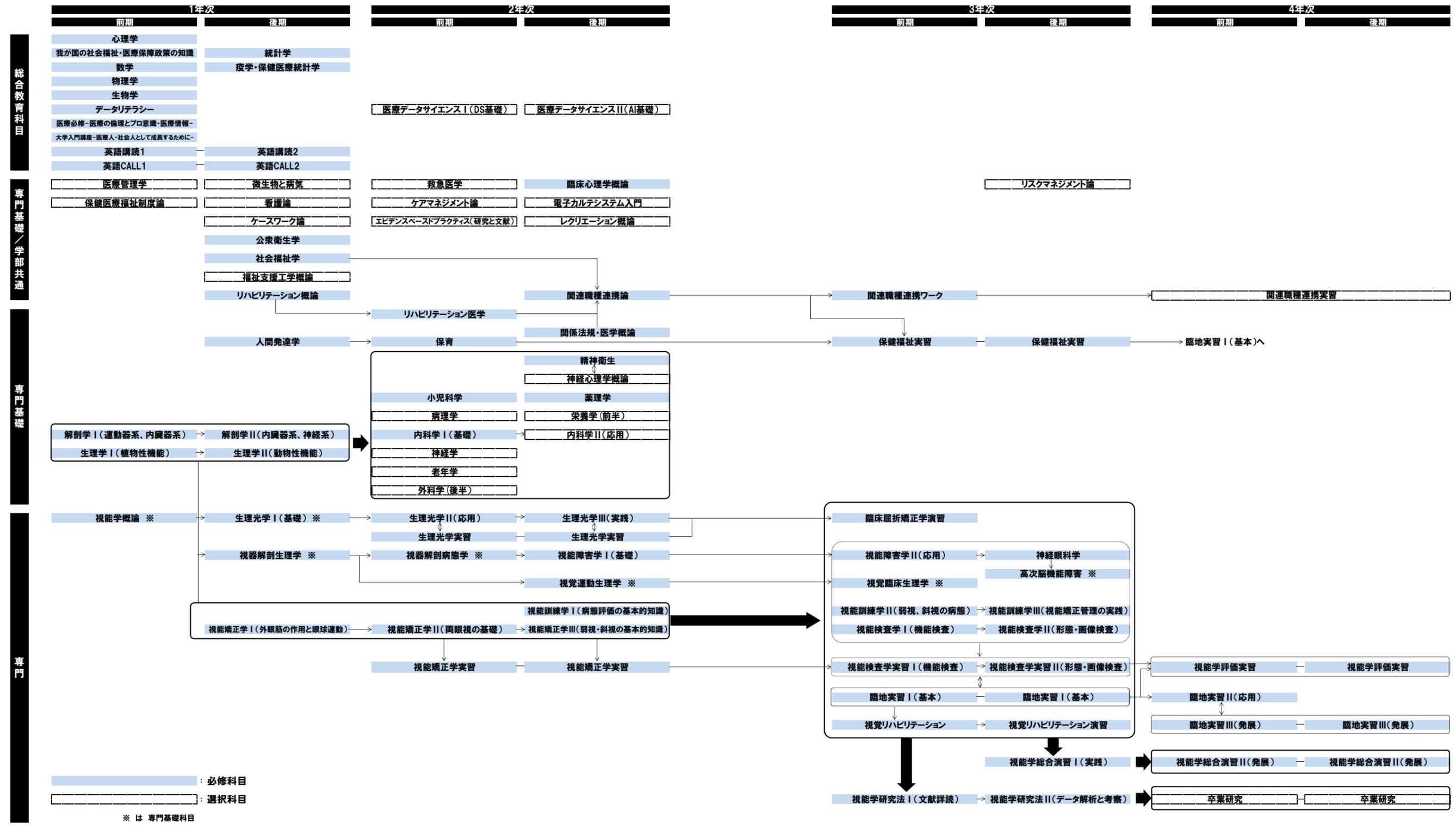
保健医療学部 視機能療法学科 履修系統図【2024(令和6)年度入学生から】

ディプロマ・ポリシー

視機能療法学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。
 DP1: 建学の精神「共に生きる社会」の実現を目指すことに共感し、医療専門職としての倫理観を身につけている。
 DP2: 視能訓練士を目指す者として、視覚科学および眼科医療に必要な基本的な知識を身につけ理解している。
 DP3: 視能訓練士を目指す者として、グローバルな視点を持ち、保健・医療・福祉について世界的情勢を広く理解している。
 DP4: 視能訓練士を目指す者として、視機能の評価および治療に必要な知識と技術を身につけている。
 DP5: 視能訓練士を目指す者として、倫理観を持ち、他職種との連携を通して視能訓練士の役割を理解し実践できる。
 DP6: 視能訓練士を目指す者として、備えた知識や情報を科学的観点から分析的に判断することができる。
 DP7: 視能訓練士を目指す者として、向上心を持ち生涯学習の重要性を理解するとともに、新しい知識の追求(研究活動)に対して関心と意欲を

カリキュラム・ポリシー

視機能療法学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。
 CP1: 視機能療法や関連領域の基礎的・専門的な知識・技術を有し、他文化・異文化を問わない態度で人類の健康を理解できる視能訓練士を育成するための科目を設定する。
 CP2: 獲得した知識・技術・態度をもとに問題点を的確に把握し、病態に応じた適切な視機能評価と視能訓練計画を立案できる視能訓練士を育成するための科目を設定する。
 CP3: 視機能評価の過程で得た情報を定量的・論理的に分析し、適切なコミュニケーション手段を用いて他者と共有し、チームを構築して問題解決にあたることのできる視能訓練士を育成するための科目を設定する。
 CP4: 常に向上心を持って自己研鑽に努め、修得した知識や技術を関連職種を含めたチーム内で共有しながらリーダーシップを発揮し、専門職業人としての高い倫理観を有した、社会から求められる視能訓練士を育成するための科目を設定する。



8-6 保健医療学部 放射線・情報科学科

8-6-1 教育研究上の目的

保健医療学部の教育研究上の目的

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師等の人材を育成する。

保健医療学部放射線・情報科学科の教育研究上の目的

放射線・情報科学科は、基礎から高度な専門技術まで、時代が求める質の高い医療の実現のためのハイレベルな専門知識と最先端技術を修得し、臨床現場における対応力を培い、社会に貢献する診療放射線技師の育成を目的とする。

8-6-2 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、診療放射線技師として「共に生きる社会」の実現に強く貢献したいと考え、これからの時代の保健医療を担っていこうとする情熱を持ち、自ら積極的に学ぶ意欲と能力を持つ人

2. 放射線・情報科学科の入学者に求める要件

1) 知識・技能

診療放射線学分野で学修するために必要な数学、物理学、化学、生物学の基礎知識を有しており、さらに、科学技術の高度化、専門化、及び国際化に対応するために必要な文章読解力、語学力の基礎技能を有していること。

2) 思考力・判断力・表現力

様々な事象を客観的かつ科学的に思考し、判断しようとする能力、また、得られた結果を相手の立場に立って分かりやすく伝えようとする表現力やコミュニケーション能力を有していること。

3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

使命感・倫理観・責任感・思いやりの心などの豊かな人間性を養うため、自ら積極的に研鑽する態度、また、自己の成長だけでなく、他者や周囲の環境にも目を向けて貢献しようとする姿勢を身につけていること。

8-6-3 ディプロマ・ポリシー

放射線・情報科学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：診療放射線技師を目指す者として、使命感・倫理観・責任感・思いやりの心などの豊かな人間性を修得している。

DP2：診療放射線技師を目指す者として必要な医学、医療、理工学および情報科学の基礎知識を有し、様々な事象を理解できる能力を修得している。

DP3：診療放射線技師を目指す者として必要な診療に係る専門知識と技術を有し、さらに情報科学の技術を駆使して臨牀的に推論できる能力を修得している。

DP4：診療放射線技師を目指す者として必要な放射線を取り扱う上での安全管理や医療全般における安全管理に係る知識を有し、実践できる能力を修得している。

DP5：診療放射線技師を目指す者として、チーム医療を担うという価値を自覚し、他職種との連携が図れる能力を修得している。

DP6：診療放射線技師を目指す者として、診療行為や医療情報の適切な運用が自然に実践できる能力を修得している。

DP7：診療放射線技師を目指す者として、常に知的探究心を有し、問題解決できる能力を修得している。

8-6-4 カリキュラム・ポリシー

放射線・情報科学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1：診療放射線技師教育における基礎および専門分野の知識を体系的に理解するとともに、多文化・異文化に関する知識、人類の文化・社会と自然に関する知識を養うための科目を設定する。

CP2：診療放射線技師教育における獲得した知識・技能・態度等を総合的に利用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力を養うための科目を設定する。

CP3：診療放射線技師教育における臨床的スキルとしてのコミュニケーションスキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力を養うための科目を設定する。

CP4：診療放射線技師教育における医療従事者としての自己管理能力、チームワーク、リーダーシップ、倫理観、社会的責任感、生涯学習力を養うための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

8-6-5 教育目標

<1 年次 (SBOs1) >

CP1：診療放射線技師に必要な教養や基礎知識を修得できる。

CP2：基礎知識を利用して課題を解決する能力を修得できる。

CP3：診療放射線技師に必要な臨床的技能を学ぶための基礎を修得できる。

CP4：診療放射線技師を目指す学生としての豊かな人間性、医療福祉の幅広い知識を修得できる。

<2 年次 (SBOs2) >

CP1：診療放射線技師に必要な基礎知識に加え専門知識を修得できる。

CP2：専門知識を利用して課題を解決する基礎的な技術と能力を修得できる。

CP3：診療放射線技師に必要な臨床的基礎技術と能力を修得できる。

CP4：診療放射線技師だけでなく医療福祉における他職種の役割を理解できる。

<3 年次 (SBOs3) >

CP1：診療放射線技師に必要な専門的で実践的な知識を修得できる。

CP2：専門知識を利用して課題を解決する実践的な技術と能力を修得できる。

CP3：診療放射線技師に必要な臨床的技能を実践できる。

CP4：医療福祉における職種間のチームワーク、リーダーシップを理解できる。

<4 年次 (SBOs4) >

CP1：診療放射線技師としてさらに専門性の高い知識を修得する。

CP2：専門知識を利用して課題を安全に解決し、高度な管理を実践する能力を修得できる。

CP3：診療放射線技師としてさらに高度な技能を実践できる。

CP4：診療放射線技師として発展し続ける能力、職種間連携を実践できる能力を修得できる。

8-6-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-6-9 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【放射線・情報科学科 2024（令和6）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数			
		必修	選択		
総合教育科目	人間系			2単位以上	人間系、 社会系、 自然・情報系、 総合系、 外国語系、 保健体育系 から、 さらに 5単位以上
	社会系	1単位		2単位以上	
	自然・情報系	4単位			
	総合系	1単位			
	外国語系	4単位 (5単位) ※2	4単位以上 ※1 (3単位以上 または 5単位以上) ※2		
	保健体育系				
	小計	10単位 (11単位) ※2	4単位以上	9単位以上	
		(12単位以上または14単位以上) ※2			
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	5単位	専門教育科目から 5単位以上	
		学科専門基礎	19単位		
		小計	24単位		
	専門科目	76単位			
	小計	100単位		5単位以上	
合計		110単位 (111単位) ※2	4単位以上	14単位以上	
		(17単位以上または19単位以上) ※2			
総計		128単位以上 (128単位以上または130単位以上) ※2			

※1 後述の「8-6-8 科目履修条件」に従うこと。

※2 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-6-7 進級条件

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

1 学年の全必修科目のうち、単位未修得科目数が 4 科目以下であること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

2 学年までの全必修科目のうち、単位未修得科目数が 2 科目以下であること、および
選択科目から 10 単位以上修得していること。

(3) 3 学年から 4 学年への進級条件

3 学年までの全必修科目のうち、単位未修得科目数が 2 科目以下であること。

8-6-8 科目履修条件

(1) 外国語系選択科目の履修条件

外国語系選択科目の履修条件は、「英語」科目から 2 単位を履修すること、および英語科目またはその他の外国語科目の中から 2 単位を履修すること。

(2) 日本語履修条件（留学生のみ）

「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-6-9 授業科目一覧（総合教育科目：放射線・情報科学科）

授業科目の名称		配当年次				単位数		時間	備 考	
						必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	1	2	3	4		2	30	
		演劇論	1	2	3	4		1	15	
		心理学	1	2	3	4		2	30	
		哲学	1	2	3	4		2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30	
		人間学	1	2	3	4		2	30	
		歴史学	1	2	3	4		2	30	
		倫理学	1	2	3	4		2	30	
		宗教学	1	2	3	4		2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4		2	30	
		文化人類学	1	2	3	4		2	30	
		教育学	1	2	3	4		2	30	
		教育方法論	1	2	3	4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4		2	30	
	生きがい論	1	2	3	4		2	30		
	社会系	法学	1	2	3	4		2	30	
		日本国憲法	1	2	3	4		2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30	
		社会学	1	2	3	4		2	30	
		日本政治経済論	1	2	3	4		2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4		2	30	
		福祉経済学	1	2	3	4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4		2	30	
		国際関係論	1	2	3	4		2	30	
		世界の経済	1	2	3	4		2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4		2	30	
		海外保健福祉事情	1	2	3	4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1					1	30	
		地球環境論	1	2	3	4		2	30	
		ボランティア論	1	2	3	4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4		2	30	
		手話入門	1	2	3	4		2	30	
		経済の仕組み	1	2	3	4		2	30	
		経済の歴史	1	2	3	4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4		2	30	
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4		2	30	
		数学	1	2	3	4		2	30	
		物理学	1	2	3	4		2	30	
		化学	1	2	3	4		2	30	
		生物学	1					2	30	
		コンピュータの基礎	1					2	30	
		データリテラシー	1					1	30	
		医療データサイエンス I (DS 基礎)		2	3	4		1	30	
医療データサイエンス II (AI 基礎)			2	3	4		1	30		
医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-		1					1	30		
医学/医療史		1	2	3	4		2	30		
人間工学	1	2	3	4		2	30			
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1					1	30		
	郷土論～栃木学～	1	2	3	4		1	15		
	医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15		
	メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30		
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2	3	4		1	15		
	総合講義 (現代社会をどう見るか)	1	2	3	4		1	15		
	食と人間	1	2				1	15		
	人間と性	1	2	3	4		1	15		
	持続可能な発展	1	2	3	4		2	30		
	読書ゼミナール	1	2	3	4		1	15		
現代医療福祉事情	1	2	3	4		1	15			
ボランティア実践	1	2	3	4		1	15			

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	
			必修	選択			
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1	30		
		英語講読 2 (Basic)	1	1	30		
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語 CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語 CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
韓国語入門	1 2 3 4		1	30			
韓国語基礎	1 2 3 4		1	30			
韓国語応用	1 2 3 4		1	30			
韓国語発展	1 2 3 4		1	30			
保健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15		
体育系	健康科学実践	1 2 3 4		1	30		

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する
「8-9-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

8-6-9 授業科目一覧（専門教育科目：放射線・情報科学科）

	授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	2	2		30	
	救急医学	2		1	15	
	微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
	リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30	
	関連職種連携論	2	2		30	
	看護論	1		2	30	
	ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
	ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
	医療管理学	1 2 3 4		2	30	
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
	社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
	臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
	福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1		30	
	関連職種連携実習	4		1	45	
	リスクマネジメント論	3 4		2	30	
	電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
レクリエーション概論	2 3 4		1	15		
専門基礎	基礎数学	1	1		30	
	基礎統計学	2	1		30	
	自然科学概論	1	2		30	
	基礎物理学	1	1		30	
	基礎化学	1	1		30	
	基礎生物学	1	1		30	
	自然科学実験	1	1		45	
	解剖学Ⅰ（運動器系・循環器系・内臓系）	1	1		30	
	解剖学Ⅱ（内臓系・神経系・感覚器系）	1	1		30	
	生理学	1	2		30	
	病理学	2	2		30	
	病態生理学	2	1		15	
	臨床解剖学	3	1		30	
	医学概論	1	2		30	
	看護概論	3	1		15	
専門教育科目	応用数学	1		1	30	
	放射線物理学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
	放射線物理学Ⅱ（発展）	2	1		30	
	放射化学	2	1		30	
	放射線生物学	2	1		30	
	放射線科学演習	2		1	30	
	放射線計測学	2	1		30	
	放射線計測学実験	2	1		45	
	放射線管理学	2	2		30	
	放射線管理学実験	4	1		45	
	放射線関係法規	3	1		15	
	画像情報学Ⅰ（感光理論・処理）	1	2		30	
	画像情報学Ⅱ（画質評価）	1	2		30	
	画像情報学実験	1	1		45	
	画像情報学特論	4		1	30	
	コンピュータ演習Ⅰ（データ処理）	1		1	30	
	コンピュータ演習Ⅱ（プログラミング）	2		1	30	
	医療情報システム論	3	1		15	
	医用工学	1	1		30	
	医用工学演習	2	1		30	
	X線機器工学	1	2		30	
	診療画像機器工学	2	1		30	
	X線機器工学実験	2	1		45	
	診療画像機器工学実験	2	1		45	
	診療放射線概論	1	1		15	
	診療画像検査学概論	1	1		15	
	X線検査学Ⅰ（単純撮影・他）	2	1		30	
	X線検査学Ⅱ（造影検査・他）	2	1		30	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門 教育科目	専門	X線CT検査学	2	2		30
		MR I 検査学	2	2		30
		MR I 特論	4		1	30
		超音波検査学	2	2		30
		診療画像学実験 I (X線検査・他)	2	1		45
		診療画像学実験 II (CT・MRI・超音波検査・他)	2	1		45
		核医学 I (基礎)	2	2		30
		核医学 II (臨床)	3	2		30
		核医学実験	3	2		60
		核医学特論	4		1	30
		放射線治療学 I (物理・技術)	2	2		30
		放射線治療学 II (臨床)	3	2		30
		放射線治療機器工学	2	1		15
		放射線治療学実験	3	2		60
		放射線腫瘍特論	4		1	30
		画像解剖学	2	1		30
		画像診断学	4	1		30
		画像診断学演習	4		1	30
		死亡時画像診断学	4		1	30
		臨床医学 I (基礎)	3	1		30
		臨床医学 II (発展)	4	1		30
		臨床薬理学	3	1		15
		放射線救急医学	3	2		30
		医療安全概論	3	1		30
		医療安全管理学	4	1		30
		臨床画像学演習	3	2		60
		診療画像臨床実習	3	8		360
		核医学検査臨床実習	3	2		90
		放射線治療臨床実習	3	2		90
		診療放射線特論	4	1		30
		放射線学演習 I (基礎)	4	1		30
		放射線学演習 II (総合)	4	1		30
		卒業研究 I (調査・計画)	4	1		45
		卒業研究 II (研究報告)	4	1		45

放射線・情報科学科DP-教育目標カリキュラムマップ【2024(令和6)年度以降入学生版】

		ディプロマ・ポリシー(DP)							
		【DP1】 診療放射線技師を目指す者として、使命感・倫理観・責任感・思いやりの心などの豊かな人間性を修得している	【DP2】 診療放射線技師を目指す者として必要な医学、医療、理工学および情報科学の基礎知識を有し、様々な事象を理解できる能力を修得している	【DP3】 診療放射線技師を目指す者として必要な診療に係る専門知識と技術を有し、さらに情報科学の技術を駆使して臨症的に推論できる能力を修得している	【DP4】 診療放射線技師を目指す者として必要な放射線を取り扱う上での安全管理や医療安全における安全管理に係る知識を有し、実践できる能力を修得している	【DP5】 診療放射線技師を目指す者として、チーム医療を担うという価値を自覚し、他職種との連携が図れる能力を修得している	【DP6】 診療放射線技師を目指す者として、診療行為や医療情報の適切な運用が自然に実践できる能力を修得している	【DP7】 診療放射線技師を目指す者として、常に知的探究心を有し、問題解決できる能力を修得している	
各年次の教育目標(到達目標・SBOs)	1年次	【SBOs1/CP1】 ①診療放射線技師に必要な教養や基礎知識を修得できる	【DP1/SBOs1/CP1】 英語講読1(Primary) 英語講読2(Basic) 英語CALL1(Primary) 英語CALL2(Basic) 総合教育科目(自然・情報系) 総合教育科目(総合系) 総合教育科目(外国語系) 総合教育科目(人間系) 総合教育科目(社会系) 総合教育科目(保健体育系)	【DP2/SBOs1/CP1】 コンピュータの基礎 データリテラシー 解剖学Ⅰ(運動器系・循環器系・内臓系) 解剖学Ⅱ(内臓系・神経系・感覚器系) 生理学 医学概論 基礎数学 自然科学概論 基礎物理学 基礎化学 基礎生物学 放射線物理学Ⅰ(基礎) 医用工学 微生物と病気 応用数学 コンピュータ演習Ⅰ(データ処理)	【DP3/SBOs1/CP1】 X線機器工学 画像情報学Ⅰ(感光理論・処理) 画像情報学Ⅱ(画質評価)	【DP4/SBOs1/CP1】	【DP5/SBOs1/CP1】	【DP6/SBOs1/CP1】	【DP7/SBOs1/CP1】
		【SBOs1/CP2】 ②基礎知識を利用して課題を解決する能力を修得できる	【DP1/SBOs1/CP2】	【DP2/SBOs1/CP2】 自然科学実験	【DP3/SBOs1/CP2】 画像情報学実験	【DP4/SBOs1/CP2】	【DP5/SBOs1/CP2】	【DP6/SBOs1/CP2】	【DP7/SBOs1/CP2】
		【SBOs1/CP3】 ③診療放射線技師に必要な臨床的技術を学ぶための基礎を修得できる	【DP1/SBOs1/CP3】	【DP2/SBOs1/CP3】	【DP3/SBOs1/CP3】 診療画像検査学概論	【DP4/SBOs1/CP3】	【DP5/SBOs1/CP3】	【DP6/SBOs1/CP3】	【DP7/SBOs1/CP3】
		【SBOs1/CP4】 ④診療放射線技師を目指す学生としての豊かな人間性、医療福祉の幅広い知識を修得できる	【DP1/SBOs1/CP4】 大学入門講座 -医療人・社会人として成長するために- 医療必修 -医療の倫理とプロ意識・医療情報- 我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	【DP2/SBOs1/CP4】	【DP3/SBOs1/CP4】 診療放射線概論	【DP4/SBOs1/CP4】	【DP5/SBOs1/CP4】 リハビリテーション概論 看護論 ケースワーク論 医療管理学 保健医療福祉制度論 社会福祉学 臨床心理学概論 福祉支援工学概論	【DP6/SBOs1/CP4】	【DP7/SBOs1/CP4】
	2年次	【SBOs2/CP1】 ①診療放射線技師に必要な基礎知識に加え専門知識を修得できる	【DP1/SBOs2/CP1】	【DP2/SBOs2/CP1】 公衆衛生学 基礎統計学 病理学 病態生理学 放射線物理学Ⅱ(発展) 放射化学 放射線生物学 救急医学 コンピュータ演習Ⅱ(プログラミング) 医療データサイエンスⅠ(DS基礎) 医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	【DP3/SBOs2/CP1】 画像解剖学 診療画像機器工学 X線検査学Ⅰ(単純撮影・他) X線検査学Ⅱ(造影検査・他) X線CT検査学 MRI検査学 超音波検査学 核医学Ⅰ(基礎) 放射線治療学Ⅰ(物理・技術) 放射線治療機器工学	【DP4/SBOs2/CP1】 放射線計測学 放射線管理学	【DP5/SBOs2/CP1】	【DP6/SBOs2/CP1】	【DP7/SBOs2/CP1】
		【SBOs2/CP2】 ②専門知識を利用して課題を解決する基礎的な技術と能力を修得できる	【DP1/SBOs2/CP2】	【DP2/SBOs2/CP2】 医用工学演習 放射線科学演習	【DP3/SBOs2/CP2】 X線機器工学実験 診療画像機器工学実験	【DP4/SBOs2/CP2】 放射線計測学実験	【DP5/SBOs2/CP2】	【DP6/SBOs2/CP2】	【DP7/SBOs2/CP2】
		【SBOs2/CP3】 ③診療放射線技師に必要な臨床的基礎技術と能力を修得できる	【DP1/SBOs2/CP3】	【DP2/SBOs2/CP3】	【DP3/SBOs2/CP3】 診療画像学実験Ⅰ(X線検査・他) 診療画像学実験Ⅱ (CT・MRI・超音波検査・他)	【DP4/SBOs2/CP3】	【DP5/SBOs2/CP3】	【DP6/SBOs2/CP3】	【DP7/SBOs2/CP3】
		【SBOs2/CP4】 ④診療放射線技師だけでなく医療福祉における他職種の役割を理解できる	【DP1/SBOs2/CP4】 レクリエーション概論	【DP2/SBOs2/CP4】	【DP3/SBOs2/CP4】	【DP4/SBOs2/CP4】	【DP5/SBOs2/CP4】 関連職種連携論 ケアマネジメント論 電子カルテシステム入門	【DP6/SBOs2/CP4】	【DP7/SBOs2/CP4】 エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)
	3年次	【SBOs3/CP1】 ①診療放射線技師に必要な専門的実践的な知識を修得できる	【DP1/SBOs3/CP1】	【DP2/SBOs3/CP1】	【DP3/SBOs3/CP1】 臨床解剖学 医療情報システム論 放射線救急医学 臨床医学Ⅰ(基礎) 臨床薬理学 核医学Ⅱ(臨床) 放射線治療学Ⅱ(臨床)	【DP4/SBOs3/CP1】 放射線関係法規	【DP5/SBOs3/CP1】	【DP6/SBOs3/CP1】 医療安全概論	【DP7/SBOs3/CP1】
		【SBOs3/CP2】 ②専門知識を利用して課題を解決する実践的な技術と能力を修得できる	【DP1/SBOs3/CP2】	【DP2/SBOs3/CP2】	【DP3/SBOs3/CP2】	【DP4/SBOs3/CP2】	【DP5/SBOs3/CP2】	【DP6/SBOs3/CP2】	【DP7/SBOs3/CP2】
		【SBOs3/CP3】 ③診療放射線技師に必要な臨床的実践を修得できる	【DP1/SBOs3/CP3】	【DP2/SBOs3/CP3】	【DP3/SBOs3/CP3】 核医学実験 放射線治療学実験	【DP4/SBOs3/CP3】	【DP5/SBOs3/CP3】	【DP6/SBOs3/CP3】 臨床画像学演習 診療画像臨床実習 核医学検査臨床実習 放射線治療臨床実習	【DP7/SBOs3/CP3】
		【SBOs3/CP4】 ④医療福祉における職種間のチームワーク、リーダーシップを理解できる	【DP1/SBOs3/CP4】	【DP2/SBOs3/CP4】	【DP3/SBOs3/CP4】	【DP4/SBOs3/CP4】 リスクマネジメント論	【DP5/SBOs3/CP4】 関連職種連携ワーク 看護概論	【DP6/SBOs3/CP4】	【DP7/SBOs3/CP4】
4年次	【SBOs4/CP1】 ①診療放射線技師としてさらに専門性の高い知識を修得する	【DP1/SBOs4/CP1】	【DP2/SBOs4/CP1】	【DP3/SBOs4/CP1】 臨床医学Ⅱ(発展) 画像診断学 MRI特論 核医学特論 死亡画像診断学 放射線腫瘍特論 画像情報学特論	【DP4/SBOs4/CP1】 医療安全管理学	【DP5/SBOs4/CP1】	【DP6/SBOs4/CP1】	【DP7/SBOs4/CP1】	
	【SBOs4/CP2】 ②専門知識を利用して課題を安全に解決し、高度な管理を実践する能力を修得できる	【DP1/SBOs4/CP2】	【DP2/SBOs4/CP2】	【DP3/SBOs4/CP2】	【DP4/SBOs4/CP2】 放射線管理学実験	【DP5/SBOs4/CP2】	【DP6/SBOs4/CP2】	【DP7/SBOs4/CP2】	
	【SBOs4/CP3】 ③診療放射線技師としてさらに高度な実践を修得できる	【DP1/SBOs4/CP3】	【DP2/SBOs4/CP3】	【DP3/SBOs4/CP3】 画像診断学演習	【DP4/SBOs4/CP3】	【DP5/SBOs4/CP3】	【DP6/SBOs4/CP3】	【DP7/SBOs4/CP3】	
	【SBOs4/CP4】 ④診療放射線技師として発展し続ける能力、職種間連携を実践できる能力を修得できる	【DP1/SBOs4/CP4】	【DP2/SBOs4/CP4】	【DP3/SBOs4/CP4】	【DP4/SBOs4/CP4】	【DP5/SBOs4/CP4】 関連職種連携実習	【DP6/SBOs4/CP4】	【DP7/SBOs4/CP4】 診療放射線特論 放射線学演習Ⅰ(基礎) 放射線学演習Ⅱ(総合) 卒業研究Ⅰ(調査・計画) 卒業研究Ⅱ(研究報告)	

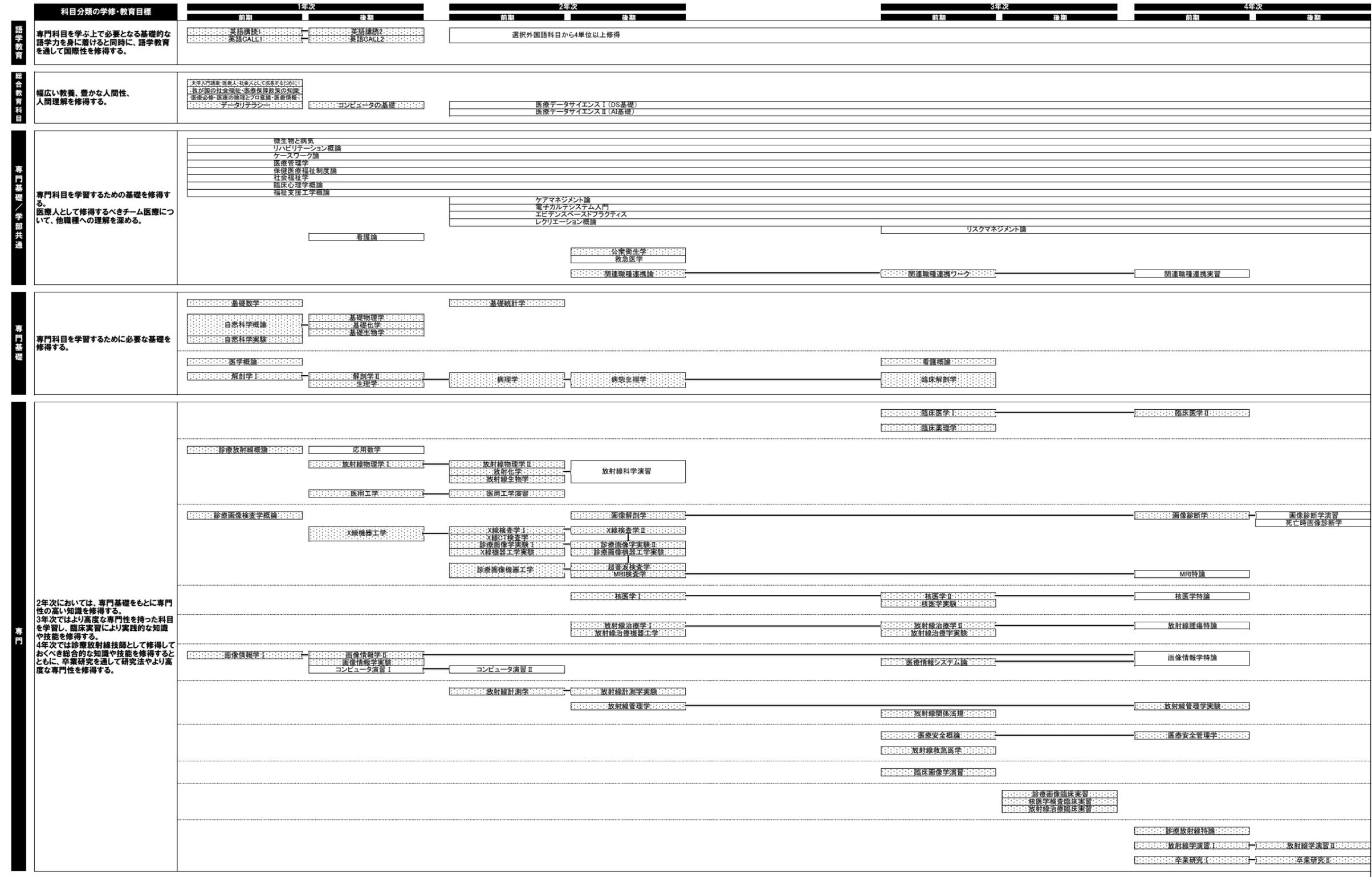
保健医療学部 放射線・情報科学科 履修系統図【2024(令和6)年度入学生から】

ディプロマ・ポリシー

- 放射線・情報科学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。
- DP1: 診療放射線技師を目指す者として、使命感・倫理観・責任感・思いやりの心などの豊かな人間性を修得している。
 - DP2: 診療放射線技師を目指す者として必要な医学、医療、理工学および情報科学の基礎知識を有し、様々な事象を理解できる能力を修得している。
 - DP3: 診療放射線技師を目指す者として必要な診療に係る専門知識と技術を有し、さらに情報科学の技術を駆使して臨床的に推論できる能力を修得している。
 - DP4: 診療放射線技師を目指す者として必要な放射線を取り扱う上での安全管理や医療全般における安全管理に係る知識を有し、実践できる能力を修得している。
 - DP5: 診療放射線技師を目指す者として、チーム医療を担うという価値を自覚し、他職種との連携が図れる能力を修得している。
 - DP6: 診療放射線技師を目指す者として、診療行為や医療情報の適切な運用が自然に実践できる能力を修得している。
 - DP7: 診療放射線技師を目指す者として、常に知的探究心を有し、問題解決できる能力を修得している。

カリキュラム・ポリシー

- 放射線・情報科学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。
- CP1: 診療放射線技師教育における基礎および専門分野の知識を体系的に理解するとともに、多文化・異文化に関する知識、人類の文化・社会と自然に関する知識を養うための科目を設定する。
 - CP2: 診療放射線技師教育における獲得した知識・技能・態度等を総合的に利用し、自らが立てた新たな課題にそれらを活用し、その課題を解決する能力を養うための科目を設定する。
 - CP3: 診療放射線技師教育における臨床的技能としてのコミュニケーションスキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力を養うための科目を設定する。
 - CP4: 診療放射線技師教育における医療従事者としての自己管理能力、チームワーク、リーダーシップ、倫理観、社会的責任感、生涯学習力を養うための科目を設定する。
- 学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。



必修科目
 選択科目

8. 学部・学科ポリシー／卒業要件／履修科目一覧

医療福祉学部

8-7 医療福祉・マネジメント学科

8-7 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科

8-7-1 教育研究上の目的

医療福祉学部の教育研究上の目的

医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事、社会福祉、精神保健福祉、介護福祉の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、医療福祉の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療福祉施設経営者・管理者、診療情報管理士、医療情報・医事の専門職業人、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士等の人材を育成する。

医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科の教育研究上の目的

医療福祉・マネジメント学科は、医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事、社会福祉、精神保健福祉、介護福祉の各分野について、必要な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

8-7-2 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、社会福祉及び医療経営管理に従事する専門職として、豊かな心、コミュニケーション能力、新しい知識の追求に向けた関心や意欲を持ち、日々進化する医療福祉介護分野における高度化・専門化及び国際化に対応し、学びを深めるための客観的・科学的な分析・判断力を養うことが期待できる人

2. 医療福祉・マネジメント学科の入学者に求める要件

1) 知識・技能

高等学校時代の教科・科目等に相応した基礎知識と技能にあたる語学系科目の修得を通して身につけた読解力、文章力、コミュニケーション能力、また、人々の生活や社会の構造等を理解するための科目の修得を通して身につけた論理的な思考力、科学的な理解力を有していること。

2) 思考力・判断力・表現力

医療・福祉・介護分野における新しい知識を学ぶための積極的な意欲を有し、継続的な努力を惜しまず、他人を思いやる寛容性及びコミュニケーション能力、学修で得た知識・技能をもとにした客観的な思考力及び理解力、筋道を立てて科学的に考えることができる分析力及び判断力を有していること。

3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、社会福祉及び医療経営管理の専門職として「共に生きる社会」の実現に寄与すべく、地域とのつながりを大切に考えることができ、医療・福祉・介護分野の発展に貢献したいという強い意志を持ち、積極的に自ら研鑽し、また相手の立場に立って物事を考え多職種と協動的に連携し協働する態度を身につけていること。

8-7-3 ディプロマ・ポリシー

医療福祉・マネジメント学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、「共に生きる社会」を実現するための社会的責任観、倫理観を身につけている。

DP2：医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として必要な医学、社会福祉学、経営学等の基礎知識を身につけている。

DP3：医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、対人支援と業務の遂行に係る専門知識と技術を養い、様々な人との適切な人間関係を構築することができる。

DP4：医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、科学的知識に基づいた技術を身につけ、その技術を用いた適切な支援や業務の遂行を行うことができる。

DP5：医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、自職種と他職種を理解し、多職種連携による効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。

DP6：医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、身につけた知識や技術を統合的に用い、様々な状況に応じた効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。

DP7：医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、生涯学習の重要性を知り、よりよい支援や業務を遂行するために、新しい知識の追求や技術の研鑽に努める意欲や能力を培う。

8-7-4 カリキュラム・ポリシー

医療福祉・マネジメント学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1：社会福祉学、医療経営管理学および関連諸科学の基礎および専門的知識・技術を体系的に学び、適切かつ効果的な支援および業務のあり方について理解するための科目を設定する。

CP2：社会福祉学、医療経営管理学および関連諸科学の知識・技術・専門職としての価値観を総合的に活用し、課題に応じた創造的な支援や業務の遂行を行うことのできる能力を養うための科目を設定する。

CP3：社会福祉学、医療経営管理学および関連諸科学の知識・技術を用いて、総合的な医療福祉の支援を多職種と連携して行うことのできるコミュニケーション能力や応用力を養うための科目を設定する。

CP4：社会福祉および医療経営管理の専門従事者として高い倫理観と向上心を持ち、多様な人々と協働する力、主体的に問題を解決する力、社会的責任感を養うための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

8-7-5 教育目標

<1 年次 (SBOs1) >

- CP1：社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な基礎的教養や知識を修得する。
- CP2：基礎的な知識を応用して、具体的な課題を解決する方法を考えることができる。
- CP3：社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な論理的思考、コミュニケーション能力を修得する。
- CP4：社会福祉および医療経営管理の専門職を志す学生として、高い倫理観と責任感、豊かな人間性を自ら主体的に学ぶことができる。

<2 年次 (SBOs2) >

- CP1：社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な基礎的な専門知識・技術を修得する。
- CP2：基礎的な専門知識・技術を応用して、具体的な課題を解決する基礎的な技術と能力を修得する。
- CP3：社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な基礎的な課題分析力・解決力を修得する。
- CP4：他の専門分野にも関心を持ち学びの幅を広げるとともに、他者と積極的に関わり協働する姿勢を持つことができる。

<3 年次 (SBOs3) >

- CP1：社会福祉および医療経営管理の従事者の専門的知識・技術の実践的な活用方法を修得する。
- CP2：専門知識・技術を応用して、具体的な課題を解決する実践的な技術と能力を修得する。
- CP3：社会福祉および医療経営管理の専門知識・技術を用い、多職種と連携して具体的な解決策を検討できる。
- CP4：関連職種との連携の中で、リーダーシップを発揮し、自職種の役割や責務を果たすことができる。

<4 年次 (SBOs4) >

- CP1：社会福祉および医療経営管理の従事者としてより高い専門的知識・技術を自ら学び、修得する。
- CP2：専門知識・技術を応用して、課題に応じた具体的な解決策を自ら創造し、実践できる。
- CP3：社会福祉および医療経営管理の専門知識・技術を用い、多職種と連携して具体的な解決策を検討しかつ実践することができる。
- CP4：社会福祉および医療経営管理の専門知識・技術を応用し、多様な人々と協働しつつ、創造的な実践を展開することができる。

8-7-6 コース選択について

医療福祉・マネジメント学科では、次の5つコースを選択して学修することになります。

介護福祉コース	社会福祉コース
<p>入学時選択。国家資格「介護福祉士」の資格取得を目指します。</p> <p>「介護福祉士」は、専門的知識と技術をもって、認知症や寝たきりのお年より、障害があるために日常生活を営むことが困難な方達に対して、入浴、食事、排泄等の援助を行う介護の専門職です。</p>	<p>国家資格「社会福祉士」の資格取得を目指します。</p> <p>「社会福祉士」は、身体上や精神上的の障害により、また、環境上の理由により日常生活を営むことが困難な高齢者や障害者、児童等の福祉に関する相談に応じ、助言や指導、福祉サービスの提供を行う専門職です。</p>
精神保健福祉コース	<p>5つのコース概要</p>
<p>国家資格「精神保健福祉士」の資格取得を目指します。</p> <p>「精神保健福祉士」は、保健、医療、福祉等の専門的知識及び技術をもって、こころの病を抱えている人々やその家族からの相談に乗り、地域で快適に生活できるように支援する専門職です。</p>	
診療情報管理コース	医療福祉マネジメントコース
<p>公的資格「診療情報管理士」の資格取得を目指します。</p> <p>「診療情報管理士」は、患者さんの治療内容や病状、検査記録等が書かれた診療記録（カルテ）の処理と管理を専門に行う医療事務の専門職であり、病院の安全管理や経営を行ううえで欠かせない存在です。</p>	<p>複数のマネジメントに関する公的資格の資格取得を目指します。</p> <p>医学や生活機能の知識をベースに、医事や経理、情報処理、経営の基礎、マーケティング、最先端の医療福祉動向など、医療福祉のマネジメントに不可欠な知識を修得します。</p>

- 1年次は医療、福祉、マネジメント（経営）の基礎を幅広く学び、2年次より各自の選択により4つのコース（介護福祉コースは入学時選択）のうち1つコースを選択し、それぞれの専門分野の学修をすすめます。
- コース選択の支援として、概論的な講義科目の受講はもちろんですが、必修科目である「入門ゼミ」において、それぞれの専門性や学ぶべき知識・技術、さらには職業像などを研究したり、それぞれの臨床現場を見学したりしながら、各人の関心と適性をもとに自らが選択できるように学修支援が行われます。
- 1年次後期にはコース選択に関するガイダンスを行い、これらを通して、1年修了時にコース希望票を提出することになっています（介護福祉コース所属の学生については、「社会福祉士」の国家試験を受験するか選択してください）。

医療福祉・マネジメント学科は所属コースにより、卒業要件等が異なります。

次ページ以降のコース別卒業要件、進級条件、科目履修条件、国家試験受験要件に係る指定選択科目を参照し、学科の指導に従って履修してください。

【社会福祉コース】

8-7-7 (社福) 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-7-11 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【社会福祉コース 2024（令和6）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数		
		必修	選択	
総合教育科目	人間系		14単位以上 (10単位以上) ※1	
	社会系	3単位		
	自然・情報系	2単位		
	総合系	1単位		
	外国語系	4単位 (5単位) ※1		(3単位以上または 5単位以上) ※1
	保健体育系			
	小計	10単位 (11単位) ※1	14単位以上 (13単位以上または15単位以上) ※1	
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	3単位	46単位以上
		学科専門基礎		
		小計	3単位	
	専門科目	51単位		
	小計	54単位	46単位以上	
合計		64単位 (65単位) ※1	60単位以上 (59単位以上または61単位以上) ※1	
総計		124単位以上 (124単位以上または126単位以上) ※1		

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-8 (社福) 進級条件

- (1) 1 学年から 2 学年への進級条件
1 年次の総単位数を 20 単位以上、修得していること。
- (2) 2 学年から 3 学年への進級条件
2 年次までの年次指定の社会福祉コース必修科目の単位をすべて修得していること。

8-7-9 (社福) 科目履修条件

(1) ソーシャルワーク実習Ⅰ

2年次前期までに開講される「社会福祉士国家試験」受験に必要な科目の単位をすべて修得していること。

(2) ソーシャルワーク実習Ⅱ

2年次後期までに開講される「社会福祉士国家試験」受験に必要な科目の単位をすべて修得していること。

(3) 日本語履修条件 (留学生のみ)

「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-10 (社福) 国家試験受験要件に係る指定選択科目

「社会福祉士国家試験」受験希望者は、専門教育科目の下記指定選択科目を必ず履修すること。

- 「ソーシャルワーク演習Ⅳ」
- 「ソーシャルワーク実習Ⅰ」
- 「ソーシャルワーク実習Ⅱ」
- 「ソーシャルワーク実習指導」

【精神保健福祉コース】

8-7-7 (精神) 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-7-11 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【精神保健福祉コース 2024（令和6）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数		
		必修	選択	
総合 教育 科目	人間系		14単位以上 (10単位以上) ※1	(3単位以上または 5単位以上) ※1
	社会系	3単位		
	自然・情報系	2単位		
	総合系	1単位		
	外国語系	4単位 (5単位) ※1		
	保健体育系			
小 計		10単位 (11単位) ※1	14単位以上 (13単位以上または15単位以上) ※1	
専門 教育 科目	専門基礎科目	学部共通	3単位	45単位以上
		学科専門基礎		
		小 計	3単位	
	専門科目	52単位		
小 計		55単位	45単位以上	
合 計		65単位 (66単位) ※1	59単位以上 (58単位以上または60単位以上) ※1	
総 計		124単位以上 (124単位以上または126単位以上) ※1		

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-8 (精神) 進級条件

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

1 年次の総単位数を 20 単位以上、修得していること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

2 年次までの年次指定の精神保健福祉コース必修科目の単位をすべて修得していること。

8-7-9 (精神) 科目履修条件

- (1) 「メンタルヘルスソーシャルワークの理論と方法」
「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」の単位を修得していること。
- (2) 「メンタルヘルスソーシャルワーク演習」、「メンタルヘルスソーシャルワーク実習指導」
および「メンタルヘルスソーシャルワーク実習」
3年次までに開講される「精神保健福祉士国家試験」受験に必要な科目の単位をすべて
修得していること。
- (3) 日本語履修条件（留学生のみ）
「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-10 (精神) 国家試験受験要件に係る指定選択科目

- (1) 「精神保健福祉士国家試験」受験希望者は、専門教育科目の下記指定選択科目を必ず
履修すること。
 - 「メンタルヘルスソーシャルワーク演習」
 - 「メンタルヘルスソーシャルワーク実習指導」
 - 「メンタルヘルスソーシャルワーク実習」
- (2) 「精神保健福祉士国家試験」の受験および「社会福祉士国家試験」の受験を希望する
者は、下記「社会福祉士国家試験」受験要件に係る指定選択科目を履修すること。
 - 「ソーシャルワーク演習Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」
 - 「ソーシャルワーク実習Ⅰ」
 - 「ソーシャルワーク実習Ⅱ」
 - 「ソーシャルワーク実習指導」

ただし、「社会福祉士国家試験」受験要件に係る指定選択科目は、本コースの卒業に必要な科目ではない。

【介護福祉コース】

8-7-7 (介護) 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-7-11 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【介護福祉コース 2024（令和6）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数		
		必修	選択必修	選択
総合教育科目	人間系	4単位	4単位以上	1単位以上 (留学生はなし) ※1
	社会系	3単位	2単位以上	
	自然・情報系	2単位	3単位以上	
	総合系	1単位		
	外国語系	4単位 (5単位) ※1	(3単位以上または 5単位以上) ※1	
	保健体育系			
	小計	14単位 (15単位) ※1	9単位以上 (12単位以上または14単位以上) ※1	1単位以上
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	3単位	9単位以上
		学科専門基礎		
		小計	3単位	
	専門科目	94単位		
	小計	97単位		9単位以上 (9単位以上) ※1
合計		111単位 (112単位) ※1	9単位以上 (21単位以上または23単位以上) ※1	10単位以上
総計		130単位以上 (133単位以上または135単位以上) ※1		

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-8 (介護) 進級条件

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

1 年次の総単位数を 20 単位以上、修得していること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

2 年次までの年次指定の介護福祉士養成科目および選択必修科目（次ページ掲載）の単位をすべて修得していること。

- 介護福祉士養成科目
「こころとからだのしくみⅠ（身体）」、「こころとからだのしくみⅡ（精神）」、「介護の基本Ⅰ」、「生活支援技術Ⅰ（生活支援）」、「こころとからだのしくみⅢ（生活支援）」、「コミュニケーション技術」、「介護の基本Ⅱ」、「介護過程Ⅰ」、「障害の理解」、「生活支援技術Ⅱ」、「生活支援技術Ⅲ」、「生活支援技術Ⅳ」、「生活支援技術Ⅴ」、「介護実習Ⅰ」、「介護総合演習Ⅰ（基礎）」、「認知症の理解」、「発達と老化の理解」、「人間関係とチームケア」、「医療的ケア論Ⅰ」
- 選択必修科目（※転学部生は選択必修科目のみ進級条件の対象としない）
「コミュニケーション概論」、「人間学」、「我が国の社会福祉・医療保障政策の知識」、「統計学」、「生物学」、「国際関係論」

8-7-9（介護） 科目履修条件

- (1) 介護実習Ⅰ
「介護の基本Ⅰ（介護福祉士の職務・職業倫理等）」、「生活支援技術Ⅰ（生活支援）」の単位を修得していること。
- (2) 履修登録上限単位数
すべての学年・コースにおいて、1年間に履修登録できる単位数を50単位未満とする。ただし、介護福祉コースに所属する者のうち、「社会福祉士国家試験」を受験しようとする場合は個別に認める場合がある。
- (3) 日本語履修条件（留学生のみ）
「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-10（介護） 国家試験受験要件に係る指定選択科目

「介護福祉コース」の学生で、「社会福祉士国家試験」の受験を希望する者は、「社会福祉士国家試験」受験要件に係る指定選択科目を履修すること。

- 「ソーシャルワーク演習Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」
- 「ソーシャルワーク実習Ⅱ」
- 「ソーシャルワーク実習指導」

ただし、「社会福祉士国家試験」受験要件に係る指定選択科目は、本コースの卒業に必要な科目ではない。

【診療情報管理コース】

8-7-7 (診療) 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-7-11 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【診療情報管理コース 2024（令和6）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数		
		必修	選択	
総合 教育 科目	人間系		16単位以上 (12単位以上) ※1	
	社会系	1単位		
	自然・情報系	2単位		
	総合系	1単位		
	外国語系	4単位 (5単位) ※1		(3単位以上または 5単位以上) ※1
	保健体育系			
小 計		8単位 (9単位) ※1	16単位以上 (15単位以上または17単位以上) ※1	
専門 教育 科目	専門基礎科目	学部共通	3単位	39単位以上
		学科専門基礎		
		小 計	3単位	
	専門科目	58単位		
小 計		61単位	39単位以上	
合 計		69単位 (70単位) ※1	55単位以上 (54単位以上または56単位以上) ※1	
総 計		124単位以上 (124単位以上または126単位以上) ※1		

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-8 (診療) 進級条件

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

1 年次の総単位数を 20 単位以上、修得していること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

2 年次までの年次指定の診療情報管理コース必修科目をすべて含み、64 単位以上修得していること。

8-7-9 (診療) 科目履修条件

(1) 日本語履修条件（留学生のみ）

「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

【医療福祉マネジメントコース】

8-7-7 (福マ) 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-7-11 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【医療福祉マネジメントコース 2024（令和6）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数		
		必修	選択	
総合 教育 科目	人間系		16単位以上 (12単位以上) ※1	
	社会系	1単位		
	自然・情報系	2単位		
	総合系	1単位		
	外国語系	4単位 (5単位) ※1		(3単位または 5単位以上) ※1
	保健体育系			
	小 計	8単位 (9単位) ※1		16単位以上 (15単位以上または17単位以上) ※1
専門 教育 科目	専門基礎科目	学部共通	3単位	39単位以上
		学科専門基礎		
		小 計	3単位	
	専門科目	58単位		
	小 計	61単位	39単位以上	
合 計		69単位 (70単位) ※1	55単位以上 (54単位以上または56単位以上) ※1	
総 計		124単位以上 (124単位以上または126単位以上) ※1		

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-8 (福マ) 進級条件

- (1) 1 学年から 2 学年への進級条件
1 年次の総単位数を 20 単位以上、修得していること。
- (2) 2 学年から 3 学年への進級条件
2 年次までの年次指定の医療福祉マネジメントコース必修科目をすべて含み、64 単位以上修得していること。

8-7-9 (福マ) 科目履修条件

- (1) 日本語履修条件（留学生のみ）
「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-11 授業科目一覧（総合教育科目：医療福祉・マネジメント学科）

○…必修 ●… 選択必修 ▲…指定選択 ー…履修不可

授業科目の名称	配当年度	単位数		時間	コース別必修					備考	
		必修	選択		社会	精神	介護	診療	マネジメント		
人間系	文学論	1 2 3 4	2	30							
人間系	演劇論	1 2 3 4	1	15							
人間系	心理学	1 2 3 4	2	30			○				
人間系	哲学	1 2 3 4	2	30							
人間系	コミュニケーション概論	1 2 3 4	2	30			●				
人間系	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4	2	30							
人間系	人間学	1 2 3 4	2	30			●				
人間系	歴史学	1 2 3 4	2	30							
人間系	倫理学	1 2 3 4	2	30							
人間系	宗教学	1 2 3 4	2	30							
人間系	日本近現代史	1 2 3 4	2	30							
人間系	文化人類学	1 2 3 4	2	30							
人間系	教育学	1 2 3 4	2	30							
人間系	教育方法論	1 2 3 4	2	30							
人間系	死生学・死を通して生を考える・	1 2 3 4	2	30							
人間系	生きがい論	1 2 3 4	2	30			○				
総合教育科目	社会学系	法学	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	日本国憲法	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	法と道徳・倫理	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	社会学	1 2 3 4	2	30	○	○	○			
総合教育科目	社会学系	日本政治経済論	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	マスメディア論	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	福祉経済学	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	国際関係論	1 2 3 4	2	30			●			
総合教育科目	社会学系	世界の経済	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	国際医療福祉論	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	組織運営管理論	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	海外保健福祉事情	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1	30	○	○	○	○	○	
総合教育科目	社会学系	地球環境論	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	ボランティア論	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	ボランティアコーディネーター論	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	手話入門	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	経済の仕組み	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	社会学系	経済の歴史	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	自然・情報系	統計学	1 2 3 4	2	30			●			
総合教育科目	自然・情報系	疫学・保健医療統計学	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	自然・情報系	数学	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	自然・情報系	物理学	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	自然・情報系	化学	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	自然・情報系	生物学	1 2 3 4	2	30			●			
総合教育科目	自然・情報系	コンピュータの基礎	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	自然・情報系	データリテラシー	1 2 3 4	1	30	○	○	○	○	○	
総合教育科目	自然・情報系	医療データサイエンス I (DS 基礎)	2 3 4	1	30						
総合教育科目	自然・情報系	医療データサイエンス II (AI 基礎)	2 3 4	1	30						
総合教育科目	自然・情報系	医療必修・医療の倫理とプロ意識・医療情報・	1 2 3 4	1	30	○	○	○	○	○	
総合教育科目	自然・情報系	医学／医療史	1 2 3 4	2	30						
総合教育科目	自然・情報系	人間工学	1 2 3 4	2	30						
総合系	総合系	大学入門講座・医療人・社会人として成長するために・	1	1	30	○	○	○	○	○	
総合系	総合系	郷土論～栃木学～	1 2 3 4	1	15						
総合系	総合系	医療福祉教養講義	1 2 3 4	1	15						
総合系	総合系	メディカルマナー入門	1 2 3 4	2	30						
総合系	総合系	総合講義一超高齢社会で認知症と向き合う一	1 2 3 4	1	15						
総合系	総合系	総合講義(現代社会をどう見るか)	1 2 3 4	1	15						
総合系	総合系	食と人間	1 2 3 4	1	15						
総合系	総合系	人間と性	1 2 3 4	1	15						
総合系	総合系	持続可能な発展	1 2 3 4	2	30						
総合系	総合系	読書ゼミナール	1 2 3 4	1	15						
総合系	総合系	現代医療福祉事情	1 2 3 4	1	15						
総合系	総合系	ボランティア実践	1 2 3 4	1	15						

○…必修 ●… 選択必修 ▲…指定選択 ー…履修不可

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	コース別必選					備 考	
			必修	選択		社会	精神	介護	診療	メン ト		
総合 教育 科目	外 国 語 系	英語講読 1(Primary)	1	1	30	○	○	○	○	○		
		英語講読 2(Basic)	1	1	30	○	○	○	○	○		
		英語講読 3(Intermediate)	2 3 4		1	30						
		英語講読 4(Advanced)	2 3 4		1	30						
		英語 CALL1(Primary)	1	1	30	○	○	○	○	○		
		英語 CALL2(Basic)	1	1	30	○	○	○	○	○		
		英語会話 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
		英語会話 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
		英語会話 3(Intermediate)	2 3 4		1	30						
		英語会話 4(Advanced)	2 3 4		1	30						
		聖書英語 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
		聖書英語 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
		医学英語 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
		医学英語 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
		英語リスニング 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
		英語リスニング 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
		英語ライティング 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
		英語ライティング 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
		英語医療通訳入門 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
		英語医療通訳入門 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
		資格英語 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
		資格英語 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
		基礎英文法 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
		基礎英文法 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
		上級英語会話 1(発展)	1 2 3 4		1	30						
		上級英語会話 2(総合)	1 2 3 4		1	30						
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30						
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30						
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30						
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30						
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30						
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30						
		中国語入門	1 2 3 4		1	30						
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30						
韓国語入門	1 2 3 4		1	30								
韓国語基礎	1 2 3 4		1	30								
韓国語応用	1 2 3 4		1	30								
韓国語発展	1 2 3 4		1	30								
保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15							
	健康科学実践	1 2 3 4		1	30							

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する
「8-9-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

8-7-11 授業科目一覧（専門教育科目：医療福祉・マネジメント学科）

○…必修 ●… 選択必修 ▲…指定選択 ー…履修不可

授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	コース別必選					備考
		必修	選択		社会	精神	介護	診療	マネジメント	
公衆衛生学	1 2 3 4		2	30						
救急医学	1 2 3 4		1	15						
微生物と病気	1 2 3 4		2	30						
リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30						
関連職種連携論	2	2		30	○	○	○	○	○	
看護論	1		2	30						
ケアマネジメント論	1 2 3 4		1	15						
ケースワーク論	1 2 3 4		1	15						
医療管理学	1 2 3 4		2	30						
保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30						
社会福祉学	1 2 3 4		2	30						
臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30						
福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30						
関連職種連携ワーク	3	1		30	○	○	○	○	○	
関連職種連携実習	4		1	45						
リスクマネジメント論	3 4		2	30						
電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15						
エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	2 3 4		1	15						
レクリエーション概論	2 3 4		1	15						
入門ゼミ	1 2	1		30	○	○	○	○	○	
こころとからだのしくみⅠ(身体)	1 2		2	30			○	○	○	
こころとからだのしくみⅡ(精神)	1 2		2	30	-	-	○	-	-	
医学概論	1		2	30	○	○				
医療概論	1		2	30				○	○	
社会福祉の原理と政策	1 2		4	60	○	○	○			
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1		2	30	○	○				
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	1		2	30	○					
介護の基本Ⅰ(介護福祉士の職務・職業倫理等)	1 2		4	60	-	-	○	-	-	
生活支援技術Ⅰ(生活支援)	1 2		2	30	-	-	○	-	-	
人間関係とチームケア	1 2		2	30	-	-	○	-	-	
医療管理総論	1		2	30				○	○	
経営学	1		4	60					○	
簿記論Ⅰ(基礎)	1		4	60					○	
臨床医学総論	1		2	30				○	○	
ソーシャルワーク演習Ⅰ	1		1	30	○	○	○			
診療情報・マネジメント基礎演習	1		1	30				○	○	
簿記演習Ⅰ(基礎)	1 2		2	60						
レクリエーション指導法	1 2 3 4		4	60						
こころとからだのしくみⅢ(生活支援)	2		4	60	-	-	○	-	-	
コミュニケーション技術	2		4	60	-	-	○	-	-	
介護の基本Ⅱ(自立に向けた介護等)	2		4	60	-	-	○	-	-	
介護過程Ⅰ(介護過程の意義・展開)	2		4	60	-	-	○	-	-	
障害の理解	2		4	60	-	-	○	-	-	
生活支援技術Ⅱ(身支度・移動の介護)	2		4	60	-	-	○	-	-	
生活支援技術Ⅲ(入浴・排泄・食事の介護)	2		4	60	-	-	○	-	-	
生活支援技術Ⅳ(住環境・家事)	2		4	60	-	-	○	-	-	
生活支援技術Ⅴ(睡眠・終末期の介護)	2		2	30	-	-	○	-	-	
医療的ケア論Ⅰ	2		1	15	-	-	○	-	-	
介護実習Ⅰ(多様な施設における実習)	2 3		2	90	-	-	○	-	-	
介護総合演習Ⅰ(基礎)	2 3		2	60	-	-	○	-	-	
医療福祉関連法規	2		2	30					○	
医療管理各論Ⅰ(病院管理)	2		2	30				○		
医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	2		2	30				○		
医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	2		2	30				○		
保健医療情報学	2		2	30				○		
医療統計Ⅰ(統計理論)	2		2	30				○		
医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	2		2	30				○		
医療情報統計演習	2 3		1	30						

○…必修 ●… 選択必修 ▲…指定選択 ー…履修不可

授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	コース別必選					備考
		必修	選択		社会	精神	介護	診療	メン ト	
臨床医学各論 A(新生物と消化器・泌尿器系)	1 2		2	30				○		
臨床医学各論 B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1 2		2	30				○		
臨床医学各論 C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2 3		2	30				○		
臨床医学各論 D(循環器・呼吸器と周産期系)	2 3		2	30				○		
ゼミナール I (基礎)	2		2	60	ー	ー	ー	○	○	
経営学演習	2		2	60	ー	ー	ー			
診療報酬請求論 I (初級)	2		2	30					○	
簿記論 II (商業簿記)	2 3		2	30						
簿記論 III (工業簿記)	2 3		2	30						
ソーシャルワーク演習 II	2		2	60	○			ー	ー	
認知症の理解	2		4	60	ー	ー	○	ー	ー	
発達と老化の理解	2		4	60	ー	ー	○	ー	ー	
社会保障	2 3 4		4	60	○	○				
ソーシャルワークの理論と方法 I	2 3 4		4	60	○	○				
児童・家庭福祉	2 3 4		2	30	○					
子ども家庭援助論	2 3 4		2	30						
障害者福祉	2 3 4		2	30	○	○				
地域福祉と包括的支援体制	2 3 4		4	60	○	○				
高齢者福祉	2 3 4		2	30	○					
精神医学と精神医療	2 3 4		4	60		○				
現代の精神保健の課題と支援	2 3 4		4	60		○				
精神保健福祉の原理	2 3 4		4	60		○				
高齢者援助論	2 3 4		2	30						
障害者援助論	2 3 4		2	30						
心理学と心理的支援	2 3 4		2	30	○	○				
カウンセリング論	2 3 4		2	30						
医学・医療用語	1 2 3 4		2	30				○		
薬学概論	2 3 4		2	30						
医療福祉管理会計論	2 3 4		2	30					○	
医療福祉財務会計論	2 3 4		2	30					○	
会計学	2 3 4		2	30					○	
経営戦略論	3 4		2	30					○	
人事労務管理論	3 4		2	30					○	
ソーシャルワーク実習指導	2 3 4		3	90	▲			ー	ー	
ソーシャルワーク実習 I	2		2	90	▲			ー	ー	
介護の基本 III (リスクマネジメント・連携等)	3		4	60	ー	ー	○	ー	ー	
介護過程 II (介護過程の実践的展開)	3		4	60	ー	ー	○	ー	ー	
介護過程 III (介護過程とチームアプローチ)	3		2	30	ー	ー	○	ー	ー	
介護総合演習 II (応用)	3		2	60	ー	ー	○	ー	ー	
生活支援技術 VI (形態別に応じた介護)	3		4	60	ー	ー	○	ー	ー	
医療的ケア論 II	3		2	30	ー	ー	○	ー	ー	
医療的ケア論 III	3		2	30	ー	ー	○	ー	ー	
医療的ケア論 IV (演習)	3		1	30	ー	ー	○	ー	ー	
介護実習 II (ケアプラン作成)	3		4	180	ー	ー	○	ー	ー	
介護実習 III (ケアプラン実施)	3		4	180	ー	ー	○	ー	ー	
ゼミナール II (応用)	3		2	60	ー	ー	ー	○	○	
診療情報管理 I (法令・諸規則)	3		2	30				○		
診療情報管理 II (診療情報管理士の実務)	3		2	30				○		
診療情報管理 III (DPC・医師事務作業補助・がん登録)	3		2	30				○		
診療報酬請求演習	3		1	30	ー	ー	ー			
診療報酬請求論 II (中級)	2		2	30					○	
診療報酬請求論 III (上級)	3		2	30						
病院原価計算概論	3		2	30					○	
病院施設管理論	3		2	30	ー	ー	ー	○	○	
病院管理演習 I (基礎)	3		1	30	ー	ー	ー	○	○	
病院管理演習 II (応用)	3		1	30	ー	ー	ー	○	○	
病院実習	3		4	180	ー	ー	ー	○	○	
簿記演習 II (応用)	2 3		2	60	ー	ー	ー			

専門教育科目

専門

○…必修 ●… 選択必修 ▲…指定選択 ―…履修不可

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	コース別必選					備 考	
			必修	選択		社会	精神	介護	診療	マネジメント		
専門 教育科目	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	3 4		4	60	○						
	医療ソーシャルワーク論	3 4		2	30							
	権利擁護を支える法制度	3 4		2	30	○	○					
	貧困に対する支援	3 4		2	30	○						
	刑事司法と福祉	3 4		2	30	○	○					
	社会福祉調査の基礎	3 4		2	30	○	○					
	福祉サービスの組織と経営	3 4		2	30	○						
	メンタルヘルスソーシャルワークの理論と方法	3 4		4	60		○					
	精神保健福祉制度論	3 4		2	30		○					
	精神障害リハビリテーション論	3 4		2	30		○					
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3 4		1	30	○			—	—		
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	3 4		1	30	▲			—	—		
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3 4		4	180	▲			—	—		
	保健医療と福祉	3 4		2	30	○						
	マーケティング論	3 4		2	30					○		
	マネジメント論	3 4		2	30					○		
	経営分析論	3 4		2	30					○		
	財務管理論	3 4		2	30							
	国際統計分類Ⅰ(国際疾病分類)	3		2	30				○			
	国際統計分類Ⅱ(分類コードの実際)	3		2	30				○			
	国際統計分類Ⅰ 特別講義(基礎)	3		2	30							
	国際統計分類Ⅱ 特別講義(応用)	3		2	30							
	診療情報管理演習Ⅰ(基礎)	3 4		1	30	—	—	—				
	診療情報管理演習Ⅱ(専門)	3 4		1	30	—	—	—				
	診療情報管理演習Ⅲ(分類法)	3 4		1	30	—	—	—				
	医療ソーシャルワーク実習指導	4		2	60				—	—		
	医療ソーシャルワーク実習	4		4	180				—	—		
	医療福祉実習指導	4		1	30				—	—		
	医療福祉実習	4		2	90				—	—		
	介護福祉特別講義Ⅰ	4		2	30				—	—		
	介護福祉特別講義Ⅱ	4		2	30				—	—		
	介護福祉特別講義Ⅲ	4		2	30				—	—		
	社会福祉特別講義Ⅰ(人と社会)	4		2	30				—	—		
	社会福祉特別講義Ⅱ(相談援助)	4		2	30				—	—		
	社会福祉特別講義Ⅲ(地域福祉)	4		2	30				—	—		
	社会福祉特別講義Ⅳ(福祉とサービスの知識)	4		2	30				—	—		
	社会福祉特別講義Ⅴ(関連サービスの知識)	4		2	30				—	—		
	メンタルヘルスソーシャルワーク演習	4		3	90		▲		—	—		
	メンタルヘルスソーシャルワーク実習指導	4		3	90		▲					
	メンタルヘルスソーシャルワーク実習 A	4		4	180		▲		—	—	SW 実習ⅠⅡの履修者は	
	メンタルヘルスソーシャルワーク実習 B	4		5	225		▲		—	—	A, それ以外はBを選択	
	精神保健福祉特別講義Ⅰ(基礎)	4		2	30				—	—		
精神保健福祉特別講義Ⅱ(応用)	4		2	30				—	—			
医療マネジメント特別講義Ⅰ(基礎)	4		1	30	—	—	—					
医療マネジメント特別講義Ⅱ(応用)	4		1	30	—	—	—					
卒業研究	4		4	180				○	○			

医療福祉・マネジメント学科DP-教育目標カリキュラムマップ【2024(令和6)年度以降入学生版】

		ディプロマ・ポリシー(DP)						
		[DP1]	[DP2]	[DP3]	[DP4]	[DP5]	[DP6]	[DP7]
		医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を担う者として、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、「共に生きる社会」を実現するための社会的責任観、倫理観を身につけている。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を担う者として必要な医学、社会福祉学、経営学等の基礎知識を身につけている。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を担う者として、科学的知識に基づいた技術を専門知識と技術を用いた適切な支援や業務の遂行を行うことができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を担う者として、科学的知識に基づいた技術を用い、その技術を用いた適切な支援や業務の遂行を行うことができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を担う者として、自職種と他職種を理解し、多職種連携による効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を担う者として、身につけた知識や技術を統合的に用い、様々な状況に応じた効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を担う者として、生涯学習の重要性を知り、よりよい支援や業務を遂行するために、新しい知識の追求や技術の研鑽に努める意欲や能力を培う。
1 年 次	[SBOs1/CP1] ① 社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な基礎的教養や知識を修得する	[DP1/SBOs1/CP1] 生きがい論(介) 英語講義1・2、英語CALL1・2 文学論、演劇論、哲学、雑談と傾聴 歴史学、倫理学、宗教学、日本近現代史、文化人類学、教育学、教育方法論、死生学、法学、日本国憲法、法と道徳・倫理、日本政治経済論、マスメディア論、福祉経済学、アジア諸国の経済・社会・文化世界の経済、国際医療福祉論、組織運営管理論、海外保健福祉事情、地球環境論、ボランティア論、ボランティアコーディネート論、手話入門、経済の仕組み、経済の歴史、医学/医療史、人間工学 郷土論～栃木学～、医療福祉教養講義、メディカルマナー入門、総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う、総合講義(現代社会をどう見るか) 食と人間、人間と性、持続可能な発展、読書ゼミナール、現代医療福祉事情、ボランティア実践 【総合教育科目(外国語系)】 健康科学理論、健康科学実践 レクリエーション指導法	[DP2/SBOs1/CP1] 臨床医学総論(診)(マ) 医療管理総論(診)(マ) 臨床医学各論A・B(診) 医学・医療用語(診) 経営学(マ) 簿記論I(マ) 我が国の社会福祉・医療保障政策の知識 データリテラシー 疫学・保健医療統計学、数学 物理学、化学 社会福祉学 保健医療福祉制度論 医療管理学 微生物と病気 ケアマネジメント論 ケースワーク論 臨床心理学概論 公衆衛生学	[DP3/SBOs1/CP1]	[DP4/SBOs1/CP1] 簿記演習I	[DP5/SBOs1/CP1] リハビリテーション概論 福祉支援工学概論 看護論	[DP6/SBOs1/CP1]	[DP7/SBOs1/CP1]
	[SBOs1/CP2] ② 基礎的な知識を応用して、具体的な課題を解決する方法を考えることができる	[DP1/SBOs1/CP2] 入門ゼミ	[DP2/SBOs1/CP2] 医療データサイエンスI(DS基礎) 医療データサイエンスII(AI基礎)	[DP3/SBOs1/CP2]	[DP4/SBOs1/CP2]	[DP5/SBOs1/CP2]	[DP6/SBOs1/CP2]	[DP7/SBOs1/CP2]
	[SBOs1/CP3] ③ 社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な論理的思考、コミュニケーション能力を修得する	[DP1/SBOs1/CP3]	[DP2/SBOs1/CP3]	[DP3/SBOs1/CP3]	[DP4/SBOs1/CP3] 生活支援技術I(介) ソーシャルワーク演習I(社)(精)(介) 診療情報・マネジメント基礎演習(診)(マ)	[DP5/SBOs1/CP3]	[DP6/SBOs1/CP3]	[DP7/SBOs1/CP3]
	[SBOs1/CP4] ④ 社会福祉および医療経営管理の専門職を志す学生として、高い倫理観と責任感、豊かな人間性を自ら主体的に学ぶことができる	[DP1/SBOs1/CP4] 大学入門講座-医療人・社会人として成長するために- 医療必修-医療の倫理とプロ意識、医療情報- 【介護福祉コース選択必修科目】 人間学	[DP2/SBOs1/CP4] 心理学(介) コンピュータの基礎 医療概論(診)(マ) 【介護福祉コース選択必修科目】 【介護福祉コース選択必修科目】 統計学、生物学	[DP3/SBOs1/CP4] ここからだのしきみI(介)(診)(マ) ここからだのしきみII(介) 介護の基本I(介) 社会福祉の原理と政策(社)(精)(介) ソーシャルワークの基礎と専門職I(社)(精) ソーシャルワークの基礎と専門職II(社) 医学概論(社)(精) 社会学(社)(精)(介)	[DP4/SBOs1/CP4]	[DP5/SBOs1/CP4]	[DP6/SBOs1/CP4]	[DP7/SBOs1/CP4]
2 年 次	[SBOs2/CP1] ① 社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な基礎的な専門知識・技術を修得する	[DP1/SBOs2/CP1] 英語講義3・4、英語会話3・4	[DP2/SBOs2/CP1] 医療福祉関連法規(マ) 医療管理各論I・II・III(診) 保健医療情報学(診) 医療統計I・II(診) 臨床医学各論C・D(診) 診療報酬請求論I・II(マ) 医療福祉管理会計論(マ) 医療福祉財務会計論(マ) 会計学(マ) 実学概論 簿記論II・III 救急医学 カウンセリング論	[DP3/SBOs2/CP1] 障害の理解(介) 認知症の理解(介) 発達と老化の理解(介) 人間関係とチームケア(介) ここからだのしきみIII(介) 介護の基本II(介) 介護過程I(介) ソーシャルワークの理論と方法I(社)(精) 社会保険(社)(精) 地域福祉と包括的支援体制(社)(精) 高齢者福祉(社) 児童・家庭福祉(社) 障害者福祉(社)(精) 心理学と心理的支援(社)(精) 精神医学と精神医療(精) 現代の精神保健の課題と支援(精) 精神保健福祉の原理(精) 高齢者援助論 子ども家庭援助論 障害者援助論	[DP4/SBOs2/CP1] 医療情報統計演習 経営学演習 簿記演習II	[DP5/SBOs2/CP1] 電子カルテシステム入門	[DP6/SBOs2/CP1]	[DP7/SBOs2/CP1]
	[SBOs2/CP2] ② 基礎的な専門知識・技術を応用して、具体的な課題を解決する基礎的な技術と能力を修得する	[DP1/SBOs2/CP2]	[DP2/SBOs2/CP2]	[DP3/SBOs2/CP2]	[DP4/SBOs2/CP2] コミュニケーション技術(介) 介護総合演習I(介) 生活支援技術II(介) 生活支援技術III(介) 生活支援技術IV(介) 生活支援技術V(介) 医療的ケア論I(介) ソーシャルワーク演習II(社) エビデンスベーストプラクティス(研究と文献) レクリエーション概論	[DP5/SBOs2/CP2]	[DP6/SBOs2/CP2]	[DP7/SBOs2/CP2]
	[SBOs2/CP3] ③ 社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な基礎的な課題分析力・解決力を修得する	[DP1/SBOs2/CP3]	[DP2/SBOs2/CP3]	[DP3/SBOs2/CP3] ゼミナールI(診)(マ)	[DP4/SBOs2/CP3]	[DP5/SBOs2/CP3]	[DP6/SBOs2/CP3] 【社会福祉士資格指定選択科目】 ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習I	[DP7/SBOs2/CP3]
	[SBOs2/CP4] ④ 他の専門分野にも関心を持ち学びの幅を広げるとともに、他者と積極的に関わり協働する姿勢を持つことができる	[DP1/SBOs2/CP4]	[DP2/SBOs2/CP4]	[DP3/SBOs2/CP4]	[DP4/SBOs2/CP4]	[DP5/SBOs2/CP4] 関連職種連携論	[DP6/SBOs2/CP4]	[DP7/SBOs2/CP4]

		ディプロマ・ポリシー (DP)						
		(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	(DP5)	(DP6)	(DP7)
		医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、「共に生きる社会」を実現するための社会的責任観、倫理観を身につけている。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として必要な医学、社会福祉学、経営学等の基礎知識を身につけている。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、対人支援と業務の遂行に係る専門知識と技術を養い、様々な人との適切な人間関係を構築することができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、科学的知識に基づいた技術を身につけ、その技術を用いた適切な支援や業務の遂行を行うことができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、自職種と他職種を理解し、多職種連携による効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、身につけた知識や技術を統合的に用い、様々な状況に応じた効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、生涯学習の重要性を知り、よりよい支援や業務を遂行するために、新しい知識の追求や技術の研鑽に努める意欲や能力を培う。
3 年 次	【SBOs3/CP1】 ① 社会福祉および医療経営管理の従事者の専門的知識・技術の実践的な活用方法を修得する	【DP1/SBOs3/CP1】	【DP2/SBOs3/CP1】 経営戦略論(マ) 人事労務管理論(マ) 診療情報管理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(診) 国際統計分類Ⅰ・Ⅱ(診) 病院原価計算概論(マ) マーケティング論(マ) マネジメント論(マ) 経営分析論(マ) 財務管理論 リスクマネジメント論 診療報酬請求論Ⅲ	【DP3/SBOs3/CP1】 介護の基本Ⅲ(介) 介護過程Ⅱ(介) 介護過程Ⅲ(介) ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ(社) 貧困に対する支援(社) 権利擁護を支える法制度(社)(精) 福祉サービスの組織と経営(社) 保健医療と福祉(社) 刑事司法と福祉(社)(精) 社会福祉調査の基礎(社)(精) メンタルヘルスソーシャルワークの理論と方法(精) 精神保健福祉制度論(精) 精神障害リハビリテーション論(精) 医療ソーシャルワーク論	【DP4/SBOs3/CP1】 診療報酬請求演習 国際統計分類Ⅰ特別講義 国際統計分類Ⅱ特別講義 診療情報管理演習Ⅰ 診療情報管理演習Ⅱ 診療情報管理演習Ⅲ	【DP5/SBOs3/CP1】	【DP6/SBOs3/CP1】	【DP7/SBOs3/CP1】
	【SBOs3/CP2】 ② 専門知識・技術を応用して、具体的な課題を解決する実践的な技術と能力を修得する	【DP1/SBOs3/CP2】	【DP2/SBOs3/CP2】	【DP3/SBOs3/CP2】	【DP4/SBOs3/CP2】 生活支援技術Ⅵ(介) 介護総合演習Ⅱ(介) 医療的ケアⅡ(介) 医療的ケアⅢ(介) 医療的ケアⅣ(介) ソーシャルワーク演習Ⅲ(社) 【社会福祉士資格指定選択科目】 ソーシャルワーク演習Ⅳ	【DP5/SBOs3/CP2】	【DP6/SBOs3/CP2】 病院施設管理論(診)(マ)	【DP7/SBOs3/CP2】
	【SBOs3/CP3】 ③ 社会福祉および医療経営管理の専門知識・技術を用い、多職種と連携して具体的な解決策を検討できる	【DP1/SBOs3/CP3】	【DP2/SBOs3/CP3】	【DP3/SBOs3/CP3】	【DP4/SBOs3/CP3】 ゼミナールⅡ(診)(マ)	【DP5/SBOs3/CP3】	【DP6/SBOs3/CP3】 介護実習Ⅱ(介) 介護実習Ⅲ(介) 病院管理演習Ⅰ(基礎)(診)(マ) 病院管理演習Ⅱ(応用)(診)(マ) 病院実習(診)(マ) 【社会福祉士資格指定選択科目】 ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習Ⅱ	【DP7/SBOs3/CP3】
	【SBOs3/CP4】 ④ 関連職種との連携の中で、リーダーシップを発揮し、自職種の役割や責務を果たすことができる	【DP1/SBOs3/CP4】	【DP2/SBOs3/CP4】	【DP3/SBOs3/CP4】	【DP4/SBOs3/CP4】	【DP5/SBOs3/CP4】 関連職種連携ワーク	【DP6/SBOs3/CP4】	【DP7/SBOs3/CP4】
4 年 次	【SBOs4/CP1】 ① 社会福祉および医療経営管理の従事者としてより高い専門的知識・技術を自ら学び、修得する	【DP1/SBOs4/CP1】	【DP2/SBOs4/CP1】	【DP3/SBOs4/CP1】	【DP4/SBOs4/CP1】 【精神保健福祉士資格指定選択科目】 メンタルヘルスソーシャルワーク演習	【DP5/SBOs4/CP1】	【DP6/SBOs4/CP1】	【DP7/SBOs4/CP1】 介護福祉特別講義Ⅰ 介護福祉特別講義Ⅱ 介護福祉特別講義Ⅲ 社会福祉特別講義Ⅰ 社会福祉特別講義Ⅱ 社会福祉特別講義Ⅲ 社会福祉特別講義Ⅳ 社会福祉特別講義Ⅴ 精神保健福祉特別講義Ⅰ 精神保健福祉特別講義Ⅱ 医療マネジメント特別講義Ⅰ(基礎) 医療マネジメント特別講義Ⅱ(応用)
	【SBOs4/CP2】 ② 専門知識・技術を応用して、課題に応じた具体的な解決策を自ら創造し、実践できる	【DP1/SBOs4/CP2】	【DP2/SBOs4/CP2】	【DP3/SBOs4/CP2】	【DP4/SBOs4/CP2】	【DP5/SBOs4/CP2】	【DP6/SBOs4/CP2】	【DP7/SBOs4/CP2】
	【SBOs4/CP3】 ③ 社会福祉および医療経営管理の専門知識・技術を用い、多職種と連携して具体的な解決策を検討しかつ実践することができる	【DP1/SBOs4/CP3】	【DP2/SBOs4/CP3】	【DP3/SBOs4/CP3】	【DP4/SBOs4/CP3】	【DP5/SBOs4/CP3】 関連職種連携実習	【DP6/SBOs4/CP3】 【精神保健福祉士資格指定選択科目】 メンタルヘルスソーシャルワーク実習指導 メンタルヘルスソーシャルワーク実習A・B 医療福祉実習指導 医療福祉実習 医療ソーシャルワーク実習指導 医療ソーシャルワーク実習	【DP7/SBOs4/CP3】
	【SBOs4/CP4】 ④ 社会福祉および医療経営管理の専門知識・技術を応用し、多様な人々と協働しつつ、創造的な実践を展開することができる	【DP1/SBOs4/CP4】	【DP2/SBOs4/CP4】	【DP3/SBOs4/CP4】	【DP4/SBOs4/CP4】	【DP5/SBOs4/CP4】	【DP6/SBOs4/CP4】	【DP7/SBOs4/CP4】 卒業研究(診)(マ)

医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科 履修系統図【2024(令和6)年度入学生から】

ディプロマ・ポリシー

医療福祉・マネジメント学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1: 医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、「共に生きる社会」を実現するための社会的責任観、倫理観を身につけている。

DP2: 医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として必要な医学、社会福祉学、経営学等の基礎知識を身につけている。

DP3: 医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、対人支援と業務の遂行に係る専門知識と技術を養い、様々な人との適切な人間関係を構築することができる。

DP4: 医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、科学的知識に基づいた技術を身につけ、その技術を用いた適切な支援や業務の遂行を行うことができる。

DP5: 医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、自職種と他職種を理解し、多職種連携による効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。

DP6: 医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、身につけた知識や技術を統合的に使い、様々な状況に応じた効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。

DP7: 医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、生涯学習の重要性を知り、よりよい支援や業務を遂行するために、新しい知識の追求や技術の研鑽に努める意欲や能力を培う。

カリキュラム・ポリシー

医療福祉・マネジメント学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1: 社会福祉学、医療経営管理學および関連諸科学の基礎および専門的知識・技術を体系的に学び、適切かつ効果的な支援および業務のあり方について理解するための科目を設定する。

CP2: 社会福祉学、医療経営管理學および関連諸科学の知識・技術・専門職としての価値観を総合的に活用し、課題に応じた創造的な支援や業務の遂行を行うことのできる能力を養うための科目を設定する。

CP3: 社会福祉学、医療経営管理學および関連諸科学の知識・技術を用いて、総合的な医療福祉の支援を多職種と連携して行うことのできるコミュニケーション能力や応用力を養うための科目を設定する。

CP4: 社会福祉および医療経営管理の専門従事者として高い倫理観と向上心を持ち、多様な人々と協働する力、主体的に問題を解決する力、社会的責任感を養うための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

分野・領域	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文科学系	心理学(介) コミュニケーション(介) 生きたい論(介)	医療必修-医療の倫理とプロ意識- 人間学(介) 統計学(介)						
社会科学系	社会福祉学 保健医療福祉制度論 医療管理学 社会学(介・社・精)	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識 国際関係論(介)						
自然科学系	生物学(介)	微生物と病気						
情報科学系	データリテラシー	コンピュータの基礎	医療データサイエンスⅠ(DS基礎)	医療データサイエンスⅡ(AI基礎)				
医学系	リハビリテーション概論 福祉支援工学概論 ケアマネジメント論 ケースワーク論 臨床心理学概論	看護論	救急医学	関連職種連携論	リスクマネジメント論 関連職種連携ワーク		関連職種連携実習	
外国語系	英語講義1(Primary) 英語CALL1(Primary)	英語講義2(Basic) 英語CALL2(Basic)						
その他	大学入門講座-進路人・社会人として成長するためのレクリエーション指導法	レクリエーション指導法		エビデンスベースプラクティス(研究と文献) レクリエーション概論				
共通領域	入門ゼミ	ソーシャルワーク演習Ⅰ 診療情報・マネジメント基礎演習					卒業研究 卒業研究	卒業研究 卒業研究
介護福祉領域	こことからのしくみⅠ 介護の基本Ⅰ	こことからのしくみⅡ 介護の基本Ⅰ 生活支援技術Ⅰ	こことからのしくみⅢ 介護の基本Ⅱ 生活支援技術Ⅱ 生活支援技術Ⅲ 生活支援技術Ⅳ	こことからのしくみⅣ 介護の基本Ⅲ 生活支援技術Ⅴ 介護過程Ⅰ	介護の基本Ⅲ 介護過程Ⅱ 医療的ケア論Ⅱ 医療的ケア論Ⅲ	介護の基本Ⅲ 生活支援技術Ⅵ 介護過程Ⅱ 介護過程Ⅲ 医療的ケア論Ⅳ	介護福祉特別講義Ⅰ	介護福祉特別講義Ⅱ 介護福祉特別講義Ⅲ
社会福祉・精神保健福祉領域	社会福祉の原理と政策 ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅰ	社会福祉の原理と政策 ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅱ	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習Ⅰ	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習Ⅱ	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習Ⅲ 刑事司法と福祉	医療福祉実習指導 医療福祉実習	医療福祉実習 医療福祉実習
経営領域	こことからのしくみⅠ(再掲) 臨床医学総論	医療概論 臨床医学各論A 臨床医学各論B 医学・医療用語	ゼミナールⅠ 臨床医学各論C 臨床医学各論D 薬学概論	ゼミナールⅠ 臨床医学各論C 臨床医学各論D 薬学概論	ゼミナールⅡ 国際統計分類Ⅰ 国際統計分類Ⅱ 国際統計分類Ⅰ特別講義 国際統計分類Ⅱ特別講義	ゼミナールⅡ 診療情報管理演習Ⅰ 診療情報管理演習Ⅲ	卒業研究(再掲) 医療マネジメント特別講義Ⅰ	卒業研究(再掲) 医療マネジメント特別講義Ⅱ

■ : 必修科目
□ : 選択科目

8. 学部・学科ポリシー／卒業要件／履修科目一覧

薬学部

8-8 薬学科

8-8 薬学部 薬学科

8-8-1 教育研究上の目的

薬学部の教育研究上の目的

薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担いうる应用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

薬学部薬学科の教育研究上の目的

薬学科は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、「くすり」に対する専門的な知識と、臨床現場で発揮される高い能力、技術を備え、調剤した「くすり」の適切な説明や薬物療法について、的確なアドバイスができる薬剤師の育成を目的とする。

8-8-2 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、薬剤師として、豊かな心、コミュニケーション能力、新しい知識の追求に向けた関心や意欲を持ち、日々進化する薬物療法における高度化・専門化及び国際化に対応し、学びを深めるための科学的根拠に基づく論理的な思考力を身につけることが期待できる人

2. 薬学科の入学者に求める要件

1) 知識・技能

高等学校等で学んだ教科に相応した基礎知識と、化学等の理数系科目の修得を通して身につけた科学的な思考力・理解力、また、語学系科目（英語）の修得を通して身につけた読解力を有していること。

2) 思考力・判断力・表現力

薬剤師に必要な新しい知識を学ぶ意欲及び主体的な目標設定をもとに努力を継続する力、自ら思考し、判断したことを適切に表現する力を有していること。

3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、薬剤師として「共に生きる社会」の実現に寄与する意志を持つ人、他者と協調的に連携を図り、地域とのつながりを大切に考え、薬学の発展に貢献したいという強い意欲をもとに自他ともに研鑽しあう意志を持つ人であること。

8-8-3 ディプロマ・ポリシー

薬学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：薬学に関する基礎および専門的な知識・技能をバランスよく有している。

DP2：問題の発見から解決までの一連のプロセスの中で、必要な情報を収集し、科学的根拠に基づき論理的に考え行動できる。

DP3：医療人を目指す者として、人間理解、国際的感覚を養い、相手に寄り添ったコミュニケーションを実施できる。

DP4：薬剤師を目指す者として、使命感・倫理観・責任感を養い、他職種との連携を通して薬剤師の役割を理解、実践できる。

DP5：保健・医療・福祉について、日本にとどまらず世界の情勢を広く理解し、地域に貢献する姿勢と実践能力を有している。

DP6：医療の担い手を目指す者として、幅広い教養と豊かな人間性を育み、生涯にわたって自他ともに研鑽しあえる姿勢および意欲を有している。

DP7：生命科学的知識および研究マインドを基に、薬物療法を実践する能力を有している。

8-8-4 カリキュラム・ポリシー

薬学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1 :

- a.薬学の専門家として必要な知識・技能を修得するために、講義、演習、実習を相互に関連付けて科目を配置する。
- b.薬物治療の実践的能力を高めるために、知識・技能を統合した能動的学修を実施する。

CP2 :

- a.問題発見から解決する能力および科学的根拠に基づいた論理的思考力を養うために、問題解決型学修（PBL）をはじめとする能動的学修を講義、演習、実習で実施する。また、参加型実践的科目として卒業研究を配置する。
- b.薬剤師として臨床での総合的実践能力を身につけるために、参加体験型学修である実務実習を行う。

CP3 :

- a.医療人としてのコミュニケーション能力を養成するために、ロールプレイを含む参加型実習を行う。
- b.薬剤師の役割を理解するために、他職種との連携教育を実施する。

CP4 :

- a.薬剤師としての使命感・倫理観・責任感および豊かな人間性を涵養するために、スモールグループディスカッション（SGD）等を含めた講義、演習、体験実習を配置する。
- b.国際的な感覚を養うために、世界の保健福祉事情に触れ、語学能力を高める機会を設ける。
- c.生涯にわたり自ら研鑽できる医療の担い手になるために、ポートフォリオを用いた形式的自己評価の機会を設ける。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

8-8-5 教育目標

<1 年次>

- ・薬学で必要となる基礎科目（化学系・物理系・生物系）の知識・技能を修得するとともに、問題発見から解決のプロセスに関する知識を修得する。（CP1a, CP2a）
- ・社会人・医療人としてのコミュニケーションに関する知識を修得する。（CP3a）
- ・薬剤師を含む医療職の職能を理解するとともに、薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養う。（CP3b, CP4a）
- ・総合教育科目（人間系、社会系、自然・情報系、総合系）を通して幅広い教養を身につけ、豊かな人間性を育む。（CP4a）
- ・外国語を学修するとともに、海外の保健福祉事情に触れる。（CP4b）

<2 年次>

- ・基礎薬学科目の知識・技能を広く修得するとともに、衛生薬学・医療薬学科目の知識・技能を修得する。（CP1a）
- ・与えられた課題に関するデータを能動的に収集・分析・考察する能力を修得する。（CP2a）
- ・コミュニケーション実習を通してコミュニケーションスキルの基礎を修得する。（CP3a）
- ・多職種の中での薬剤師の役割を理解する。（CP3b）
- ・語学能力を高め、医療英語を修得する。（CP4b）

<3 年次>

- ・衛生薬学・医療薬学科目の知識・技能を広く修得する。（CP1a）
- ・与えられた課題に関するデータを能動的に収集・分析・考察する能力を修得する。（CP2a）
- ・医療コミュニケーションを修得するとともに、多職種の中での薬剤師の役割を実践することで専門領域を超えて問題を探究する姿勢を身につけ、薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養う。（CP3a, CP3b, CP4a）
- ・組換えDNA・動物実験教育訓練を通して実習および卒業研究で必要となる研究倫理を理解する。（CP4a）
- ・海外の保健福祉事情を知る。（CP4b）

<4 年次>

- ・基礎薬学、衛生薬学、医療薬学を関連付けて修得する。（CP1a）
- ・4年次までに修得した知識、技能を活用し、薬物治療を適切に評価する。（CP1b）
- ・自ら問題を発見し、解決に必要なデータを能動的に収集・分析・考察する能力を修得する。（CP2a）
- ・医療コミュニケーションを修得するとともに、多職種の中での薬剤師の役割を実践することで専門領域を超えて問題を探究する姿勢を身につけ、薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養う。（CP3a）
- ・研究倫理講習を通して卒業研究で必要となる研究倫理への理解を深める。（CP4a）

<5 年次>

- ・実務実習（病院・薬局）を通して薬剤師（実習生）として使命感・倫理観・責任感をもって行動するとともに、臨床で必要となる実践的能力を身につける。（CP1b, CP2b, CP4a）
- ・科学的根拠に基づいて課題を発見したり、問題点を解決する能力を修得する。（CP2a）
- ・英語による医療コミュニケーションを実践する。（CP3a, CP4b）

<6 年次>

- ・薬学に関する全ての知識を統合し、患者に対する適切な薬物治療を選択・実践できる応用力を修得する。（CP1a, CP1b）
- ・科学的根拠に基づいて課題を発見したり、問題点を解決する能力を修得する。（CP2a）
- ・卒業研究発表および実務実習報告会などを通して取り組んだ問題、課題などを薬学的知見および科学的根拠に基づいてまとめ、プレゼンテーションする能力を修得する。（CP2a）
- ・学内での講義・演習・実習および実務実習（病院・薬局）で養った薬剤師としての倫理観・責任感・使命感を総合的に身につける。（CP4a）

8-8-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-8-9 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【薬学科 2024（令和6）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数	
		必修	選択
総合教育科目	人間系	4単位	総合教育科目から3単位以上 (外国語系から3単位以上または5単位以上) ※1
	社会系	3単位	
	自然・情報系	8単位	
	総合系	1単位	
	外国語系	4単位 (5単位) ※1	
	保健体育系		
	小計	20単位 (21単位) ※1	3単位以上 (3単位以上または5単位以上) ※1
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	5単位
		学科専門基礎	12単位
		小計	17単位
	専門科目	142単位	
	小計	159単位	9単位以上 (8単位以上) ※1
合計		179単位 (180単位) ※1	12単位以上 (11単位以上または13単位以上) ※1
総計		191単位以上 (191単位以上または193単位以上) ※1	

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

履修すべきすべての必修科目 179 単位（留学生は 180 単位）を修得していること。必修科目と選択科目の総単位数が 191 単位以上（留学生は 191 単位以上または 193 単位以上）である場合には卒業できる。

8-8-7 進級条件

【進級条件（留学生以外）】

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

- ① 1 学年必修科目(34単位)のうち、すべての実習科目(2単位)を含む28単位以上修得していること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

- ① 1 学年必修科目(34単位)のすべてを修得していること。
- ② 2 学年必修科目(43単位)のうち、すべての実習科目(4単位)を含む37単位以上修得していること。
- ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。

(3) 3 学年から 4 学年への進級条件

- ① 2 学年までの必修科目(77単位)のすべてを修得していること。
- ② 3 学年必修科目(40単位)のうち、すべての実習科目(4単位)を含む34単位以上修得していること。
- ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。

(4) 4 学年から 5 学年への進級条件

- ① 3 学年までの必修科目(117単位)のすべてを修得していること。
- ② 4 学年必修科目27単位のうち、「臨床薬学Ⅳ(チーム医療・地域医療の実践その前に)を除く26単位のすべてを修得していること。
- ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。

進級した場合：

前年次の不合格必修科目については、受講し、定期試験を受け、単位を修得すること。

留年した場合：

- ① 合格した科目の単位は認められる。
- ② 不合格の必修科目は再履修しなければならない。
- ③ 不合格になった選択科目は、新たに希望して選択するものとする。
- ④ 在学年限について：同一学年における在学年数を 2 年以内とする(休学期間を除く)。但し、5、6 学年は通算で 4 年間在籍できる。

【留学生の進級条件】

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

- ① 1 学年で履修できる外国語系科目を除く必修科目32単位と日本語科目2単位（必修/選択を問わない）を合わせた34単位のうち、すべての実習科目（2単位）を含む28単位以上の必修科目を修得していること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

- ① 1 学年で履修できる必修科目のうち34単位を修得していること。
※2学年終了時までには日本語必修科目2単位の修得が必要である。
- ② 2 学年で履修できる必修科目43単位（日本語必修科目2単位含む）のうち、すべての実習科目（4単位）を含む37単位以上修得していること。
- ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。

(3) 3 学年から 4 学年への進級条件

- ① 2 学年までに履修できる必修科目77単位を修得していること。
※3学年終了時までには日本語必修科目4単位の修得が必要である。
- ② 3 学年で履修できる必修科目40単位のうち、すべての実習科目（4単位）を含む34単位以上修得していること。
- ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。

(4) 4 学年から 5 学年への進級条件

- ① 3 学年までに履修できる必修科目117単位を修得していること。
- ② 4 学年必修科目27単位のうち、「臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）を除く26単位のすべてを修得していること。
- ③ 4 学年終了時までには日本語必修科目5単位すべてを修得していること。
- ④ 以上、①②③のすべての条件を満たしていること。

進級した場合：

前年次の不合格必修科目については、受講し、定期試験を受け、単位を修得すること。

留年した場合：

- ① 合格した科目の単位は認められる。
- ② 不合格の必修科目は再履修しなければならない。
- ③ 不合格になった選択科目は、新たに希望して選択するものとする。
- ④ 在学年限について：同一学年における在学年数を2年以内とする（休学期間を除く）。但し、5、6学年は通算で4年間在籍できる。

8-8-8 科目履修条件

(1) 5、6 学年において実務実習を履修するための条件

- ① 共用試験（CBT、OSCE）に合格すること。
- ② 実務実習生にふさわしい知識・技能・態度のバランスがとれていること。

☑ CHECK ☑

共用試験（CBT、OSCE）

- CBT : Computer Based Testing
- OSCE : Objective Structured Clinical Examination

共用試験（CBT、OSCE）は、5、6 年次に実施される実務実習を履修するための条件となる。

- 共用試験の中のCBTは知識を問う試験で、コンピュータを活用した多肢選択式試験となっています。薬学教育モデル・コアカリキュラムの範囲から多くの問題が備蓄されており、無作為に出題される310問を6時間で解きます。
- 共用試験の中のOSCEは参加型実務実習（病院・保険薬局）を行うにあたって、必要とされる態度・技能（臨床能力）がためされる実技試験であり、6種類のステーションの中にそれぞれ、課題が含まれています。

(2) 日本語科目の履修条件（留学生のみ）

- 1 学年： 日本語プレイスメントテストの結果により、レベルに合った科目を 2 科目以上履修すること
- 2 学年： 日本語必修科目を 2 科目以上履修すること
2 学年終了時までには日本語必修科目を 2 単位以上修得していること
- 3 学年： 3 学年終了時までには日本語必修科目を 4 単位以上修得していること
- 4 学年： 4 学年終了時までには日本語必修科目 5 科目をすべて修得すること

8-8-9 授業科目一覧（総合教育科目：薬学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
人間系	文学論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	演劇論	1 2 3 4 5 6		1	15	
	心理学	1		2	30	
	哲学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	コミュニケーション概論	1		2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4 5 6		2	30	
	人間学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	歴史学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	倫理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	宗教学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4 5 6		2	30	
	文化人類学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	教育学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	教育方法論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4 5 6		2	30	
生きがい論	1 2 3 4 5 6		2	30		
社会系	法学	1		2	30	
	日本国憲法	1 2 3 4 5 6		2	30	
	法と道徳・倫理	1 2 3 4 5 6		2	30	
	社会学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	日本政治経済論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	マスメディア論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	福祉経済学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4 5 6		2	30	
	国際関係論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	世界の経済	1 2 3 4 5 6		2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	組織運営管理論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	海外保健福祉事情	1 2 3 4 5 6		2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	4		1	30	
	地球環境論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	ボランティア論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	ボランティアコーディネート論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	手話入門	1 2 3 4 5 6		2	30	
経済の仕組み	1 2 3 4 5 6		2	30		
経済の歴史	1 2 3 4 5 6		2	30		
自然・情報系	統計学	1		2	30	必修科目として別にあるため選択しないこと
	疫学・保健医療統計学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	数学	1		2	30	
	物理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	化学	1		2	30	
	生物学	1		2	30	
	コンピュータの基礎	1 2 3 4 5 6		2	30	
	データリテラシー	1		1	30	
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4 5 6		1	30	
	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4 5 6		1	30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1		1	30	
	医学/医療史	1 2 3 4 5 6		2	30	
	人間工学	1 2 3 4 5 6		2	30	
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1	30	
	郷土論～栃木学～	1 2 3 4 5 6		1	15	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4 5 6		1	15	
	メディカルマナー入門	1 2 3 4 5 6		2	30	
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1 2 3 4 5 6		1	15	
	総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4 5 6		1	15	
	食と人間	1 2 3 4 5 6		1	15	
	人間と性	1 2 3 4 5 6		1	15	
	持続可能な発展	1 2 3 4 5 6		2	30	
	読書ゼミナール	1 2 3 4 5 6		1	15	
	現代医療福祉事情	1 2 3 4 5 6		1	15	
ボランティア実践	1 2 3 4 5 6		1	15		

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考		
			必修	選択				
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1		1	30		
		英語講読 2 (Basic)	2		1	30		
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1	30		
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1	30		
		英語 CALL1 (Primary)	1		1	30		
		英語 CALL2 (Basic)	2		1	30		
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1	30		
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1	30		
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		フランス語入門	1 2 3 4 5 6		1	30		
		フランス語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30		
		ドイツ語入門	1 2 3 4 5 6		1	30		
		ドイツ語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30		
		スペイン語入門	1 2 3 4 5 6		1	30		
		スペイン語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30		
		中国語入門	1 2 3 4 5 6		1	30		
		中国語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30		
		韓国語入門	1 2 3 4 5 6		1	30		
		韓国語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30		
		韓国語応用	1 2 3 4 5 6		1	30		
		韓国語発展	1 2 3 4 5 6		1	30		
		保健	健康科学理論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		体育系	健康科学実践	1 2 3 4 5 6		1	30	

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する
「8-9-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

8-8-9 授業科目一覧（専門教育科目：薬学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	3		2	30	必修科目として別にあるため選択しないこと
	救急医学	3 4		1	15	
	微生物と病気	1 2 3 4 5 6		2	30	
	リハビリテーション概論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	関連職種連携論	2	2		30	
	看護論	1		2	30	
	ケアマネジメント論	2 3 4 5 6		1	15	
	ケースワーク論	1 2 3 4 5 6		1	15	
	医療管理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	社会福祉学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	臨床心理学概論	1		2	30	
	福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1		30	
	関連職種連携実習	5		1	45	
	リスクマネジメント論	3 4 5 6		2	30	
	電子カルテシステム入門	2 3 4 5 6		1	15	
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4 5 6		1	15	
	レクリエーション概論	2 3 4 5 6		1	15	
	専門基礎	医療関連法規Ⅰ（医薬品全般に関わる法律）	3	1		15
医療関連法規Ⅱ（医薬品開発と薬害に関する法律の理解）		4	1		15	
薬学演習Ⅰ（物理・化学・生物：基礎）		2	1		30	
薬学演習Ⅱ（物理・化学・生物：応用）		3	1		30	
薬学演習Ⅲ（医療倫理・ヒューマニズム）		3	1		30	
病原微生物学		2	2		30	
コミュニケーション実習		2	1		45	
基礎薬学実習		1	1		45	
公衆衛生学Ⅰ（保健統計、疫学、制度）		2	2		30	
公衆衛生学Ⅱ（感染症と予防）		3	1		15	
専門教育科目	薬学概論	1	2		30	
	基礎統計学	1	1		15	
	有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）	1	2		30	
	有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）	2	2		30	
	有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	2	2		30	
	生物有機化学	3	1		15	
	生薬学	2	2		30	
	天然物化学	2	1		15	
	医薬品構造化学Ⅰ（コア構造と作用機構）	4	1		15	
	医薬品構造化学Ⅱ（代表的医薬品の構造と作用）	6	1		15	
	医薬品構造解析演習	2	1		30	
	有機化学演習	1		1	30	
	分析化学Ⅰ（化学平衡と滴定）	1	2		30	
	分析化学Ⅱ（機器分析）	2	2		30	
	分析化学Ⅲ（分離分析と臨床分析）	3	2		30	
	薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）	1	2		30	
	薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）	2	2		30	
	放射化学	2	2		30	
	生化学Ⅰ（生体分子）	1	2		30	
	生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）	2	2		30	
	分子生物学	2	2		30	
	細胞生物学	2	1		15	
	解剖生理学Ⅰ（器官系概論、神経系等）	1	2		30	
	解剖生理学Ⅱ（循環器系、消化器系等）	2	2		30	
	がん薬物療法学	3	2		30	
	ゲノム医療	3	1		15	
	化学療法学	3	2		30	
	免疫学	3	2		30	
	疾病と病態生理学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	2	2		30	
	疾病と病態生理学Ⅱ（循環器系疾患、消化器系疾患等）	2	2		30	
	薬理学Ⅰ（総論）	2	1		15	
	薬理学Ⅱ（末梢神経薬理、中枢神経薬理等）	2	2		30	
	薬理学Ⅲ（免疫・炎症薬理、循環器薬理、消化器薬理等）	3	2		30	
	薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）	3	1		15	
	医薬品安全性学	4	2		30	
	臨床検査医学	4	2		30	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育科目	薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	4	2		30	
	薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	4	2		30	
	薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）	6	1		30	
	物理薬剤学	3	1		15	
	製剤設計とDDS	3	2		30	
	臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3	2		30	
	臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4	2		30	
	臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4	2		30	
	臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4 5	1		15	
	薬物動態学	3	2		30	
	臨床薬物動態学	4	2		30	
	医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3	2		30	
	医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	4	1		15	
	衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2	2		30	
	衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3	2		30	
	環境衛生学	3	2		30	
	日本薬局方Ⅰ（通則、総則、一般試験法）	3	1		15	
	日本薬局方Ⅱ（代表的な医薬品の試験と生産管理）	6	1		15	
	漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2		30	
	漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4		1	15	
	OTC 医薬品概論	3	2		30	
	医療データサイエンス概論	4	1		15	
	医療データサイエンス演習	6	1		30	
	医薬品レギュラトリーサイエンス概論	6	1		15	
	化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2	1		45	
	化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2	1		45	
	物理系薬学実習	2	1		45	
	生物系薬学実習	3	1		45	
	分子生物学実習	3	1		45	
	免疫微生物学実習	3	1		45	
	薬剤学実習	4	1		45	
	フィジカルアセスメント実習	4	1		45	
	衛生系薬学実習	3	1		45	
	早期体験実習	1	1		45	
	医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	4	1		45	
	医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1		45	
	医療系薬学実習Ⅲ（実務実習に必要な基本的技能）	4	1		45	
	実務実習事前演習	4	2		60	
	薬局実務実習	5 6	10		450	
	病院実務実習	5 6	10		450	
総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）	6	1		30		
総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）	6	1		30		
卒業研究	5 6	8		360		
先進臨床薬学実習	6		1	45		

薬学科DP-教育目標カリキュラムマップ【2024(令和6)年度以降入学生版】

- : ヒューマニズム教育
- : 医療倫理教育
- : 語学教育
- : 医療安全教育
- : 問題解決能力醸成教育
- (AL): アクティブラーニングを含む
- 水色文字は選択科目

		ディプロマ・ポリシー (DP)						
		[DP1] 薬学に関する基礎および専門的な知識・技能をバランスよく有している。	[DP2] 問題の発見から解決までの一連のプロセスの中で、必要な情報を収集し、科学的根拠に基づき、論理的に考え、行動できる。	[DP3] 医療人としての人間理解、国際的感覚を養い、相手に寄り添ったコミュニケーションを実施できる。	[DP4] 薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養い、他職種との連携を通して薬剤師の役割を理解、実践できる。	[DP5] 保健・医療・福祉について、日本にとどまらず世界の情勢を広く理解し、地域に貢献する姿勢と実践能力を有している。	[DP6] 医療の担い手として幅広い教養と豊かな人間性を育み、生涯にわたって自他ともに研鑽しあえる姿勢および意欲を有している。	[DP7] 生命科学的知識および研究マインドを基に、薬物療法を実践する能力を有している。
1 年 次	【CP1a, CP2a】 薬学で必要となる基礎科目(化学系・物理系・生物系)の知識・技能を修得するとともに、問題発見から解決のプロセスに関する知識を修得する。	【DP1/CP1a, CP2a】 基礎統計学、数学、分析化学Ⅰ、薬品物理化学Ⅰ、化学、有機化学Ⅰ、有機化学演習(AL)、生物学、生化学Ⅰ、解剖生理学Ⅰ、物理学	【DP2/CP1a, CP2a】 大学入門講座-医療人・社会人として成長するために- ●●●(AL)、データリテラシー、化学、基礎薬学実習(AL)、有機化学演習(AL)	【DP3/CP1a, CP2a】	【DP4/CP1a, CP2a】	【DP5/CP1a, CP2a】	【DP6/CP1a, CP2a】 有機化学演習(AL)	【DP7/CP1a, CP2a】
	【CP3a】 社会人・医療人としてのコミュニケーションに関する知識を修得する。	【DP1/CP3a】	【DP2/CP3a】	【DP3/CP3a】 コミュニケーション概論●●、臨床心理学概論●●、有機化学演習(AL)	【DP4/CP3a】	【DP5/CP3a】	【DP6/CP3a】	【DP7/CP3a】
	【CP3b, CP4a】 薬剤師を含む医療職の職能を理解するとともに、薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養う	【DP1/CP3b, CP4a】	【DP2/CP3b, CP4a】	【DP3/CP3b, CP4a】	【DP4/CP3b, CP4a】 薬学概論●●●(AL)、早期体験実習●●●●(AL)、大学入門講座-医療人・社会人として成長するために- ●●●(AL)、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報●●●●●(AL)	【DP5/CP3b, CP4a】	【DP6/CP3b, CP4a】 微生物と病気、リハビリテーション概論、看護論、ケースワーク論、医療管理学、保健医療福祉制度論、社会福祉学、福祉支援工学概論	【DP7/CP3b, CP4a】
	【CP4a】 総合教育科目(人間系、社会系、自然・情報系、総合系)を通して幅広い教養を身につけ、豊かな人間性を育む。	【DP1/CP4a】	【DP2/CP4a】	【DP3/CP4a】	【DP4/CP4a】	【DP5/CP4a】	【DP6/CP4a】 法学、データリテラシー、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報●●●●●(AL)、心理学●●、文学論、演劇論、哲学、雑談と傾聴~話す力と聴く力~、人間学、歴史学、倫理学●●、宗教学、日本近現代史、文化人類学、教育学、教育方法論、死生学-死を通して生を考える-●●、生きがい論●●、日本国憲法、法と道徳・倫理●●、社会学、日本政治経済論、マスメディア論、福祉経済学、アジア諸国の経済・社会・文化、国際関係論、世界の経済、国際医療福祉論、組織運営管理論、海外保健福祉事情●●、地球環境論、ボランティア論●●、ボランティアコーディネート論、手話入門、経済の仕組み、経済の歴史、疫学・保健医療統計学、コンピュータの基礎、医学/医療史、人間工学、郷土論~栃木学~、医療福祉教養講義、メディカルマナー入門、総合講義~超高齢社会で認知症と向き合う~、総合講義(現代社会をどう見るか)、食と人間●●、人間と性●●、持続可能な発展、読書ゼミナール、現代医療福祉事情、ボランティア実践、健康科学理論、健康科学実践	【DP7/CP4a】
	【CP4b】 外国語を学修するとともに、海外の保健福祉事情に触れる。	【DP1/CP4b】	【DP2/CP4b】	【DP3/CP4b】	【DP4/CP4b】	【DP5/CP4b】 英語講義1●●、英語CALL1●●、英語会話1●●、英語会話2●●、聖書英語1●●、聖書英語2●●、医学英語1●●、医学英語2●●、英語リスニング1●●、英語リスニング2●●、英語ライティング1●●、英語ライティング2●●、英語医療通訳入門1●●、英語医療通訳入門2●●、資格英語1●●、資格英語2●●、基礎英文法1●●、基礎英文法2●●、上級英語会話1●●、上級英語会話2●●、フランス語入門●●、フランス語基礎●●、ドイツ語入門●●、ドイツ語基礎●●、スペイン語入門●●、スペイン語基礎●●、中国語入門●●、中国語基礎●●、韓国語入門●●、韓国語基礎●●、韓国語応用●●、韓国語発展●● 海外保健福祉事情の報告会参加(準正規科目)	【DP6/CP4b】	【DP7/CP4b】
2 年 次	【CP1a】 基礎薬学科目の知識・技能を広く修得するとともに、衛生薬学・医療薬学科目の知識・技能を修得する。	【DP1/CP1a】 分析化学Ⅱ、薬品物理化学Ⅱ、放射化学、生薬学、天然物化学、有機化学Ⅱ、有機化学Ⅲ、医薬品構造解析演習(AL)、物理系薬学実習(AL)、化学系薬学実習Ⅱ(AL)、生化学Ⅱ、分子生物学、細胞生物学、解剖生理学Ⅱ、病原微生物学、疾病と病態生理学Ⅰ、疾病と病態生理学Ⅱ、薬理学Ⅰ、薬理学Ⅱ、衛生化学Ⅰ、公衆衛生学Ⅰ、薬学演習Ⅰ(AL)	【DP2/CP1a】 有機化学Ⅱ、有機化学Ⅲ、物理系薬学実習(AL)、化学系薬学実習Ⅰ(AL)、化学系薬学実習Ⅱ(AL)	【DP3/CP1a】	【DP4/CP1a】	【DP5/CP1a】	【DP6/CP1a】 医療データサイエンスⅠ(DS基礎)、医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	【DP7/CP1a】 薬理学Ⅰ、薬理学Ⅱ
	【CP2a】 与えられた課題に関するデータを能動的に収集・分析・考察する能力を修得する。	【DP1/CP2a】	【DP2/CP2a】 物理系薬学実習(AL)、化学系薬学実習Ⅰ(AL)、化学系薬学実習Ⅱ(AL)、医療データサイエンスⅠ(DS基礎)、医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	【DP3/CP2a】	【DP4/CP2a】	【DP5/CP2a】	【DP6/CP2a】 エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	【DP7/CP2a】
	【CP3a】 コミュニケーション実習を通してコミュニケーションスキルの基礎を修得する。	【DP1/CP3a】	【DP2/CP3a】	【DP3/CP3a】 コミュニケーション実習●●●(AL)	【DP4/CP3a】	【DP5/CP3a】	【DP6/CP3】 コミュニケーション実習●●●(AL)	【DP7/CP3a】
	【CP3b】 多職種の中での薬剤師の役割を理解する。	【DP1/CP3b】	【DP2/CP3b】	【DP3/CP3b】	【DP4/CP3b】 関連職種連携論●●	【DP5/CP3b】	【DP6/CP3b】 関連職種連携論●●、ケアマネジメント論、電子カルテシステム入門、レクリエーション概論	【DP7/CP3b】
	【CP4b】 語学能力を高め、医療英語を修得する。	【DP1/CP4b】	【DP2/CP4b】	【DP3/CP4b】	【DP4/CP4b】	【DP5/CP4b】 英語講義2●●、英語CALL2●●、英語講義3●●、英語講義4●●、英語会話1●●、英語会話2●●、英語会話3●●、英語会話4●●、聖書英語1●●、聖書英語2●●、医学英語1●●、医学英語2●●、英語リスニング1●●、英語リスニング2●●、英語ライティング1●●、英語ライティング2●●、英語医療通訳入門1●●、英語医療通訳入門2●●、資格英語1●●、資格英語2●●、基礎英文法1●●、基礎英文法2●●、上級英語会話1●●、上級英語会話2●●、フランス語入門●●、フランス語基礎●●、ドイツ語入門●●、ドイツ語基礎●●、スペイン語入門●●、スペイン語基礎●●、中国語入門●●、中国語基礎●●、韓国語入門●●、韓国語基礎●●、韓国語応用●●、韓国語発展●●、海外保健福祉事情●●	【DP6/CP4b】 海外保健福祉事情●●	【DP7/CP4b】

各年次の教育目標(到達目標・SBOs)

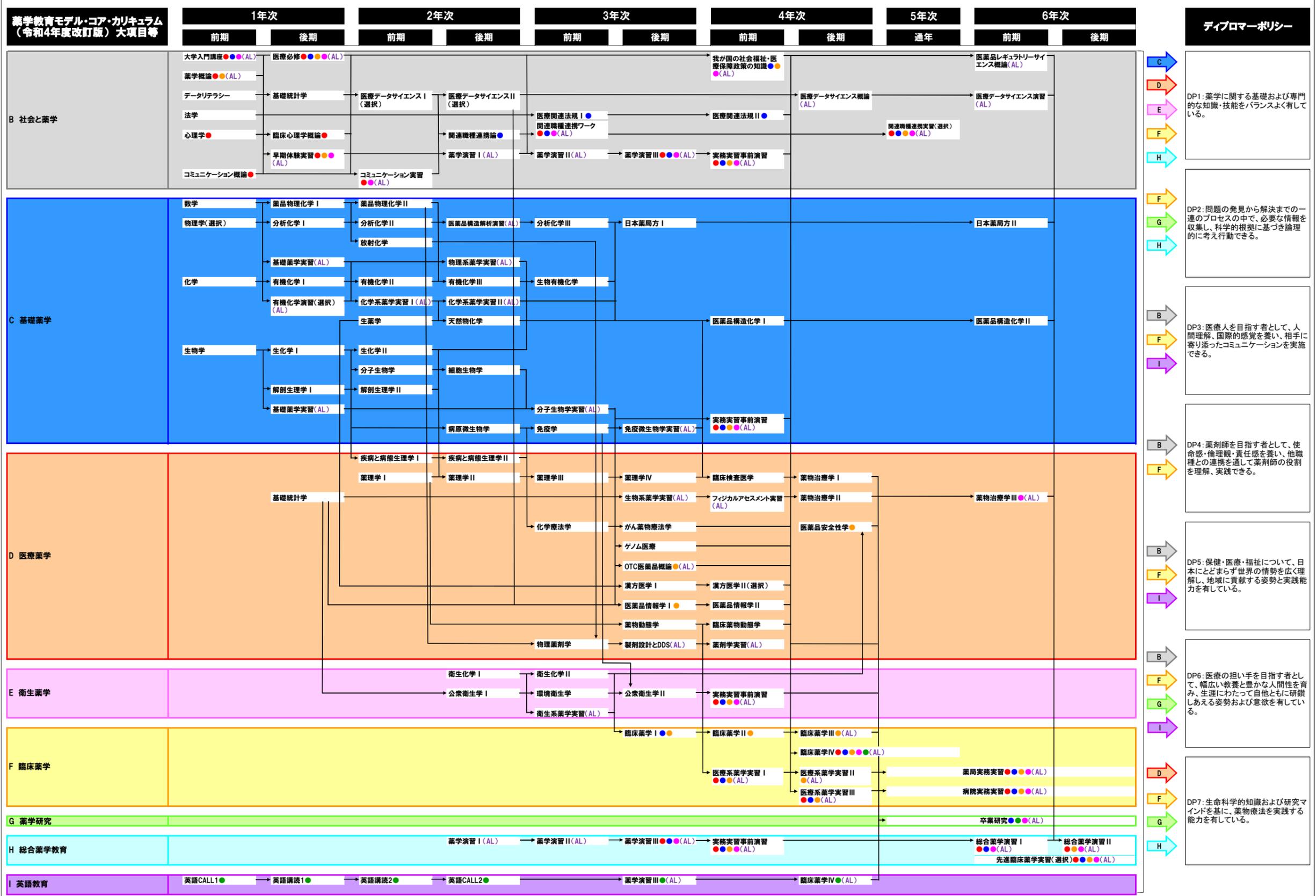
		ディプロマ・ポリシー(DP)							
		[DP1]	[DP2]	[DP3]	[DP4]	[DP5]	[DP6]	[DP7]	
		薬学に関する基礎および専門的な知識・技能をバランスよく有している。	問題の発見から解決までの一連のプロセスの中で、必要な情報を収集し、科学的根拠に基づき、論理的に考え、行動できる。	医療人としての人間理解、国際的感覚を養い、相手に寄り添ったコミュニケーションを実施できる。	薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養い、他職種との連携を通して薬剤師の役割を理解、実践できる。	保健・医療・福祉について、日本にとどまらず世界の情勢を広く理解し、地域に貢献する姿勢と実践能力を有している。	医療の担い手として幅広い教養と豊かな人間性を育み、生涯にわたって自他ともに研鑽しあえる姿勢および意欲を有している。	生命科学的知識および研究マインドを基に、薬物療法を実践する能力を有している。	
3 年 次	[CP1a]	[DP1/CP1a]	[DP2/CP1a]	[DP3/CP1a]	[DP4/CP1a]	[DP5/CP1a]	[DP6/CP1a]	[DP7/CP1a]	
	[CP2a]	[DP1/CP2a]	[DP2/CP2a]	[DP3/CP2a]	[DP4/CP2a]	[DP5/CP2a]	[DP6/CP2a]	[DP7/CP2a]	
	[CP3a, CP3b, CP4a]	[DP1/CP3a, CP3b, CP4a]	[DP2/CP3a, CP3b, CP4a]	[DP3/CP3a, CP3b, CP4a]	[DP4/CP3a, CP3b, CP4a]	[DP5/CP3a, CP3b, CP4a]	[DP6/CP3]	[DP7/CP3a, CP3b, CP4a]	
	[CP4a]	[DP1/CP4a]	[DP2/CP4a]	[DP3/CP4a]	[DP4/CP4a]	[DP5/CP4a]	[DP6/CP4a]	[DP7/CP4a]	
4 年 次	[CP1a]	[DP1/CP1a]	[DP2/CP1a]	[DP3/CP1a]	[DP4/CP1a]	[DP5/CP1a]	[DP6/CP1a]	[DP7/CP1a]	
	[CP1b]	[DP1/CP1b]	[DP2/CP1b]	[DP3/CP1b]	[DP4/CP1b]	[DP5/CP1b]	[DP6/CP1b]	[DP7/CP1b]	
	[CP2a]	[DP1/CP2a]	[DP2/CP2a]	[DP3/CP2a]	[DP4/CP2a]	[DP5/CP2a]	[DP6/CP2a]	[DP7/CP2a]	
	[CP3a]	[DP1/CP3a]	[DP2/CP3a]	[DP3/CP3a]	[DP4/CP3a]	[DP5/CP3a]	[DP6/CP3a]	[DP7/CP3a]	
5 年 次	[CP1b, CP2b, CP4a]	[DP1/CP1b, CP2b, CP4a]	[DP2/CP1b, CP2b, CP4a]	[DP3/CP1b, CP2b, CP4a]	[DP4/CP1b, CP2b, CP4a]	[DP5/CP1b, CP2b, CP4a]	[DP6/CP1b, CP2b, CP4a]	[DP7/CP1b, CP2b, CP4a]	
	[CP2a]	[DP1/CP2a]	[DP2/CP2a]	[DP3/CP2a]	[DP4/CP2a]	[DP5/CP2a]	[DP6/CP2a]	[DP7/CP2a]	
	[CP3a, CP4a]	[DP1/CP3a, CP4a]	[DP2/CP3a, CP4a]	[DP3/CP3a, CP4a]	[DP4/CP3a, CP4a]	[DP5/CP3a, CP4a]	[DP6/CP3a, CP4a]	[DP7/CP3a, CP4a]	
	[CP1a, CP1b]	[DP1/CP1a, CP1b]	[DP2/CP1a, CP1b]	[DP3/CP1a, CP1b]	[DP4/CP1a, CP1b]	[DP5/CP1a, CP1b]	[DP6/CP1a, CP1b]	[DP7/CP1a, CP1b]	
6 年 次	[CP2a]	[DP1/CP2a]	[DP2/CP2a]	[DP3/CP2a]	[DP4/CP2a]	[DP5/CP2a]	[DP6/CP2a]	[DP7/CP2a]	
	[CP2a]	[DP1/CP2a]	[DP2/CP2a]	[DP3/CP2a]	[DP4/CP2a]	[DP5/CP2a]	[DP6/CP2a]	[DP7/CP2a]	
	[CP4a]	[DP1/CP4a]	[DP2/CP4a]	[DP3/CP4a]	[DP4/CP4a]	[DP5/CP4a]	[DP6/CP4a]	[DP7/CP4a]	

薬学部 薬学科 履修系統図【2024(令和6)年度入学生から】

ディプロマポリシー
 薬学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマポリシーを達成した学生に学位を授与する。
 DP1: 薬学に関する基礎および専門的な知識・技能をバランスよく有している。
 DP2: 問題の発見から解決までの一連のプロセスの中で、必要な情報を収集し、科学的根拠に基づき論理的に考え行動できる。
 DP3: 医療人を目指す者として、人間理解、国際的感覚を養い、相手に寄り添ったコミュニケーションを実施できる。
 DP4: 薬剤師を目指す者として、使命感・倫理観・責任感を養い、他職種との連携を通して薬剤師の役割を理解、実践できる。
 DP5: 保健・医療・福祉について、日本にとどまらず世界の情勢を広く理解し、地域に貢献する姿勢と実践能力を有している。
 DP6: 医療の担い手を目指す者として、幅広い教養と豊かな人間性を育み、生涯にわたって自他ともに研鑽しあえる姿勢および意欲を有している。
 DP7: 生命科学的知識および研究マインドを基に、薬物療法を実践する能力を有している。

カリキュラムポリシー
 薬学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。
 CP1: a. 薬学の専門家として必要な知識・技能を修得するために、講義、演習、実習を相互に関連付けて科目を配置する。
 b. 薬物治療の実践的能力を高めるために、知識・技能を統合した能動的学修を実施する。
 CP2: a. 問題発見から解決する能力および科学的根拠に基づいた論理的思考力を養うために、問題解決型学修(PBL)をはじめとする能動的学修を講義、演習、実習で実施する。また、参加型実践的科目として卒業研究を配置する。
 b. 薬剤師として臨床での総合的実践能力を身につけるために、参加体験型学修である実務実習を行う。
 CP3: a. 医療人としてのコミュニケーション能力を養成するために、ロールプレイを含む参加型実習を行う。
 b. 薬剤師としての役割を理解するために、他職種との連携教育を実施する。
 CP4: a. 薬剤師としての使命感・倫理観・責任感および豊かな人間性を涵養するために、スモールグループディスカッション(SGD)等を含めた講義、演習、体験実習を配置する。
 b. 国際的な感覚を養うために、世界の保健福祉事情に触れ、語学能力を高める機会を設ける。
 c. 生涯にわたり自ら研鑽できる医療の担い手になるために、ポートフォリオを用いた形成的自己評価の機会を設ける。
 学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

- : ヒューマンズ教育 (AL): アクティブラーニングを含む
- : 医療倫理教育
- : 語学教育
- : 医療安全教育
- : 問題解決能力醸成教育



8-9 留学生の日本語履修条件

8-9-1 開講科目一覧

科目名	配当年次	科目区分・単位数			「外国人のための日本語能力テスト」による単位認定
		必修	選択	自由	
作文・読解Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		
作文・読解Ⅱ（応用）	1 2 3 4 5 6	1			
作文・読解Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		BJT または EJU の結果により単位認定
文法・語彙Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		
文法・語彙Ⅱ（応用）	1 2 3 4 5 6	1			
文法・語彙Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		JLPT、J. TEST、日本語 NAT-TEST、EJU のいずれかの結果により単位認定
発表・討論Ⅰ（応用）	1 2 3 4 5 6	1			
発表・討論Ⅱ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		BJT の結果により単位認定
医療福祉専門漢字	1 2 3 4 5 6	1			
医療福祉専門語彙	1 2 3 4 5 6	1			
日本語基礎Ⅰ（初級）	1 2			3	
日本語基礎Ⅱ（初級）	1 2			3	

注 1) 学科ごとの進級条件に従って単位修得をすること

注 2) 単位認定の基準は「D.履修ガイド」の「4-2 単位認定制度」を確認すること

BJT＝ビジネス日本語能力テスト（公益財団法人日本漢字能力検定協会 主催）

EJU＝日本留学試験（独立行政法人日本学生支援機構 主催）

JLPT＝日本語能力試験（独立行政法人国際交流基金、公益財団法人国際教育支援協会 主催）

J.TEST＝実用日本語検定（株式会社語文研究社 日本語検定協会・J.TEST 事務局 主催）

日本語 NAT-TEST（株式会社専門教育出版 日本語 NAT-TEST 運営委員会 主催）

8-9-2 日本語科目の区分

必修科目＝必ず履修する科目（留学生全員が卒業要件に必要な単位）

選択科目＝必要に応じて履修する科目（次ページのグループ別に卒業要件単位数が異なる）

自由科目＝必要に応じて履修する科目（卒業要件に含まれない科目、単位取得は可）

8-9-3 日本語科目の履修条件

留学生は、入学時の日本語プレースメントテストの結果に基づき、下記の4グループに分類されます。グループ別に指定された選択科目の履修方法に従い、日本語科目の単位を取得しなければなりません。ただし、自由科目（日本語基礎Ⅰ、日本語基礎Ⅱ）の単位は卒業要件に含まれないので注意してください。

(1) 日本語科目を履修する留学生の全グループ共通の履修条件

必修とされている日本語科目 5 単位を、すべて履修すること。

(2) 日本語科目を履修する留学生のグループ別履修条件

グループ1

選択科目を3単位以上取得すること。

グループ2

選択科目を5単位以上取得すること。

グループ3

自由科目の日本語基礎Ⅰ（初級）を3単位取得後、選択科目を5単位以上取得すること。

グループ4

自由科目の日本語基礎Ⅰ（初級）、日本語基礎Ⅱ（初級）を6単位取得後、選択科目を5単位以上取得すること。

8-9-4 留学生用外国語系科目一覧

授業科目の名称	配当年次	単位数			時間	備 考
		必修	選択	自由		
英語講読 1 (Primary)	1		1		30	
英語講読 2 (Basic)	1 2		1		30	
英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1		30	
英語講読 4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1		30	
英語 CALL1 (Primary)	1		1		30	
英語 CALL2 (Basic)	1 2		1		30	
英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1		30	
英語会話 4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1		30	
聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4 5 6		1		30	
上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4 5 6		1		30	
フランス語入門	1 2 3 4 5 6		1		30	
フランス語基礎	1 2 3 4 5 6		1		30	
ドイツ語入門	1 2 3 4 5 6		1		30	
ドイツ語基礎	1 2 3 4 5 6		1		30	
スペイン語入門	1 2 3 4 5 6		1		30	
スペイン語基礎	1 2 3 4 5 6		1		30	
中国語入門	1 2 3 4 5 6		1		30	
中国語基礎	1 2 3 4 5 6		1		30	
韓国語入門	1 2 3 4 5 6		1		30	
韓国語基礎	1 2 3 4 5 6		1		30	
韓国語応用	1 2 3 4 5 6		1		30	
韓国語発展	1 2 3 4 5 6		1		30	
作文・読解Ⅰ (入門)	1 2 3 4 5 6		1		30	留学生用日本語科目
作文・読解Ⅱ (応用)	1 2 3 4 5 6	1			30	留学生用日本語科目
作文・読解Ⅲ (完成)	1 2 3 4 5 6		1		30	留学生用日本語科目 (BJT または EJU の結果により単位認定)
文法・語彙Ⅰ (入門)	1 2 3 4 5 6		1		30	留学生用日本語科目
文法・語彙Ⅱ (応用)	1 2 3 4 5 6	1			30	留学生用日本語科目
文法・語彙Ⅲ (完成)	1 2 3 4 5 6		1		30	留学生用日本語科目 (JLPT、J.TEST、日本語 NAT-TEST、EJU のいずれかの結果により単位認定)
発表・討論Ⅰ (応用)	1 2 3 4 5 6	1			30	留学生用日本語科目
発表・討論Ⅱ (完成)	1 2 3 4 5 6		1		30	留学生用日本語科目 (BJT の結果により単位認定)
医療福祉専門漢字	1 2 3 4 5 6	1			30	留学生用日本語科目
医療福祉専門語彙	1 2 3 4 5 6	1			30	留学生用日本語科目
日本語基礎Ⅰ (初級)	1 2			3	90	留学生用日本語科目
日本語基礎Ⅱ (初級)	1 2			3	90	留学生用日本語科目

総合教育科目
外国語系

(注 1)BJT=ビジネス日本語能力テスト(公益財団法人日本漢字能力検定協会 主催)

(注 2)EJU=日本留学試験(独立行政法人日本学生支援機構 主催)

(注 3)JLPT=日本語能力試験(独立行政法人国際交流基金、公益財団法人国際教育支援協会 主催)

(注 4)J.TEST=実用日本語検定(株式会社語文研究社 日本語検定協会・J.TEST 事務局 主催)

(注 5)日本語 NAT-TEST(株式会社専門教育出版 日本語 NAT-TEST 運営委員会 主催)

2021(令和 3)年度以降入学の留学生の外国語系科目は、このカリキュラムを適用する。

留学生の外国語系科目の履修条件は、各学科の卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件で確認すること。

8-10 アセスメント・ポリシー

本学では、教育成果を可視化し、教育改善を実施する目的で、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）を踏まえて、教育課程や学生の学修成果を測定・評価する方法（アセスメント・ポリシー）を定めています。測定・評価は入学時から卒業時までとし、機関レベル（大学）・教育課程レベル（学部・学科）・科目レベル（授業科目）の3段階で多面的に実施します。

1. 機関レベル（大学）

学生の卒業率、退学率、志望進路（就職率、進学率）等から教育課程及び学修成果の達成状況を評価します。

2. 教育課程レベル（学部・学科）

学部・学科の所定の教育課程における卒業要件達成状況（単位取得状況、GPA）、資格・免許の取得状況等から教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を評価します。

3. 科目レベル（授業科目）

シラバスで提示された学修目標に対する評価や授業評価アンケート等の結果から、科目ごとの学修成果の達成状況を評価します。

○具体的な評価方法等は次の表のとおりです。

一部、各学科により実施していない項目があります。

	入学時 アドミッション・ポリシーを 満たす人材かどうかの評価	在学中 カリキュラム・ポリシーに 則って学修が進められて いるかどうかの評価	卒業時 ディプロマ・ポリシーを 満たす人材になったか どうかの評価
機関レベル (大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・調査書等の記載内容 ・面接、志願理由書等 	<ul style="list-style-type: none"> ・休学率 ・退学率 ・学修行動調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業率 ・学位授与数 ・就職率 ・進学率(主として大学院)
教育課程レベル (学部・学科)	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・調査書等の記載内容 ・面接、志願理由書等 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA[※] ・修得単位数 ・進級率 ・学修行動調査 ・OSCE[※] 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA[※] ・国家試験合格者数 ・国家試験合格率 ・資格取得率 ・進路状況 ・卒業時到達度アンケート
科目レベル (授業科目)	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時基礎学力調査 ・TOEIC Bridge Test 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価(定期試験) ・学修ポートフォリオ ・授業評価アンケート ・TOEIC IP(L&R) 	

※GPA：Grade Point Average 学生が履修登録した科目1単位当たりの成績平均値。

※OSCE：Objective Structured Clinical Examination（客観的臨床能力試験）学生の模擬患者に対するインタビューや臨床の現場に必要な基本的技能の実技を、評価者が観察し、客観的に評価する試験。